

土木研究所資料

道路のり面台帳様式および記入要領(案)

昭和62年10月

建設省土木研究所
地質化学部地質研究室

Copyright © (1987) by P. W. R. I.

All rights reserved. No part of this book may be reproduced by any means, nor transmitted,
nor translated into a machine language without the written permission of the Director General of P. W. R. I.

この報告書は、土木研究所長の承認を得て刊行したものである。したがって、本報告書の全部又は一部の転載、複写は、土木研究所長の文書による承認を得ずしてこれを行ってはならない。

本資料の取扱について

建設省所管の道路において「道路管理データベース」を作成する場合、道路のり面台帳については本資料に準拠したデータベース入力マニュアルが「道路管理データベースの構築に関する調査」（国土開発技術研究センター受託）にて別途作成されているので、本資料はその際の参考資料として利用するものとする。

道路のり面台帳様式および記入要領(案)

地質研究室 室 長 市 川 慧
主任研究員 平 野 勇

要 旨

切土のり面、盛土のり面、自然斜面を対象とした道路のり面台帳様式及び記入要領(案)を作成した。この台帳(案)は、作成単位区間の総括表および路線図、個々ののり面・斜面についての調査資料からなる基本台帳、被災したとき作成する被災台帳から構成されている。

キーワード：道路管理、道路防災、のり面、斜面、のり面台帳

ま え が き

この台帳(案)は、道路局国道第一課、企画課道路防災対策室における検討と二度にわたる各地方建設局道路管理課及び関係工事事務所におけるアンケート調査、ならびに本省、土木研究所、国土地理院、各地方建設局、北海道開発局、沖縄総合事務局、関係公団の道路等における地質に関わる問題に携わっている技術者からなる第20回地質担当者会議における審議を踏まえ、とりまとめたものである。

当台帳(案)の策定作業に当っては、土木研究所大木地質官、桑原地質化学部長ならびに土質、動土質、地すべり、急傾斜地崩壊、施工の道路のり面関係の研究室に絶えず検討の労をかけた。なお、当台帳(案)に準じたデータベース入力マニュアルについては「道路管理データベースの構築に関する調査」(財団法人国土開発技術研究センター受託)において作成されている。

この台帳(案)がなお一層、道路の維持管理とのり面・斜面对策の合理化につながれば幸いと考える。

昭和62年10月

目 次

はじめに

I 道路のり面・斜面基本台帳	3
1. 記入様式の種類	5
2. 作成概要	5
2.1 区間単位の設定	5
2.2 作成対象	5
2.3 作成方法	6
2.4 記入範囲	6
3. 記入要領	7
3.1 のり面・斜面番号	7
3.2 各様式の記入要領	7
様式A 区間総括表	7
様式B 区間路線図	8
様式C-1 切土のり面・斜面調査表	9
様式C-2 盛土のり面調査表	22
様式D-1 平面図	27
様式D-2 正面図	27
様式D-3 断面図	28
様式D-4 構造物詳細図	29
様式E 現地写真	29
附表I.1 道路のり面・斜面基本台帳記入様式	31
附表I.2 道路のり面・斜面基本台帳記入様式記入例	43
附表I.3 道路のり面・斜面基本台帳記入項目分類	54
II. 道路のり面・斜面被災台帳	63
1. 記入様式の種類	65
2. 作成概要	65
2.1 作成対象	65
2.2 作成方法	65
2.3 記入範囲	65
3. 記入要領	65
様式F 被災台帳 区間総括表	66

様式 G	被災台帳	被災位置路線図	67
様式 H	被災台帳	調査表	68
様式 I - 1	被災台帳	平面図	83
様式 I - 2	被災台帳	正面図および断面図	84
様式 J	被災台帳	現地写真	85
様式 K	被災台帳	気象データ	85
附表 II.1	道路のり面・斜面被災台帳記入様式		87
附表 II.2	道路のり面・斜面被災台帳記入様式記入例		97
附表 II.3	道路のり面・斜面被災台帳記入項目分類		106
附表 II.4	道路のり面・斜面被災の発生パターン分類		115

は じ め に

地震や豪雨などの異常気象によって道路のり面・斜面が崩壊し、その対策に予期せぬ多額の費用を要したり、交通に支障を生じ社会経済活動に大きな影響を及ぼす事例は少なくない。

のり面・斜面の安定は、それらが重力によって滑動あるいは転動しようとする力と、剪断などで抵抗しようとする力とのバランスの上に安定が保たれている。このバランスは、地形、地質・土質、切土・盛土形状、のり面工、斜面安定工、施工材料、排水などの諸条件にかかわっており、個々ののり面・斜面ごとに異なっている。

また、応力解放等による地山の緩み、風化、浸食、植生等の変化によって経年的に不安定となり、さらには降雨や地下水の変動による間隙水圧の増大、地震による振動などによって、のり面・斜面のバランスは著しい影響を受け、時として、バランスを失い崩壊等に至ることがある。

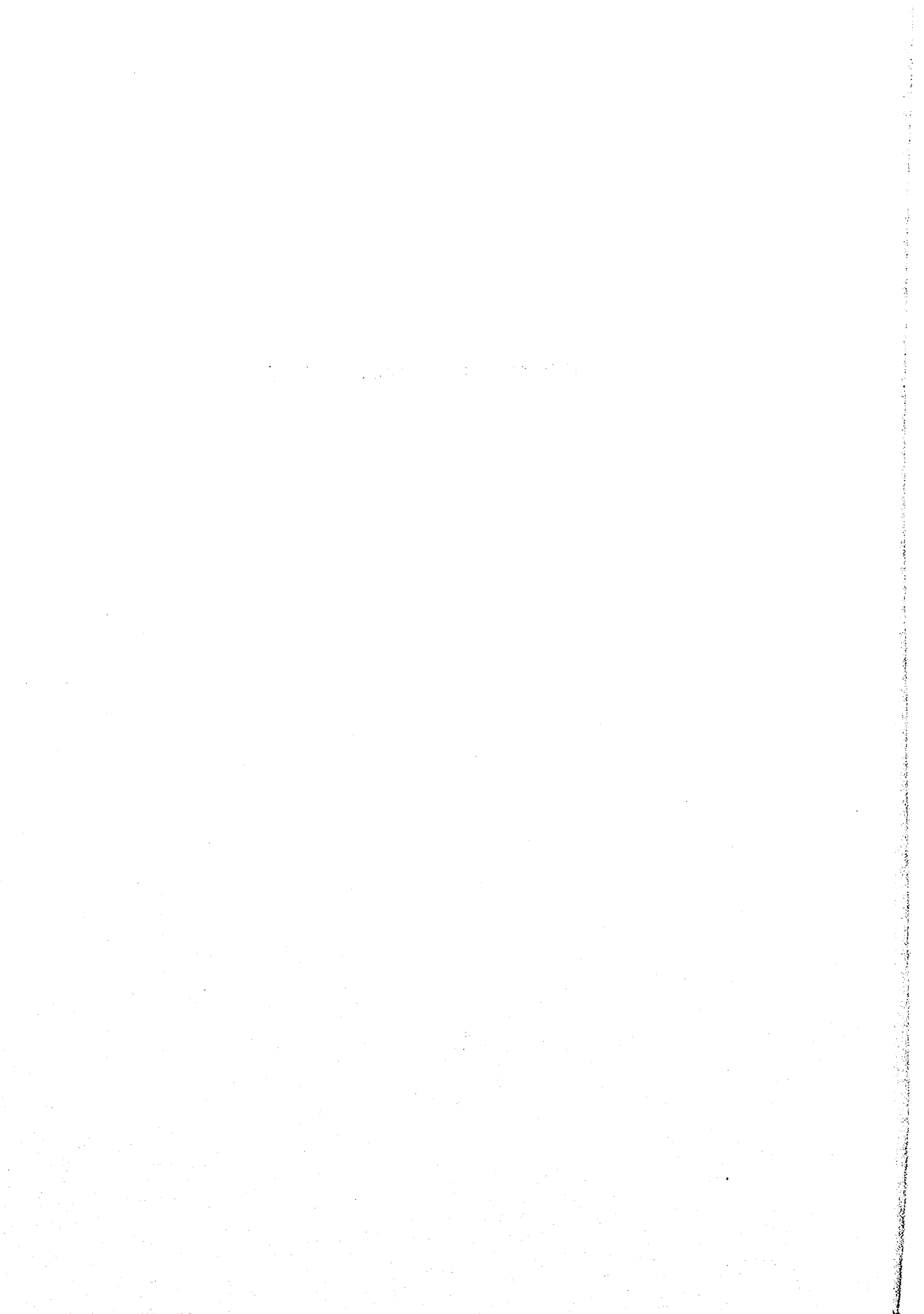
道路にかかるのり面・斜面を健全に維持し、交通に対する道路の安全な供用を行うには、のり面・斜面の安定に及ぼす諸条件を日頃より把握しておくことが必要である。そして、変状が認められる場合は、その進行度と予想される被災発生形態を見極め、それに応じた対策を行う必要がある。このようなことから、個々ののり面・斜面についての上記のような諸条件に関する情報を、日常的に台帳として整備しておくことは極めて有意義である。

道路のり面台帳は、「個々ののり面・斜面の生い立ちから現在までの健康状態あるいは症状を記録した、いわば総合カルテ」であり、個々ののり面・斜面に対する道路防災上の的確な判断と対策を行う資料となるばかりでなく、豪雨等に対する通行規制基準を設定する上での資料、道路被災の発生原因の解明のための資料となり、ひいては、これらがなお一層の道路のり面・斜面对策の合理化につながるものとする。

ここに示した道路のり面台帳様式および記入要領(案)は、「Ⅰ. 作成単位区間の総括表および路線図、個々ののり面・斜面についての平常時の調査をもとに作成する基本台帳」、「Ⅱ. 被災したとき作成する被災台帳」の2つから構成されている。

記入内容は、台帳作成の目的と合致し、落石等危険箇所の点検(防災点検)及び道路管理データベース構築との整合性を図り、できるだけ記入しやすく取扱い方法が容易となるように構成した。

I . 道路のり面・斜面基本台帳



ここでは、道路のり面・斜面の平常時の調査に基づいて作成する基本台帳について示している。新設のり面における基本台帳の記入は施工時から開始する。被災復旧、改築等を行うものについては基本台帳を更新し、記入は、復旧または改築等の施工時から開始するものとする。

1. 記入様式の種類

基本台帳の記入様式の種類は次のとおりである（附表I.1）。

様式	A	区間総括表
	B	区間路線図
	C-1	切土のり面・斜面調査表
	C-2	盛土のり面調査表
	D-1	平面図
	D-2	正面図
	D-3	断面図
	D-4	構造物詳細図
	E	現地写真

注）本台帳においては特に断らない限り「斜面」とは自然斜面を指すものとする。

2. 作成概要

2.1 区間単位の設定

出張所別かつ路線別を原則とし、地理条件、通行規制、管理体制および道路管理データベースの作成単位との整合性等を考慮して設定する。

2.2 作成対象

(1) 防災点検箇所

これまでの落石等危険箇所の点検（防災点検）の調査対象となった切土のり面、斜面、盛土について作成する。この場合、作成単位は原則として防災点検の危険箇所の取り方に従う。

(2) 防災点検箇所以外

① 切土のり面については、作成対象は直高5m以上ののり面とし、5m以下のものは特に変状等のない限り作成しないものとする。作成単位はのり面・斜面形状、構造物、地形、道路状況を考慮して決める。連続のり面の場合、最長は500m程度とする。作成範囲については、崩壊、落石等が発生すれば、道路に直接影響する恐れのある範囲の背後斜面を含む。

② 盛土のり面については、作成対象は直高5m以上ののり面とし、5m以下のものは特に変状等のない限り作成しないものとする。作成単位はのり面形状、構造物、地形、道路状況を考慮して決める。連続のり面の場合、最長は500m程度とする。作成範囲については、崩壊等が発生すれば、盛土のり面に直接影響する恐れのある範囲ののり先斜面を含む。

- ③ 斜面（斜面のみの箇所を指す）については，過去の被災箇所，変状がみられる箇所，地すべり，崩壊，落石等の危険箇所等，斜面状況を考慮して作成する。作成単位は，斜面単位（図 I.1 参照），斜面形状，沢，尾根，地質，道路状況によって決定する。作成範囲については，崩壊，落石等が発生すれば，道路に直接影響の恐れのある範囲とする。

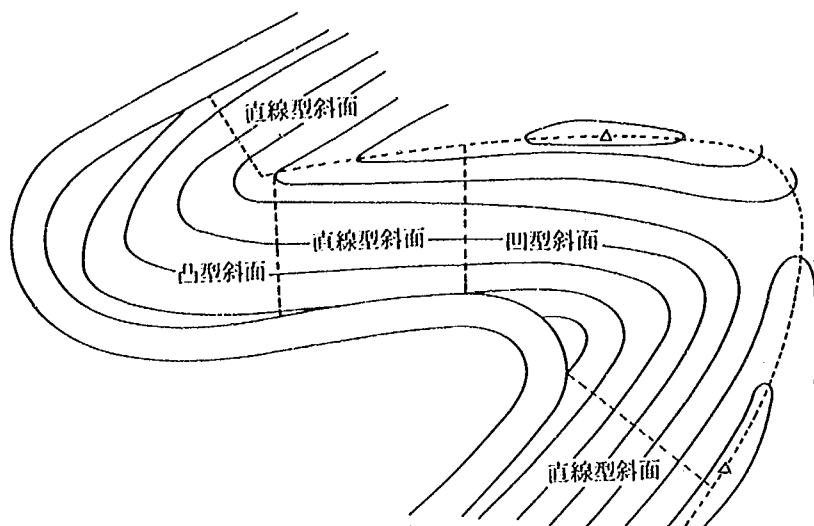


図 I.1 斜面単位の例（作成範囲を示すものではない）

2.3 作成方法

本台帳は既設道路の場合は，主として既存資料，空中写真判読，現地踏査程度の調査をもとに作成する。新設道路については，既存資料，空中写真判読，現地踏査とともに，施工時の地山状況の詳細な観察結果等をもとに作成する。なお，作成にあたっては「道路土工指針－のり面工・斜面安定工指針，落石対策便覧（日本道路協会）」を参考にするとよい。

2.4 記入範囲

台帳の項目と記入範囲について既設のり面と新設のり面の場合に分けて附表 I.3 に示した。ここで，既設のり面とは，対象区間での台帳作成開始時において既に完成しているのり面を指す。新設のり面とは，台帳作成開始時において，道路の新規建設および改良，被災復旧等にもなう新たなのり面の設置，あるいは改築や大がかりな補修を行うのり面を指す。新設か既設か，あるいはのり面・斜面の状況によって記入可能な範囲も異なると考えられるので，これらの点を考慮し，記入の範囲を次のように分けることにした。

表 I.1 記入範囲の区分

I：基本調査 1	既設，新設とも該当すれば必ず調査するもの。
II：基本調査 2	新設で該当すれば必ず調査するもの。
III：詳細調査	本台帳による調査方法では記入できないときもあるもの。

3. 記入要領

3.1 のり面・斜面番号

① 作成区間単位ごとに区間の始点より、上下線別およびのり面・斜面の別なく、距離標で追って個々ののり面・斜面の番号をつける。

② 頭に次のようなのり面・斜面分類記号を付ける。

A：切土のり面 B：盛土のり面 C：斜面

③ 末尾に上下線側別の記号を次のように添える。

U：上り D：下り

④ 既に番号を付けたのり面・斜面の間の位置に新しく基本台帳を作成するときの番号は、区間最後の次の番号の数字を用い、()で直近ののり面・斜面番号の数字を添える。

(記入例) A 45 U (12)

また、被災復旧、改築等により、台帳を更新するときは、のり面・斜面番号に作成回数を添える。

(記入例) A 1 U - 2 (更新 1 回目のとき), A 1 U - 3 (更新 2 回目のとき),

 A 45 U - 2 (12) (更新 1 回目のとき)

3.2 各様式の記入要領

以下、各様式について必要と思われる欄の記入要領を示す。見出しの番号は各々の記入欄に付した番号である。選択肢には、コード番号がついているが、特に記述のない限り、コード記号は記入欄に書き込む必要はないことにする。() 書きは見出しを示す。記入例を附表 I. 2 に示した。

〔様式 A〕 区間総括表

台帳作成区間の位置、路線名、距離標、管轄、通行規制状況および防災点検結果等を主として様式 C-1, C-2 をもとに総括表として示すものである。

(2 路線名)

「国道 2 号」のように記入する。

(3 区間)

区間の始点、終点について、次のように記入する。

4 自 ○○県○○市××町△△

5 至 ○○県○○市××町△△

(6 距離標)

区間の始点、終点について km 位で小数第 3 位まで次のように記入する。

7 自 ○○○. ○○○ km

8 至 ○○○. ○○○ km

13 整理番号(1)は、台帳整理作業における通し番号として利用する。

14 整理番号(2)は、データベース整備作業等における整理番号として利用する。

(17 通行規制区間)

作成区間のうち、降雨に対する事前通行規制区間となっている部分の距離標を記入する。
複数区間あればそれぞれ記入する。

18 自, 19 至

区間の始点, 終点について km 位で小数第3位まで記入する。

(20 降雨通行規制基準)

降雨に対する事前通行規制について規制発動基準ならびに規制解除基準について次のように記入する。()は「連続雨量(時間雨量 $2mm$ 以下が2時間続けば累計を区切る) $150mm$ で通行規制を発動し, 時間雨量 $2mm$ 以下が2時間継続すれば規制を解除する」ときの記入例を示す。

21 事前通行規制連続雨量基準値 (150) mm

22 連続雨量の累計区切り時間雨量: (2) mm

23 累計区切り時間雨量の連続時間: (2) 時間

24 規制解除雨量: (2) mm ,

25 規制解除雨量の継続時間: (2) 時間

(26 区間のり面・斜面総括表)

27 No

区間内ののり面・斜面の通し番号とし, 様式C-1, C-2の12整理番号(1)における通し番号として使用する。

(35 防災点検結果)

37 対象箇所

防災点検箇所であるか否かを示す。

1. 対象である→○ 2. 対象でない→空欄のまま

(様式B) 区間路線図

1/50,000の路線図(他に適当な図面があればそれでよい)に個々ののり面・斜面の位置および番号等を記入するものである。

(17 区間路線図)

(距離標)

1.00 km 間隔で距離標を示す。

(のり面・斜面位置, のり面・斜面番号)

のり面・斜面の中央付近に, ・をつけて位置を示し, のり面・斜面番号を添えるものとする。

(記入例) ・—— A 1 U

(通行規制区間)

事前通行規制区間を  で示し、距離標を記入する。

(雨量観測点等)

雨量および気象観測点の位置を◎で示し、観測点名を添える。

〔様式C-1〕 切土のり面・斜面調査表

個々ののり面・斜面の調査結果をまとめたもので、切土のり面（背後の斜面も含める）、斜面（斜面のみのもの）について該当する欄に記入する。

3 のり面・斜面分類

のり面・斜面分類については次のように分ける。

A. 切土のり面 B. 盛土のり面 C. 斜面

4 路線名

「国道2号」のように記入する。

(5 距離標)

のり面・斜面の始点、終点についてkm位で小数第3位まで次のように記入する。

6 自 〇〇〇. 〇〇〇km

7 至 〇〇〇. 〇〇〇km

(8 管轄)

9 地方建設局名を記入する。

10 工事事務所名を記入する。

11 出張所名を記入する。

12 整理番号(1)は、台帳整備作業における区間内ののり面・斜面の通し番号を記入するもので、様式A27 Noと一致させる。

13 整理番号(2)は、データベース整備作業等における整理番号として利用する。

14 作成年月日を記入する。

15 位置については、〇〇県〇〇市××町△△のように記入する。

16 上下線別

のり面・斜面が上下線のどちら側にあるかについて記入する。

1. 上線側→上 2. 下線側→下

17 総幅員

対象のり面・斜面区間の中間点附近の道路の総幅員とする。

18 規制区間は、降雨に対する通行規制区間内かどうかについて次のように記入する。

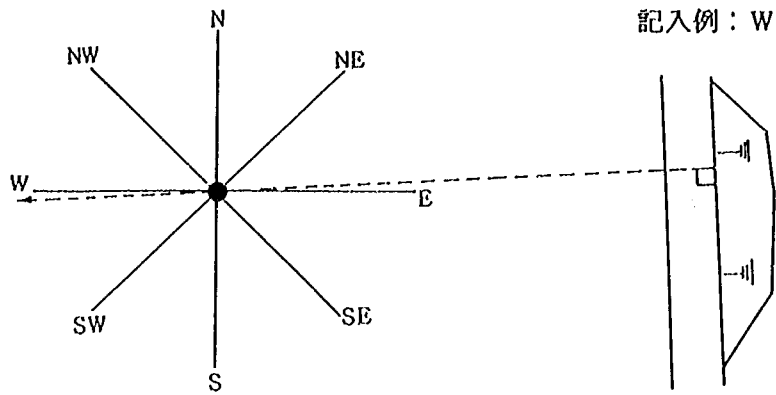
1. 規制区間内→内 2. 規制区間外→外

19 追記したときの年月を記入する。

(20 のり形状)

21 のり面の向き

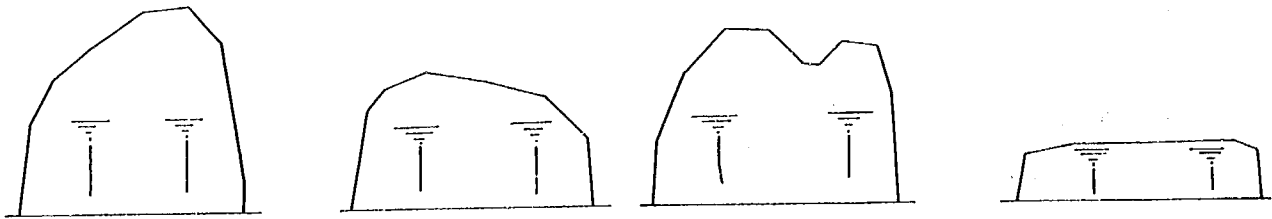
おおよその向きを8方位法で表わす。



図C-1.1 のり面の向き

22 のり面状況

切土のり面ののり面状況については、切土のり面の正面形をおおまかにみて次のどれに該当するかを記入する。



(鉛直/水平長 > 1)

1. 円錐形

(鉛直/水平長 < 1)

2. 偏平形

3. 凹凸型

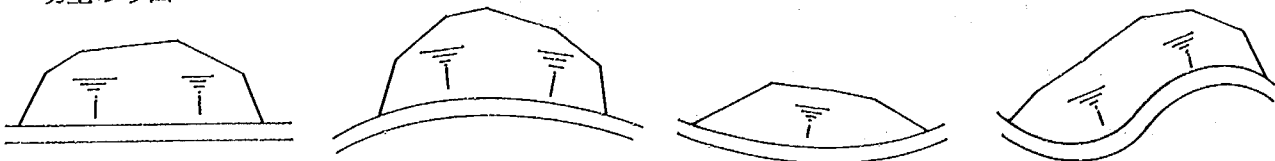
4. 台型

図C-1.2 切土のり面状況の区分

23 のり面平面形

おおまかにみて、のり面の平面形が次のどれに該当するかを記入する。

切土のり面



1. 直線型

2. 凹型

3. 凸型

4. S型

図C-1.3 のり面の平面形の区分

24 のり尻延長

のり尻での縦断長とする。

25 のり面最大直高

擁壁等ののり尻の構造物を含めたのり面全高の最大直高を記入する。

26 のり面平均勾配

最下のり尻から最高のり肩までの小段を含めた平均勾配を記入する。

(27 のり構成)

のり面の代表部分（または最も高い部分）について、最下のり面より各段ののり面の勾配、直高、小段の横断幅（道路に対して直交方向の水平幅）を記入する。単一のり面のときは、最下のり欄に記入する。

(31 のり面保護工・落石対策工等)

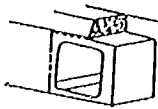
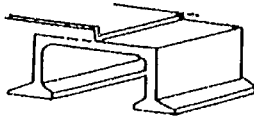
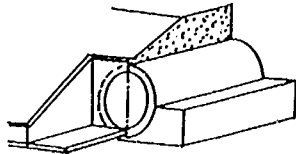
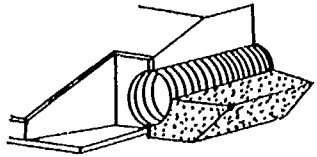
(32 のり面排水工)

33 工 種

のり面保護工・落石対策工等および排水工について、主たる工種から従のものの順に、1, 2………の欄に記入する。工種名については次表を参考にする。

表C-1.1 のり面保護工，落石対策工，排水工，のり面・斜面状態等の区分

のり面保護工，落石対策工等				
1. モルタル吹付工	15. 落石覆工	29. 植生盤工		
2. コンクリート吹付工	16. 石積みよう壁工	30. 植生袋工		
3. 石張工	17. ブロック積みよう壁工	31. 植生穴工		
4. ブロック張工	18. コンクリートよう壁工	32. 谷止め工		
5. コンクリート張工	19. 井桁工	33. えん堤工		
6. プレキャストのり枠工	20. ふとんかご工	34. 床固め工		
7. 現場打コンクリートのり枠工 (吹付のり枠工を含む)	21. くい工	35. 水制工		
8. 根固め工	22. 補強土工法	36. 護岸工		
9. アンカー工	23. 種子散布工	37. 水路工		
10. ロックボルト工	24. 客土吹付工	38. その他		
11. 編柵工	25. 植生マット工			
12. のり面じゃかご工	26. 張芝工			
13. 落石防止網工	27. 植生筋工			
14. 落石防止柵工	28. 筋芝工			
のり面排水工				
表面排水工	39. のり肩排水工	40. 縦排水工	41. 小段排水工	42. その他
地下排水工	43. 地下排水溝	44. 垂直排水孔	45. 水平排水孔	46. 水平排水層
	47. のり面じゃかご	48. 水抜きパイプ	49. その他	

カルバート				
				
50. ボックス	51. 門 形	52. パイプ	53. コルゲートメタル	54. その他
路面排水工				
55. コンクリートL形側溝	57. 石積側溝	59. その他		
56. コンクリートU形側溝	58. ブロック積側溝			
のり面・斜面状態				
植生状況	法面の区分	斜面の区分		
60. 良好な植生ののり面	63. 切土のり面	65. 斜 面 (のり面を伴わず)		
61. 不良な植生ののり面	64. 盛土のり面	66. のり肩斜面 (のり肩より斜距離20m以内)		
62. 裸地のり面		67. のり先斜面 (のり先より斜距離20m以内)		
		68. 背後斜面 (のり面より斜距離20m以遠)		

なお、植生工等で、完成後年月が経過し、当初の植生の状況が変わっているものについては、上表の60, 61, 62によって植生の良悪を記入する。

34 寸 法

高さ(H)、幅(B)、直径(ϕ)、深さ(D)、厚さ(T)、延長(L)、個数(N)、段数(S)、面積(A)等について最大値または代表値で記入する。

(記入例) モルタル吹付工：H5×L10m

擁 壁：H5×L10m

(36 変状、補修・改築)

これまでおよび今後ののり面・斜面の変状、補修・改築があれば記入する。のり面・斜面の変状は、防災点検およびその他の点検によって判明したものについては、のり面・斜面の安定に直接かわらないと思われるものも含め主なものを記入する。

崩壊、地すべり等の現況についても記入するがその詳細は、85 崩壊・地すべりにゆずる。今後被災を生じたものについては、被災台帳も作成する。

37 年 月

変状調査年月を記入する。

38 変状箇所および変状の内容

変状箇所については、表C-1.1、変状の内容については次表によって記号で記入する。

(記入例) ○○工の××変状 → ○○-××
 モルタル吹付工のはく離 → 1-6
 のり肩斜面の浮き石 → 66-1

表C-1.2 のり面・斜面の変状

1. 浮き石, 転石	12. 空洞, すき間	23. 枯 死
2. 風 化	13. クッション材の流失	24. 活力不良
3. 亀 裂	14. 目づまり, 閉塞	25. 有害植物繁茂
4. 緩み, たるみ	15. 土砂, 流木等の貯留	26. 地すべり
5. はらみ, 隆起	16. 土砂, 流木等の堆積	27. 崩 壊
6. はく離	17. 腐 食	28. 落 石
7. 傾斜, ずれ	18. 損傷, 破損	29. 土砂流等
8. すべり, ずり落ち	19. 切 断	30. その他
9. 沈下, 陥没	20. 折れ曲り	
10. 洗掘, 浸食	21. 倒 壊	
11. 裏込め・中込め材等の 脱落, 流失	22. 凍 上	

39 年 月

補修, 改築の完了年月を記入する。

40 補修・改築

補修(維持, 修繕等)または改築を実施したときは, 次のいずれかを記号で記入する。

A. 補修(除去を含む) B. 改築(新たな対策を含む)

記入欄には, 通し番号があるが, これを使って変状と補修, 改築が対照できるようにする。

変状と補修, 改築が対応しないときは, 一方を空欄にしておく。

(記入例) ○○工の補修 → ○○-補修

モルタル吹付工の補修 → 1-A

(記入例)

	年 月	変状箇所および内容	年 月	補修・改築
1	S55.10	1-6, 13-15	S56.3	1-A
2	S57.10	66-1		
3	S61.10		S62.3	13-B

(41 切土部の地形・地質)

(42 切土前地形勾配)

切土前の斜面勾配について、代表的な部分の勾配を記入する。43 実測勾配（現地測量および大縮尺地形図利用）または44 推定勾配（切土後の周囲の地形からの推定）を記入する。

45 のり肩部斜面勾配

最上のり面のり肩の代表的な部分の斜面勾配を記入する。逆勾配のときは — を付ける。

(46 被覆層)

基盤岩を覆って分布する表土・崩積土（ローム，腐植土壌，崩積土，崖すい等），未固結層（火山灰，段丘砂礫等），風化変質土（基岩盤が著しく風化あるいは変質したもので，土または土に近いもの）等の土質をここでは一括して被覆層とよぶことにする。

無処理の既設のり面，新設のり面において記入するもので，土質の状況を観察して，地表に近い方から可能な範囲で区分し次の項目について記入する。一般の既設のり面についても可能な範囲で記入するものとする。

47 実測厚さ

切土面あるいは崩壊面での観察，ボーリング，サウンディング，弾性波探査等によって求められたのり肩部での代表的な部分の被覆層の厚さ（斜面に対して垂直に測定）を記入する。 m 単位で，可能であれば小数第1位まで記入する。

48 推定厚さ

47 のような実測がない場合，推定可能な範囲で次の区分によって記号で記入する。

表C-1.3 被覆層の厚さの区分

区 分	目 安
A. 薄 い	(0.5 m 以下)
B. ふつう	(0.5 ~ 1 m 以下)
C. やや厚い	(1 ~ 3 m 以下)
D. かなり厚い	(3 ~ 5 m 以下)
E. 非常に厚い	(5 m 以上)

49 土質分類

表C-2.2によって記入する。

50 土質の特徴

代表的または最も厚い被覆層の成因的な特徴が判定できれば表C-2.3より該当するものを選んで記入する。

51 N値，52 V_p 値

N値， V_p 値（弾性波速度）はデータがあれば記入する。

(53 基盤岩)

無処理の既設のり面、新設のり面において記入するもので、一般の既設のり面については、のり面保護工等に覆われ地山を直接観察できないので、切土時あるいは崩壊時の地山観察、ボーリング、弾性波探査等の資料に基づいて可能な範囲で記入し、これらの資料がないものについては記入の必要はない。67 断層の記入も同様とする。なお、54 地質、55 岩種等、周囲の地質状況から推定可能な場合は記入する。

54 地 質

地質は次表によって記入する。

表 C-1.4 地質区分

1. 第四系	2. 新第三系	3. 古第三系	4. 中生界	5. 古生界
--------	---------	---------	--------	--------

2つの時代にまたがって示されるときは、次のように記入する。

(記入例) 新第三系～第四系

55 岩 種

岩種については、次のような分類で記入する。

表 C-1.5 岩種区分

1. 花崗岩	2. 花崗閃緑岩	3. 閃緑岩	4. はんれい岩
5. 石英斑岩	6. 花崗斑岩	7. ひん岩	8. 粗粒玄武岩
9. 流紋岩	10. 石英安山岩	11. 安山岩	12. 玄武岩
13. 変朽安山岩	14. 輝緑岩	15. 輝緑凝灰岩	16. かんらん岩
17. 蛇紋岩	18. シラス	19. 凝灰岩	20. 凝灰角礫岩
21. 火山礫凝灰岩	22. 火山角礫岩	23. 集塊岩	24. 熔結凝灰岩
25. 礫 岩	26. 砂 岩	27. シルト岩	28. 泥 岩
29. 頁 岩	30. 粘板岩	31. 石灰岩	32. チャート
33. けい岩	34. 黒色片岩	35. 緑色片岩	36. 砂質片岩
37. 片麻岩	38. ホルンフェルス	39. 互 層	

互層のときは「〇〇岩と△△岩の互層」と記入する。

56 走向, 57 傾斜

顕著な地層面またはその他の割れ目の走向、傾斜を記入する。

58 割れ目

のり面に対し顕著な地層面またはその他の割れ目の方向が、次のいずれであるかを記入する。

表C-1.6 のり面に対する割れ目の方向

1. 差し目	2. 流れ目	3. 不定	4. 割れ目なし
--------	--------	-------	----------

(59 岩盤状況)

基盤岩の岩盤状況を1～4個程度のランクに区分し、60～66について記入する。

60 岩分類

岩分類は次表により、名称で記入する。

表C-1.7 岩の分類表(建設省)

名 称	岩 質 の 程 度
1. 硬 岩 II	珪岩, 角岩など石英質に富んで岩質が硬いもの。風化していない新鮮な状態のもの。亀裂が少なく良く密着しているもの。
2. 硬 岩 I	花崗岩, 結晶岩など全く変化していないもの。亀裂間の間隔は1m以内で相当密着しているもの。硬い良好な石材を得り得るようなもの。
3. 中 硬 岩	石灰岩, 多孔質安山岩のように特にちみつでないが, 相当の硬さを有するもの。風化の程度のあまり進んでいないもの。硬い岩石での間隔が30～50cm程度の亀裂を有するもの。
4. 軟 岩 II	凝灰質で硬く固結しているもの。風化は目に沿って相当進んでいるもの。亀裂間の間隔は10～30cm程度で軽い打撃により離しうる程度。異種の岩が互層をなしているもので層面を楽に離しうるもの。
5. 軟 岩 I	第四紀の岩石で固結の程度が良好なもの。風化が相当進み, 多少変色を伴い, 軽い打撃により容易に割り得るもの。離れやすいもの。亀裂間の間隔は5～10cm程度のもの。第三紀の岩石で固結の程度が弱いもの。風化がはなはだしく脆いもの。指先で離し得る程度のもので, 亀裂間の間隔は5～10cmくらいのもの。

61 岩石硬さ

岩石そのものの硬さを次表によって判定し, 記号を記入する。

表C-1.8 岩石硬さ区分

記 号	硬 さ 区 分
A	極硬, ハンマーで容易に割れない
B	硬, ハンマーで金属音
C	中硬, ハンマーで容易に割れる
D	軟, ハンマーでボロボロに碎ける

62 割れ目間隔

次表によって区分し、記号を記入する。

表C-1.9 割れ目間隔区分

区 分	間 隔
0	割れ目なし
1	数 $m \sim 50\text{ cm}$
2	$50 \sim 15\text{ cm}$
3	$15 \sim 5\text{ cm}$
4	5 cm 以下

63 割れ目状態

次表によって区分し、記号を記入する。

表C-1.10 割れ目状態区分

区 分	割 れ 目 状 態
o	割れ目なし
a	密着し、風化・変質の影響はないか、またはほとんどない。
b	割れ目沿いの風化が認められるが、岩片はほとんど風化・変質していない。
c	割れ目沿いの風化・変質が認められ、かつ、岩片も風化・変質して軟質となっている。

64 風 化

風化の状況を次の3ランクに分けて記入する。

1. 新 鮮 2. 中風化 3. 強風化

65 変 質

変質が認められる場合、次表を参考にし変質を区分し、記号で記入する。

表C-1.11 変質区分の例

記 号	変質区分	変 質 状 況
1	非 変 質	肉眼的に変質鉱物の存在が認められないもの。
2	弱 変 質	原岩組織を完全に残し、変質程度（脱色）が低いもの。あるいは非変質の割合が高いもの。（肉眼で50%以上）。
3	中 変 質	肉眼で変質が進んでいると判定できるが、原岩組織を明らかに残し、原岩判定が容易なもの。または非変質部を残すもの及び網状変質部。
4	強 変 質	構成鉱物、岩片等が硬質鉱物で完全置換され、原岩組織を全く～殆ど残さないもの。

66 V_p 値

V_p 値（弾性波速度）があればそれを記入する。

(67 断層)

主要な断層の 68 走向, 69 傾斜, 70 破砕幅について記入する。

(71 水の状況)

のり面, 斜面の水の状況が次のいずれであるかを記入する。湧水有のときは, 72~74を記入する。

表 C-1.12 のり面, 斜面の水の状況区分

1. 乾 燥	2. 湿 潤	3. 湧水有	4. 表流水有
--------	--------	--------	---------

72 湧水量

(記入例) 4ℓ/分程度

73 調査時期

月で記入する。

74 降雨後日数

降雨（総雨量20mm程度以上）後, 何日程度の調査であるかおよその日数を記入する。

(75 斜面部の地形・地質)

切土のり面ののり肩に続く背後斜面, 盛土のり面ののり先に続く背後斜面および斜面のみの箇所について記入するものである。

76 地形のタイプ

周囲の地形の特徴をおおまかにみて, 次のどれに相当するかを記入する。

表 C-1.13 地形区分

1. 急斜面 (45°以上)	2. 中程度の斜面 (45~20°以上)	3. 緩斜面 (20~5°以上)	
4. 平坦地 (5°以下)	5. がけ地	6. 崩壊地	7. 崩壊跡地
8. 地すべり地	9. 崖すい	10. 土石流堆	11. 扇状地
12. 段丘	13. 熔岩台地	14. 火山灰台地	15. 洪積台地
16. 沖積平野	17. 湖沼, 河川	18. 海浜	19. 海面

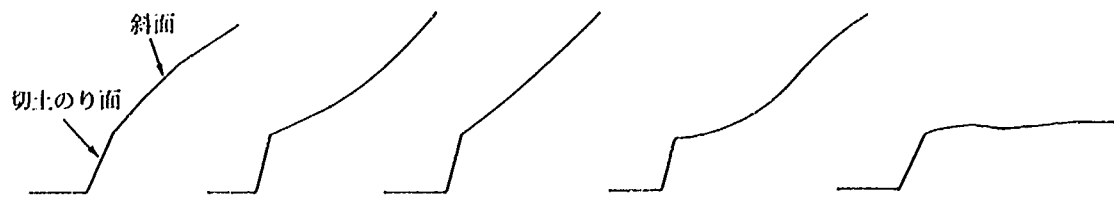
(1~4は5~16のような特徴のないときに記入するものとする)

77 地質, 78 岩種名

表 C-1.4, 表 C-1.5 によって記入する。

79 横断形

のり面上方の斜面の横断形状が下のどのタイプに当るかを記入する。斜面がのり面と反対側に傾斜しているときは, 台地に含める。



1. 凸型斜面 2. 凹型斜面 3. 直線型斜面 4. 複合型斜面 5. 台地

図 C-1.4 斜面の横断形状のタイプ

80 浮き石・転石

切土のり面および斜面について、のり肩部および背後斜面での直径10～20cm程度以上の浮石・転石の 1. 有, 2. 無 を記入する。

81 オーバハング

切土のり面および斜面について、オーバハングの 1. 有, 2. 無を記入する。

82 被覆層の厚さ

斜面における被覆層（46参照）の平均的な厚さ（地表面に垂直とする）について、推定可能な範囲で表 C-1.3 によって記入する。

83 被覆層の分布

斜面部の被覆層の分布が次のいずれであるかを記号で記入する。

表 C-1.14 被覆層と露岩の分布の区分

- | |
|-------------------|
| 1. ほとんど全域に被覆層がある。 |
| 2. 一部露岩がある。 |
| 3. 半分ほど露岩がある。 |
| 4. ほとんど露岩がある。 |

84 植 生

主な植生の種類について次を参考にして記入する。

表 C-1.15 植生の種類

1. スギ	2. ヒノキ	3. マツ	4. その他の針葉樹
5. 広葉樹	6. 灌木	7. 竹林	8. ススキ, イバラ等の雑草
9. 果樹園, 茶園	10. 畑地作物	11. 水田作物	12. 植生なし

(85 崩壊・地すべり)

崩壊・地すべりがあればその状況を記入する。36 変状, 補修・改築にも記入しておく。
新しく崩壊・地すべりが発生し, 被災すれば被災台帳にも記入する。

86 水平延長

頭部から崩壊末端部までの延長とする。

87 高 さ

頭部と末端部の標高差とする。

88 幅

最大幅とする。

89 深 さ

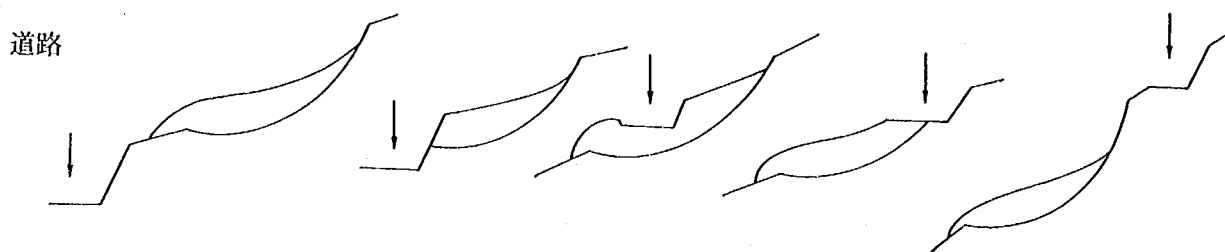
崩壊の周囲地形から推定される鉛直方向の最大深とする。ただし局部的な凹場部は対象としない。

90 斜面勾配

崩壊前の斜面勾配を周囲の地形勾配より推定し記入する。

91 道路との位置関係

次のどれに相当するかを記入する。



1. 末端下方 2. 末端 3. 中央 4. 頭部 5. 頭部上方 6. その他

図C-1.5 崩壊・地すべりと道路との位置関係の区分

92 対策工

対策工があれば工種名を表C-1.1によって記入する。

(93 防災点検)

55 防災点検, 61 防災点検およびその後の防災点検調査結果について点検対象箇所となっていれば記入する。

95 危険内容

次のうちいずれであるかを記号で記入する。

表C-1.16 防災点検における危険内容の区分

- | | | | | |
|----------------|----------|------------|----------|-----------|
| 1. 落石の恐れ | 2. 崩壊の恐れ | 3. 地すべりの恐れ | 4. 雪崩の恐れ | 5. 土石流の恐れ |
| 6. 盛土の変状・崩壊の恐れ | 7. 擁壁の変状 | 8. その他 | | |

96 危険度一次判定

一次判定の結果が, (A) (B) (C) のいずれであるかを記入する。

97 一次判定内容

各項目の中で〔A〕判定とされた場合、どの着眼点に該当して、〔A〕と判定されたかを次表をもとに着眼点の番号を例にならって記入する。

(記入例) 着眼点1によって地形が〔A〕, 5によって地質・土質が〔A〕と判定されたときは1, 5を記入する。

表C-1.17 防災点検危険度一次判定の内容

項 目	着 眼 点
のり面・斜面の落石・崩壊に適用	
地 形	1. 斜面が長かったり、勾配が急であったり、あるいはオーバハングしていたりする場合
	2. 凸部（道路の曲線半径が50m未満）の場合
地質・土質	3. 崩積土や表層土が厚かったり、ルーズである場合や、表面に転石、浮き石、玉石等がある場合
	4. 岩の斜面では、風化や変質が著しかったり、亀裂等が多かったりする場合
	5. 斜面の土質が礫混じり土砂や土砂等であり、それらがルーズな場合
	6. 斜面の土質がシラス、真砂土等水に弱いものである場合
誘 因	7. 常時又は降雨後等に湧水が見られたり、斜面の背後地の集水面積が大きい場合
	8. 豪雨や強い風に際して落石が発生する傾向がある場合
	9. 融雪期や、斜面で凍結融解が見られる時期に落石や崩壊が発生する傾向がある場合
その他	11. 斜面又は斜面安定工に異常、変状が見られる場合
	12. 斜面への水の放流等の有害行為がある場合
のり面・斜面の地すべりに適用	
所 在	13. 地すべり防止区域の指定地内にある場合
	14. 指定地の周辺にあって、地形や地質が指定地内の地形、地質に類似している場合
地 形	15. 地すべり地形を呈している場合
地 質	16. 第三紀の緑色凝灰岩（グリーンタフ）あるいは第三紀～第四紀の泥岩、火山堆積物、破碎帯等の特定の地質の場合
異状・変状	17. 斜面又は斜面安定工に異常、変状が見られる場合
	18. 路面に隆起、亀裂等の異常が見られる場合
誘 因	19. 降雨量、積雪量が多い場合
	20. 降雨や融雪が地すべりの発生及び活動と密接に関係すると思われる場合

98 二次判定の内容

危険度二次判定結果の内容のうち、既設対策工の効果の程度が次のいずれであるかを記入する。

1. 無い, 低い 2. 普 通 3. 高 い

(99 緊急度総合判定)

100 危険度, 101 頻度, 102 重要度, 103 点数, 104 ランクについて例のように記入する。

(記入例) b c a 6 II (B)

105 迂回

危険箇所における迂回路の 1. 有, 2. 無 を記入する。

106 バス路線

バス路線に係るときは, B を記入する。

107 備考

特に考慮すべき留意点, 特記事項等があれば記入する。

〔様式C-2〕 盛土のり面調査表

個々ののり面・斜面の調査結果をまとめたもので, 盛土のり面(のり先斜面も含める)について該当する欄に記入する。

3 のり面・斜面分類～31 小段幅

様式C-2の1～30を参考に記入するものとする。22, 23, 24, 27は次のようにする。

22 盛土状況

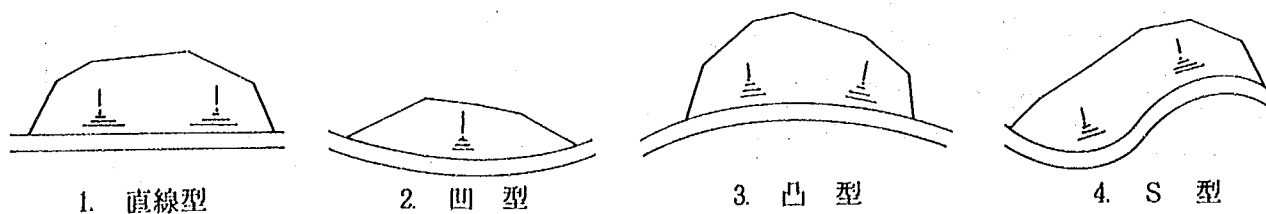
盛土のり面における盛土状況について, 次のどれに該当するかを記入する。

表C-2.1 盛土状況の区分

1. 平坦地, 埋立地等の両盛区間の盛土	4. 切盛区間の盛土	7. その他
2. 河川, 溪流部の両盛区間の盛土	5. 橋台の裏込めの盛土	
3. 片盛区間の盛土	6. 擁壁等の裏込めの盛土	

23 のり面平面形

おおまかにみて, のり面の平面形が次のどれに該当するかを記入する。



図C-2.1 のり面の平面形の区分

24 のり肩延長

盛土のり面についてはのり肩での縦断長とする。

(27 のり形状)

のり面の代表部分（または最も高い部分）について、最上のり面より各段ののり面の勾配、直高、小段の横断幅（道路に対して直交方向の水平幅）を記入する。盛土の天端幅について、盛土部分の天端幅が分かっているときに記入する。単一のり面のときは、最上のり面に記入する。

(32 盛土材料)

盛土のり面における盛土材料の土質および土質改良工法ならびに補強土工法について記入するものである。

(33 土 質)

34 土質分類

次表によって分類し記入する。

表C-2.2 土質分類

1. 礫	6. 粘性土
2. 礫質土	7. 有機質土
3. 砂	8. 火山灰質粘性土
4. 砂質土	9. 礫混じり砂質土
5. シルト	10. 砂混じり粘性土

35 土質の特徴

土質の成因的な特徴について、次表によって分類し記入する。

表C-2.3 土質の成因的特徴の区分

1. 腐植土	10. スコリア	19. 後背湿地堆積物
2. ローム	11. 火山礫	20. 湖沼堆積物
3. 風化土	12. 火山岩塊	21. 三角州堆積物
4. マサ土	13. 崖すい・崖積土	22. 海浜砂・礫
5. 変質土	14. 泥流堆積物	23. 干潟堆積物
6. 破碎岩起源土	15. 土石流堆積物	24. その他の沖積層
7. 火山灰	16. 扇状地堆積物	25. その他の洪積層
8. シラス	17. 段丘堆積物	26. 捨土、ズリ
9. 軽石	18. 河床堆積物	27. 不明

36 乾燥密度～44 現場CBR値

試験データがあれば記入する。

45 盛土土質改良工法, 46 盛土補強土工法

適用があれば工法名を次表によって記入する。

表C-2.4 盛土土質改良工法，盛土補強土工法の種類

盛土土質改良工法	盛土補強土工法		
1. セメント系混合処理工法	4. ジオテキスタイル工法	7. ルートパイル工法	10. その他の工法
2. 石灰系混合処理工法	5. ジオグリッド工法	8. 鉄筋挿入工法	
3. その他の混合処理工法	6. テールアルメ工法	9. 軽量盛土工法	

(47 のり面保護工)

(48 のり面排水工)

(49 カルバート)

(50 路面排水工)

51 工 種

主たる工種から従のものの順に，1，2……の欄に記入する。工種名については表C-1.1を参考にする。

なお，植生工等で，完成後年月が経過し，当初の植生の状況が変わっているものについては，表C-1.1の60，61，62によって植生の良悪を記入する。

52 寸 法

様式C-1の34によって記入する。

(54 変状，補修・改築)

様式C-1の36～40によって記入する。

(59 盛土地盤の地形・地質)

60 地形の特徴

のり面周辺の地形的特徴について表C-1.13によって記入する。

(61 山地，88 平坦地)

盛土地盤が大きくみて山地（丘陵地を含む）または平坦地のどれに該当するかを判断し，いずれかに記入する。

(61 山地)

62 盛土地盤実測勾配，63 盛土地盤推定勾配

盛土地盤の斜面勾配について，代表的な部分の勾配を記入する。62 実測勾配（現地測量および大縮尺地形図利用）または63 推定勾配（盛土後の周囲の地形からの推定）を記入する。

64 のり先斜面勾配

代表部分の勾配を記入する。のり面に向って傾斜しているときは－をつける。

(65 被覆層)

66 厚さ，67 土質分類，68 土質の特徴については，観察可能かまたはデータがあれば様式C-1の47，表C-2.2，C-2.3によって記入する。

69 N 値

N値についてはデータがあれば記入する。

(70 基盤岩)

代表的な 71 地質, 72 岩種について表 C-1.4, 表 C-1.5 によって記入する。

73 走向, 74 傾斜

顕著な地層面またはその他の割れ目の走向, 傾斜を記入する。

(75 崩壊・地すべり)

崩壊・地すべりがあればその状況を記入する。記入は様式 C-1 の 85~92 による。54 変状, 補修・改築にも記入しておく。新しく崩壊・地すべりが発生し, 被災すれば被災台帳にも記入する。

(83 集水部の状況)

84 集水面積

盛土のり面全体に係る集水面積とする。

85 植生状況

植生状況について表 C-1.15 によって記入する。

86 地すべり・崩壊の状況

道路周辺より観察できる範囲の斜面において, 崩壊・地すべり等の 1. 有, 2. 無について記入する。

87 谷部堆積状況

道路付近の谷部の土砂の堆積の 1. 厚 (概ね 1 m 以上) 2. 薄について記入する。

(88 平坦地)

89 土質分類, 90 土質の特徴

これらについてはボーリング等の調査資料があれば層ごとに浅い方から深度を示し, 表 C-2.2, 表 C-2.3 によって記入する。92 N 値~96 間隙比については試験値があれば記入する。

97 地盤対策工法

軟弱地盤対策等の地盤対策工法について適用があれば, 工法名を次表により記入する。

表 C-2.5 地盤対策工法の種類

1. 表層処理工法	7. サンドコンパクションパイル工法
2. 置換工法	8. 振動締固め工法
3. 押え盛土工法	9. 固結工法
4. 緩速载荷工法	10. 矢板工
5. 载荷重工法	11. くい工
6. パーティカルドレーン工法	12. その他の工法

98 水の状況

盛土部およびのり先斜面の水の状況が次のいずれであるかを記入する。湧水有のときは、99～101を記入する。

表C-2.6 のり面，斜面の水の状況区分

1. 乾 燥	2. 湿 潤	3. 湧水有	4. 表流水有
--------	--------	--------	---------

99 湧水量

(記入例) 4ℓ/分程度

100 調査時期

月で記入する。

101 降雨後日数

降雨(総雨量20mm程度以上)後、何日程度の調査であるかおおよその日数を記入する。

(102 のり先周辺の水面状況)

盛土のり面に及ぼすのり先周辺の河川・湖沼・海等の水面の影響が大きいと判断されるときについてのみ記入する。

103 水面の種類

次のうち該当するものを記入する。

表C-2.7 水面の種類

1. 溪 流	2. 河 川	3. 湖 沼	5. 貯水池
4. 貯水池	5. 用・排水路	6. その他	

104 のり先標高差

HWLにおける水面とのり先の最小標高差を記入する。

105 浸食の状況

のり先周辺の水面による斜面等の浸食の1. 有, 2. 無 について記入する。

106 対策工

対策工があれば工種について表C-1.1より記入する。

(109 防災点検)

55 防災点検, 61 防災点検およびその後の防災点検調査結果について点検対象箇所となっていれば記入する。

111 危険内容

表C-1.16においていずれであるかを記号で記入する。

(112 緊急度判定)

113 危険度, 114 頻度, 115 区間重要度, 116 点数, 117 ランクについて例のように入力する。

(記入例) b c a 6 II (B)

118 迂回

危険箇所における迂回路の 1. 有, 2. 無 を記入する。

119 バス路線

バス路線に係るときは, B を記入する。

120 備考

特に考慮すべき留意点, 特記事項等があれば記入する。

〔様式D-1〕 平面図

個々ののり面・斜面の調査結果を既存の図面類を利用してまとめ, のり面・斜面の平面図とするものである。

9 整理番号(1)

様式C-1, C-2における整理番号(1)と一致させる。

10 整理番号(2)

データベース整備作業等における整理番号として利用する。

12 小縮尺平面図

縮尺は1/2,500を標準とするが, 図面の大きさによって複写機を用いて1/1,000, 1/5,000等切りの良い数字の縮尺に調整する。この図によって, 対象ののり面・斜面およびその周辺の地形, 道路, 土地利用状況等がわかる範囲を示す。範囲内に他ののり面・斜面があればその形とのり面・斜面番号を示しておく。方位および区間の始点または終点名を添え方向を示す。

13 拡大平面図

縮尺は1/500を標準とするが, 図面の大きさによって複写機を用いて1/250, 1/1,000, 1/2,500等切りの良い数字の縮尺に調整する。切土形状, 盛土形状, のり面保護工, 落石対策工, 地すべり対策工等および浮石, 転石, クラック, 段差, 崩壊, 地すべり等の地形状況等についての調査結果について記入する。区間の始点または終点を添え方向を示す。様式D-3の断面線の位置を記入する。

〔様式D-2〕 正面図

個々ののり面・斜面の調査結果をまとめたもので, のり面・斜面の正面図を示すものである。図面の縮尺は, のり面・斜面によって1/100, 1/200, 1/250, 1/500等切りの良い数字とする。

12 切土状況正面図

切土状況正面図は、新設のり面において施工時の切土面観察及びボーリング等の調査資料に基づいて施工記録として作成するもので、

- ① 表土，風化土，未固結層等の被覆層の分布
- ② 地層，岩種境界線と走向・傾斜
- ③ 岩分類境界線
- ④ 断層，割れ目の分布と走向・傾斜・幅
- ⑤ 湧水，表流水
- ⑥ 小段，のり面の凹凸の状況等
- ⑦ のり肩付近および背後の斜面状況あるいは変状
- ⑧ 隣接構造物

等について記入する。様式D-3の断面線の位置も記入しておく。切土面の写真は様式Eに貼る。

13 のり面完成正面図／斜面正面図

既設のり面および斜面の正面図，新設のり面の完成正面図を示す。様式作成後，補修を行った時は，補修年月を添書して箇所を明示し，図面に記入しておく。補修規模が大きいあるいは余り複雑になれば，新規に様式D-2を作成する。

- ① 道路面，切土・盛土形状，のり面保護工，落石対策工，地すべり対策工，排水工等
- ② 表土，風化土，未固結層等の被覆層，基盤岩線，地層・岩種境界線，岩分類境界線，割れ目，断層（観察可能のとき）
- ③ のり肩・のり先付近および背後の斜面状況あるいは変状
- ④ 植生状況
- ⑤ 隣接構造物

等について詳細に記入する。様式D-3の断面線の位置も記入しておく。

〔様式D-3〕 断面図

個々ののり面・斜面の調査結果をまとめたもので，のり面・斜面の断面図を示すものである。のり面および斜面の代表横断面（最も高い所，最も重い対策をしたところ，あるいは最も典型的なところ等）について記入する。

- ① 道路面，切土・盛土形状，のり面保護工，落石対策工，地すべり対策工，排水工等
- ② 盛土地盤線，表土，風化土，未固結層等の被覆層の分布との厚さ，基盤岩線，地層・岩種境界線，岩分類境界線，割れ目，断層
- ③ のり肩・のり先付近および背後の斜面状況あるいは変状
- ④ 植生状況

⑤ 隣接構造物

⑥ ボーリング等の調査位置

等について詳細に記入するものである。

のり面・斜面の勾配は、崩壊・変状等と密接な関係があり、重要な情報であるので鉛直／水平縮尺は同一とし1/100, 1/200, 1/250, 1/500等切りの良い数字の縮尺とする。対向車線側のり面・斜面もその概況を記入するものとする。

12 切土前断面図／斜面断面図

新設のり面（改築も含む）のり面については、切土前の状況について可能な範囲で推定断面を記入し、新しい切土・盛土形状を破線で書き込む。

既設のり面においては、弾性波探査、ボーリング、サウンディング等による切土前の断面図があるものについてのみ推定断面を記入し、現在の切土・盛土形状を破線で書き込む。

斜面においては、可能な範囲で記入する。

13 完成断面図

既設のり面の現況断面および新設のり面の完成断面について、上記①～⑥を記入する。

新設のり面においては、地山状況は施工時の詳細観察を行って記入するものとする。

既設のり面においては、地山状況はボーリング等の調査資料、施工記録および崩壊時の調査資料等の既存資料を参考にし、可能な範囲で記入する。

〔様式D-4〕 構造物詳細図

個々ののり面・斜面の調査結果をまとめたもので、様式D-1～3に表現できないのり面保護工、落石対策工、排水工等及び浮石、転石、崩壊、クラック等の斜面状況の詳細図を示す。構造物台帳等を参考にするとよい。様式の枚数は必要なだけ用いる。

〔様式E〕 現地写真

個々ののり面・斜面の調査結果をまとめたもので、のり面・斜面の現地写真を貼るものである。

12 現地写真

のり面・斜面についての次のような現地写真を貼る。

① 遠 景

様式D-1の大縮尺平面図にあたるもので、周囲の状況も含めて示す。対岸写真や斜め写真を用いるとよい。

② 近 景

③ 正 面

④ 道路縦断方向

⑤ 構造物

⑥ 斜面状況

崩壊、浮き石、転石、地質、土質、溪流状況、植生等

⑦ 切土状況正面写真

新設のり面については、様式D-2 12 切土状況正面図に相当する切土面全域

にわたる写真および断層、湧水等の重要箇所の写真を添付する。

写真にはできるだけ標尺を入れ説明を付ける。様式の枚数は必要なだけ用いる。

附表 I. 1 道路のり面・斜面基本台帳記入様式

様式 A	区間総括表	33
様式 B	区間路線図	34
様式 C - 1	切土のり面・斜面調査表	35
様式 C - 2	盛土のり面調査表	36
様式 D - 1	平面図	37
様式 D - 2	正面図	38
様式 D - 3	断面図	39
様式 D - 4	構造物詳細図	40
様式 E	現地写真	41

のり面台帳													
1 名称	様式B 区間路線図 その()					2 路線名				9	10 地方建設局	13 整理番号1()	
3 区間名	4 自					6 距離標	7 自			管 轄	11 工事事務所	14 整理番号2()	
	5 至						8 至				12 出張所	15 作成年月日	年 月 日
16 追記年月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月
17 区間路線図 縮尺(1:) A:切土のり面 B:盛土のり面 C:斜面													
: 通行規制区間 ◎: 雨量観測点等 (方位)													

のり面台帳										
1 名称	様式C-1 切土のり面・斜面調査表				4 路線名	管 轄		9 地方建設局	12 整理番号(1)()	
2 のり面・斜面番号					5 距離標	6 自	10 工事事務所	13 整理番号(2)()		
3 のり面・斜面分類					7 至	11 出張所	14 作成年月日	年 月 日		
15 位置					16 上下線別	17 総幅員	18 通行規制区間	19 追記年月	年 月 年 月	
のり面構成	21 のり面の向き	22 のり面平面形		23 のり面最大直高		24 のり面平均勾配 1 :		41 切土部の地形・地質		
	22 のり面状況	25 のり面延長		26 のり面平均勾配 1 :		42 切土前斜面勾配		43 突測勾配		
	27 のり面形状	28 直高	29 勾配 1 :	30 小段幅	31 2 番のり	32 小段幅	33 3 番のり	34 小段幅	35 4 番のり	
	36 直高	37 勾配 1 :	38 小段幅	39 6 番のり	40 小段幅	41 7 番のり	42 小段幅	43 8 番のり	44 小段幅	
	45 直高	46 勾配 1 :	47 小段幅	48 6 番のり	49 小段幅	50 7 番のり	51 小段幅	52 8 番のり	53 小段幅	
	54 直高	55 勾配 1 :	56 小段幅	57 6 番のり	58 小段幅	59 7 番のり	60 小段幅	61 8 番のり	62 小段幅	
	63 直高	64 勾配 1 :	65 小段幅	66 6 番のり	67 小段幅	68 7 番のり	69 小段幅	70 8 番のり	71 小段幅	
	72 直高	73 勾配 1 :	74 小段幅	75 6 番のり	76 小段幅	77 7 番のり	78 小段幅	79 8 番のり	80 小段幅	
	81 直高	82 勾配 1 :	83 小段幅	84 6 番のり	85 小段幅	86 7 番のり	87 小段幅	88 8 番のり	89 小段幅	
	90 直高	91 勾配 1 :	92 小段幅	93 6 番のり	94 小段幅	95 7 番のり	96 小段幅	97 8 番のり	98 小段幅	
のり面保護工・落石対策工等	33 工 種	34 寸 法	35 完成年月日		36 年 月		37 年 月		38 年 月	
	1									
	2									
	3									
	4									
	5									
	6									
	7									
	8									
	9									
のり面排水工	1									
	2									
	3									
	4									
	5									
	6									
	7									
	8									
	9									
	10									
変状・補修・改築	37 年月	38 変状箇所および内容	39 年月	40 補修・改築	41 年月		42 年月		43 年月	
	1									
	2									
	3									
	4									
	5									
	6									
	7									
	8									
	9									
防 災 点 検	94 点 検 年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月
	95 危 険 内 容									
	96 危険度一次判定									
	97 一次判定の内容									
	98 二次判定の内容									
	99 緊急度総合判定結果									
	100 危 険 度									
	101 頻 度									
	102 重 要 度									
	103 点 数									
104 ラ ン ク										
105 迂 回										
106 バス路線										
107 備 考										

のり面台帳											
1 名称		様式C-2 盛土のり面調査表		4 路線名		8 管轄		9 地方建設局		12 整理番号(1)()	
2 のり面・斜面番号		5 距離標		6 自		10 工事事務所		13 整理番号(2)()		14 作成年月日	
3 のり面・斜面分類		7 至		11 出 張 所		15 位置		16 上下線別		17 総幅員	
18 通行規制区間		19 追記年月日		20 年 月		21 年 月		22 年 月		23 年 月	
24 のり面の向き		25 のり面平面形		26 のり面最大直高		27 盛土状況		28 のり面平均勾配		29 1 :	
30 天端幅		31 最上のり		32 小段幅		33 2 番のり		34 小段幅		35 3 番のり	
36 直高		37 m		38 m		39 m		40 m		41 m	
42 勾配		43 m 1 :		44 m 1 :		45 m 1 :		46 m 1 :		47 m 1 :	
48 小段幅		49 5 番のり		50 小段幅		51 6 番のり		52 小段幅		53 7 番のり	
54 直高		55 m		56 m		57 m		58 m		59 m	
60 勾配		61 m 1 :		62 m 1 :		63 m 1 :		64 m 1 :		65 m 1 :	
66 土質分類		67 土質の特徴		68 乾燥密度		69 g/cm ³		70 最適含水比		71 %	
72 10% 粒径		73 mm		74 室内CBR値		75 %		76 最大乾燥密度		77 g/cm ³	
78 60% 粒径		79 mm		80 現場CBR値		81 %		82 盛土土質改良工法		83 盛土補強土工法	
84 工 種		85 寸 法		86 完成年月		87 年 月		88 年 月		89 年 月	
90 のり面保護工		91 1		92 2		93 3		94 4		95 5	
96 のり面排水工		97 1		98 2		99 3		100 4		101 5	
102 カルバート		103 1		104 2		105 3		106 4		107 5	
108 路面排水工		109 1		110 2		111 3		112 4		113 5	
114 変状・補修・改築		115 年 月		116 変状箇所および内容		117 年 月		118 補修・改築		119 年 月	
120 1		121 年 月		122 2		123 年 月		124 3		125 年 月	
126 4		127 年 月		128 5		129 年 月		130 6		131 年 月	
132 7		133 年 月		134 8		135 年 月		136 9		137 年 月	
138 10		139 年 月		140 11		141 年 月		142 12		143 年 月	
144 13		145 年 月		146 14		147 年 月		148 15		149 年 月	
150 16		151 年 月		152 17		153 年 月		154 18		155 年 月	
156 19		157 年 月		158 20		159 年 月		160 21		161 年 月	
162 22		163 年 月		164 23		165 年 月		166 24		167 年 月	
168 25		169 年 月		170 26		171 年 月		172 27		173 年 月	
174 28		175 年 月		176 29		177 年 月		178 30		179 年 月	
180 31		181 年 月		182 32		183 年 月		184 33		185 年 月	
186 34		187 年 月		188 35		189 年 月		190 36		191 年 月	
192 37		193 年 月		194 38		195 年 月		196 39		197 年 月	
198 40		199 年 月		200 41		201 年 月		202 42		203 年 月	
204 43		205 年 月		206 44		207 年 月		208 45		209 年 月	
210 46		211 年 月		212 47		213 年 月		214 48		215 年 月	
216 49		217 年 月		218 50		219 年 月		220 51		221 年 月	
222 52		223 年 月		224 53		225 年 月		226 54		227 年 月	
228 55		229 年 月		230 56		231 年 月		232 57		233 年 月	
234 58		235 年 月		236 59		237 年 月		238 60		239 年 月	
240 61		241 年 月		242 62		243 年 月		244 63		245 年 月	
246 64		247 年 月		248 65		249 年 月		250 66		251 年 月	
252 67		253 年 月		254 68		255 年 月		256 69		257 年 月	
258 70		259 年 月		260 71		261 年 月		262 72		263 年 月	
264 73		265 年 月		266 74		267 年 月		268 75		269 年 月	
270 76		271 年 月		272 77		273 年 月		274 78		275 年 月	
276 79		277 年 月		278 80		279 年 月		280 81		281 年 月	
282 82		283 年 月		284 83		285 年 月		286 84		287 年 月	
288 85		289 年 月		290 86		291 年 月		292 87		293 年 月	
294 88		295 年 月		296 89		297 年 月		298 90		299 年 月	
300 91		301 年 月		302 92		303 年 月		304 93		305 年 月	
306 94		307 年 月		308 95		309 年 月		310 96		311 年 月	
312 97		313 年 月		314 98		315 年 月		316 99		317 年 月	
318 100		319 年 月		320 101		321 年 月		322 102		323 年 月	
324 103		325 年 月		326 104		327 年 月		328 105		329 年 月	
330 106		331 年 月		332 107		333 年 月		334 108		335 年 月	
336 109		337 年 月		338 110		339 年 月		340 111		341 年 月	
342 112		343 年 月		344 113		345 年 月		346 114		347 年 月	
348 115		349 年 月		350 116		351 年 月		352 117		353 年 月	
354 118		355 年 月		356 119		357 年 月		358 120		359 年 月	
360 121		361 年 月		362 122		363 年 月		364 123		365 年 月	
366 124		367 年 月		368 125		369 年 月		370 126		371 年 月	
372 127		373 年 月		374 128		375 年 月		376 129		377 年 月	
378 130		379 年 月		380 131		381 年 月		382 132		383 年 月	
384 133		385 年 月		386 134		387 年 月		388 135		389 年 月	
390 136		391 年 月		392 137		393 年 月		394 138		395 年 月	
396 139		397 年 月		398 140		399 年 月		400 141		401 年 月	
402 142		403 年 月		404 143		405 年 月		406 144		407 年 月	
408 145		409 年 月		410 146		411 年 月		412 147		413 年 月	
414 148		415 年 月		416 149		417 年 月		418 150		419 年 月	
420 151		421 年 月		422 152		423 年 月		424 153		425 年 月	
426 154		427 年 月		428 155		429 年 月		430 156		431 年 月	
432 157		433 年 月		434 158		435 年 月		436 159		437 年 月	
438 160		439 年 月		440 161		441 年 月		442 162		443 年 月	
444 163		445 年 月		446 164		447 年 月		448 165		449 年 月	
450 166		451 年 月		452 167		453 年 月		454 168		455 年 月	
456 169		457 年 月		458 170		459 年 月		460 171		461 年 月	
462 172		463 年 月		464 173		465 年 月		466 174		467 年 月	
468 175		469 年 月		470 176		471 年 月		472 177		473 年 月	
474 178		475 年 月		476 179		477 年 月		478 180		479 年 月	
480 181		481 年 月		482 182		483 年 月		484 183		485 年 月	
486 184		487 年 月		488 185		489 年 月		490 186		491 年 月	
492 187		493 年 月		494 188		495 年 月		496 189		497 年 月	
498 190		499 年 月		500 191		501 年 月		502 192		503 年 月	
504 193		505 年 月		506 194		507 年 月		508 195		509 年 月	
510 196		511 年 月		512 197		513 年 月		514 198		515 年 月	
516 199		517 年 月		518 200		519 年 月		520 201		521 年 月	
522 202		523 年 月		524 203		525 年 月		526 204		527 年 月	
528 205		529 年 月		530 206		531 年 月		532 207		533 年 月	
534 208		535 年 月		536 209		537 年 月		538 210		539 年 月	
540 211		541 年 月		542 212		543 年 月		544 213		545 年 月	
546 214		547 年 月		548 215		549 年 月		550 216		551 年 月	
552 217		553 年 月		554 218		555 年 月		556 219		557 年 月	
558 220		559 年 月		560 221		561 年 月		562 222		563 年 月	
564 223		565 年 月		566 224		567 年 月		568 225		569 年 月	
570 226		571 年 月		572 227		573 年 月		574 228		575 年 月	
576 229		577 年 月		578 230		579 年 月		580 231		581 年 月	
582 232		583 年 月		584 233		585 年 月		586 234		587 年 月	
588 235		589 年 月		590 236		591 年 月		592 237		593 年 月	
594 238		595 年 月		596 239		597 年 月		598 240		599 年 月	
600 241		601 年 月		602 242		603 年 月		604 243		605 年 月	
606 244		607 年 月		608 245		609 年 月		610 246		611 年 月	
612 247		613 年 月		614 248		615 年 月		616 249		617 年 月	
618 250		619 年 月		620 251		621 年 月		622 252		623 年 月	
624 253		625 年 月		626 254		627 年 月		628 255		629 年 月	
630 256		631 年 月		632 257		633 年 月		634 258		635 年 月	
636 259		637 年 月		638 260		639 年 月		640 261		641 年 月	
642 262		643 年 月		644 263		645 年 月		646 264		647 年 月	
648 265		649 年 月		650 266		651 年 月		652 267		653 年 月	
654 268		655 年 月		656 269		657 年 月		658 270		659 年 月	
660 271		661 年 月		662 272		663 年 月		664 273		665 年 月	
666 274		667 年 月		668 275		669 年 月		670 276		671 年 月	
672 277		673 年 月		674 278		675 年 月		676 279		677 年 月	
678 280		679 年 月		680 281		681 年 月		682 282		683 年 月	
684 283		685 年 月		686 284		687 年 月		688 285		689 年 月	
690 286		691 年 月		692 287		693 年 月		694 288		695 年 月	
696 289		697 年 月		698 290		699 年 月		700 291		701 年 月	
702 292		703 年 月		704 293		705 年 月		706 294		707 年 月	
708 295		709 年 月		710 296		711 年 月		712 297		713 年 月	
714 298		715 年 月		716 299		717 年 月		718 300		719 年 月	
720 301		721 年 月		722 302		723 年 月		724 303		725 年 月	
726 304		727 年 月		728 305		729 年 月		730 30			

のり面台帳													
1 名 称		様式D-1 平面図		3 路線名			7 管 轄		工事事務所		9 整理番号(1)()		
2 のり面・斜面番号				4 距離標		5 自	km	6 至	km	8 作成年月日		年 月 日	10 整理番号(2)()
11 追記年月		年 月	年 月	年 月	年 月	年 月							
12 小縮尺平面図 縮尺(1:) (方位) 13 拡大平面図 縮尺(1:) (方位)													

のり面台帳											
1 名 称		様式D-2 正面図		3 路線名		7 管 轄		工事事務所		9 整理番号(1)()	
2 のり面・斜面番号				4 距離標		5 自	km	6 至	km	10 整理番号(2)()	
11 追 記 年 月		年	月	年	月	年	月	8 作成年月日	年	月	日
12 切土状況正面図 縮尺(1:) 13 のり面完成正面図／斜面正面図 縮尺(1:)											

のり面台帳													
1 名 称		様式D-3 断面図			3 路線名		7 管 轄		工事事務所		9 整理番号(1)()		
2 のり面・斜面番号					4 距離標		5 自		km		6 至		
									km		8 作成年月日		
11 追 記 年 月		年 月		年 月		年 月		年 月		年 月		10 整理番号(2)()	
12 切土前断面図／斜面断面図 縮尺(1:)										12 のり面完成断面図 縮尺(1:)			

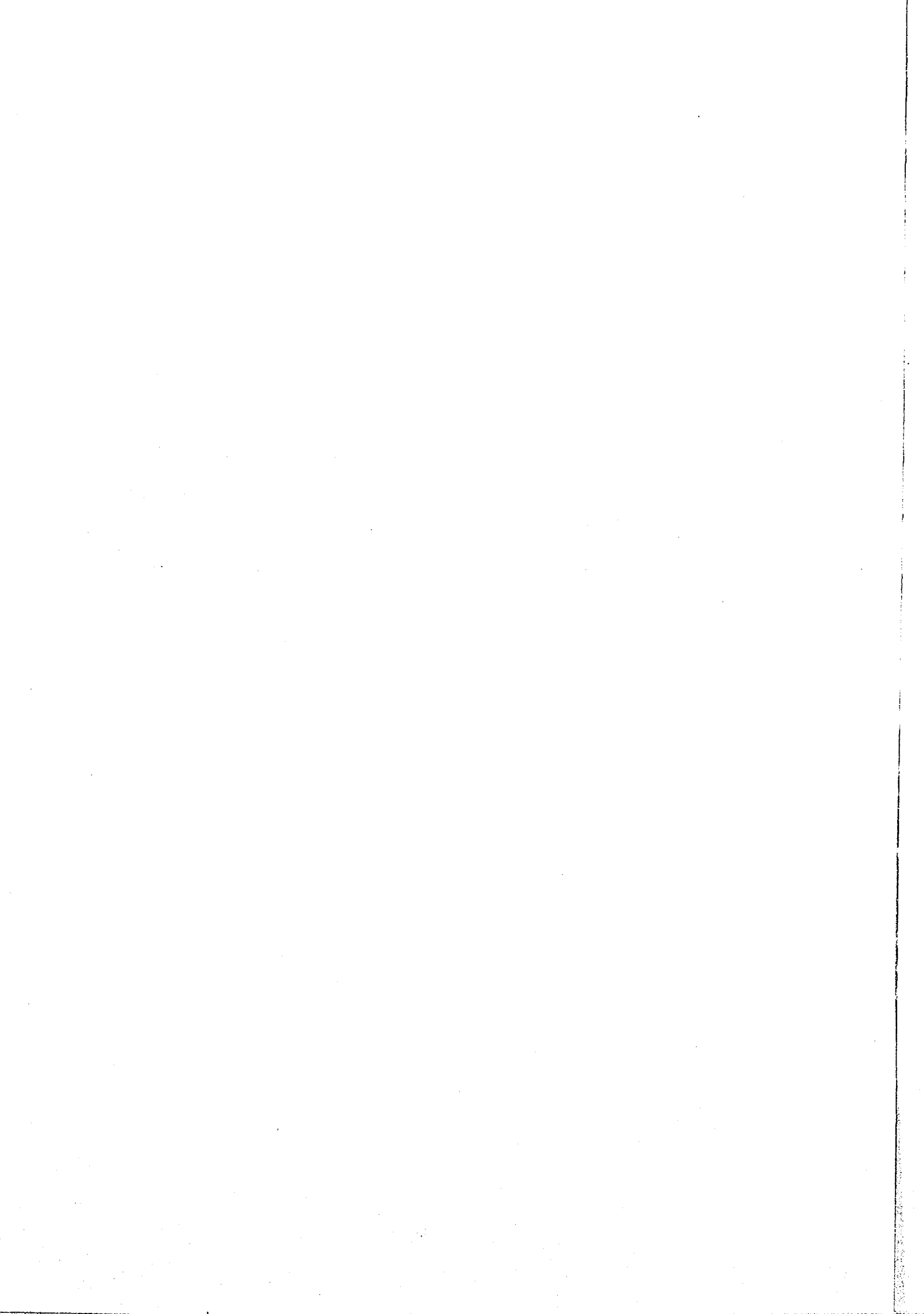
のり面台帳												
1 名 称	様式D-4 構造物詳細図 その()				3 路線名			7 管 轄	工事事務所	9 整理番号(1)()		
2 のり面・斜面番号					4 距離標	5 自	km	6 至	km	8 作成年月日	年 月 日	10 整理番号(2)()
11 追 記 年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月							
12 構造物詳細図 縮尺 ()												

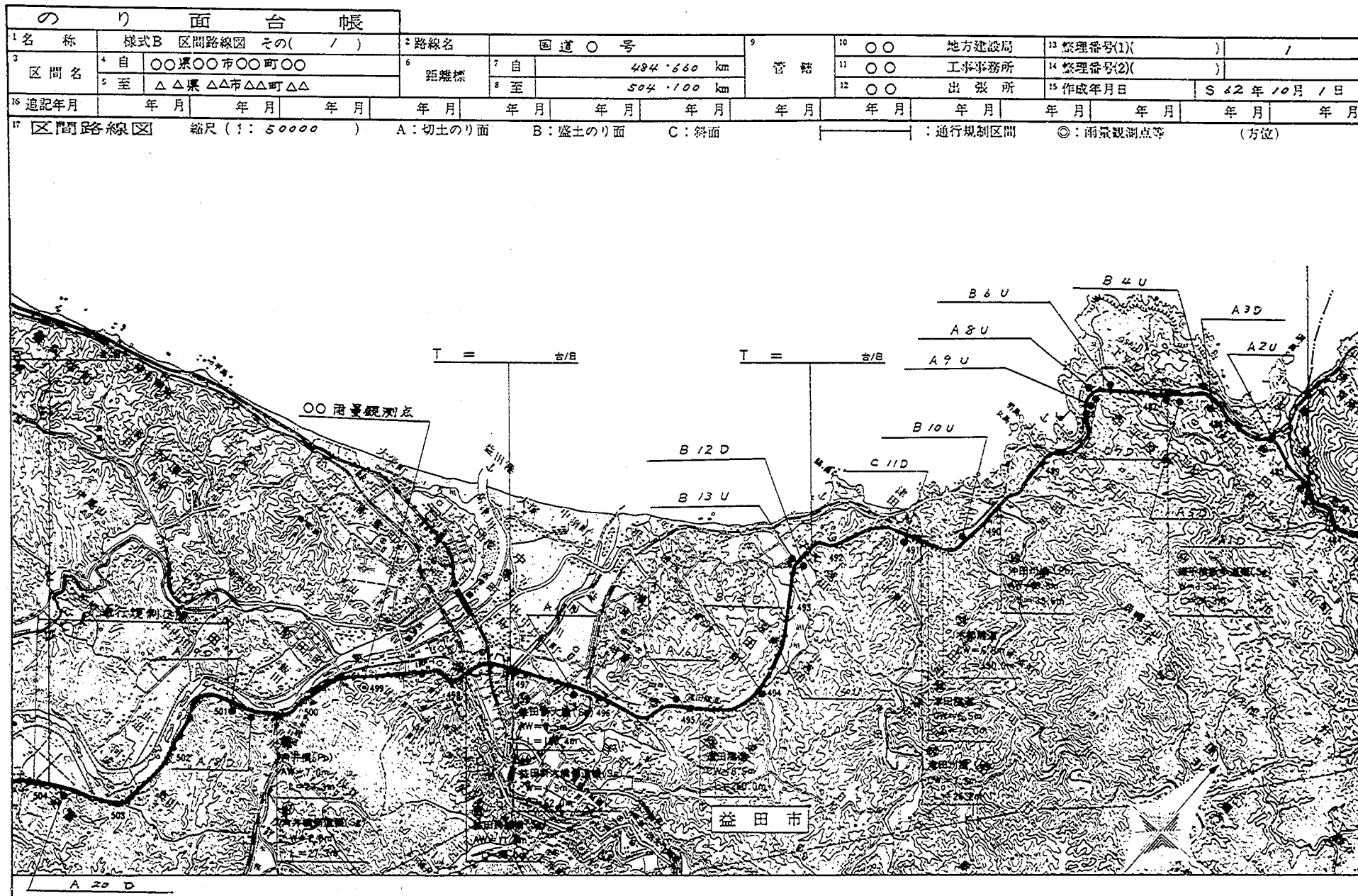
のり面台帳

1 名 称	様式E 現地写真 その()	2 路線名					7 管 轄	工事事務所	9 整理番号(1)()
2 のり面・斜面番号		4 距離標	5 自	km	6 至	km	8 作成年月日	年 月 日	10 整理番号(2)()
11 追記年月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月				
12 現地写真									

附表 I. 2 道路のり面・斜面基本台帳記入様式記入例

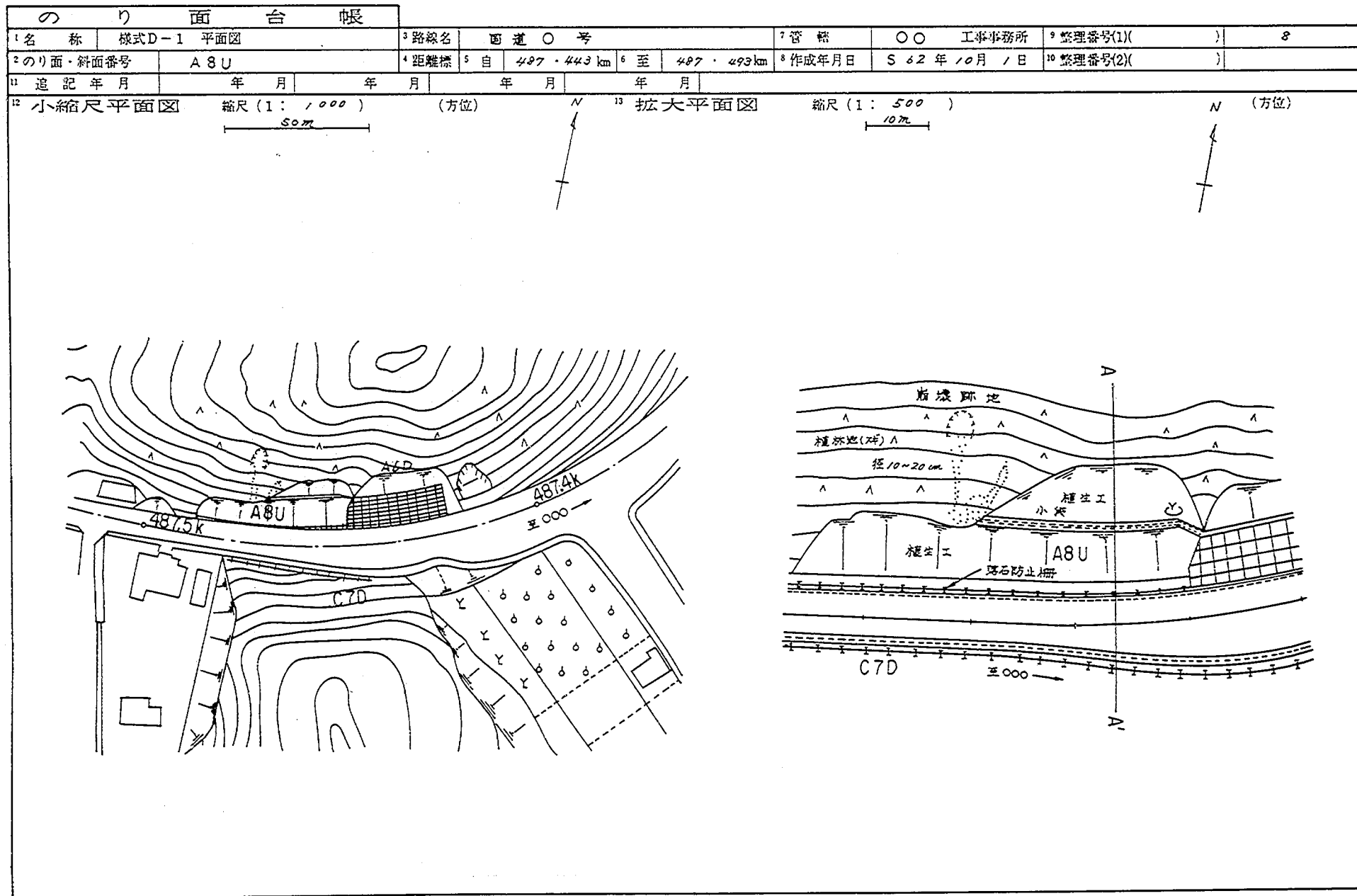
様式 A	区間総括表	45
様式 B	区間路線図	46
様式 C-1	切土のり面・斜面調査表	47
様式 C-2	盛土のり面調査表	48
様式 D-1	平面図	49
様式 D-2	正面図	50
様式 D-3	断面図	51
様式 D-4	構造物詳細図	52
様式 E	現地写真	53





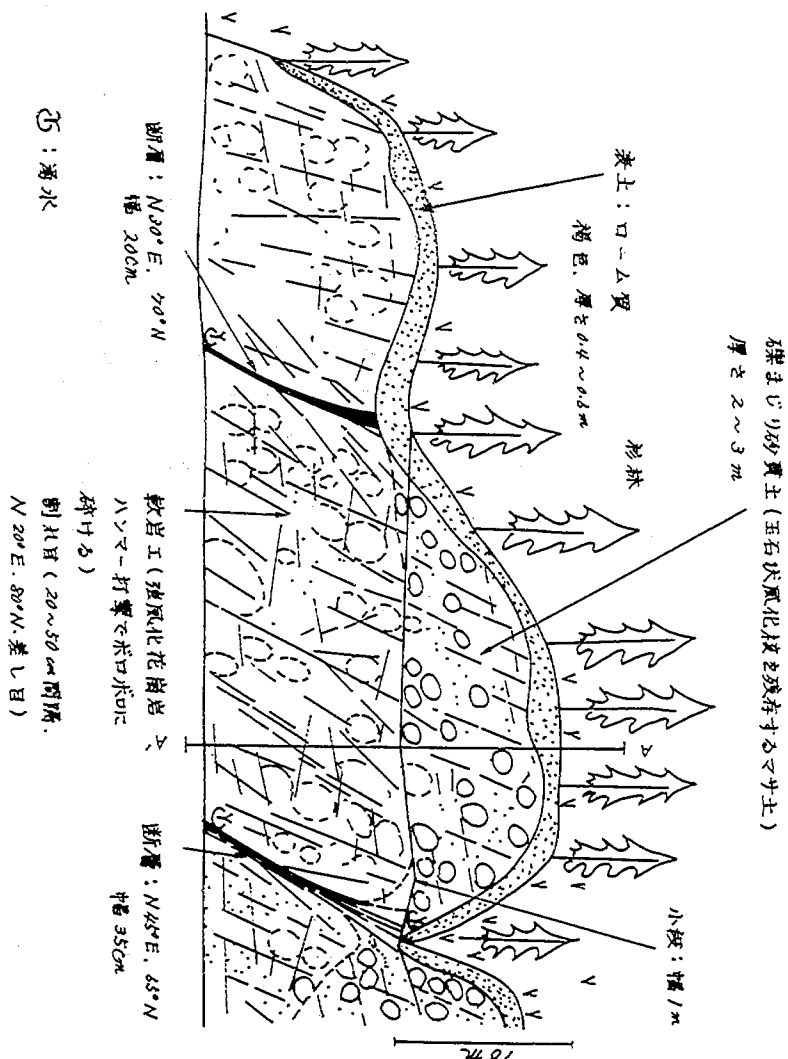
のり面台帳				路線名		国道○号		管轄		地方建設局		整理番号(1)		8		
1 名称		様式C-1 切土のり面・斜面		5		6 自		487		443 km		10		13 整理番号(2)		
2 のり面・斜面番号		A8U		距離標		7 至		487		493 km		11		14 作成年月日		
3 のり面・斜面分類		切土のり面		15 位置		〇〇果〇〇市〇〇町〇〇		16 上下線別		上		17 総幅員		12 m		
18 通行規制区間		外		19 追記年月		年 月		年 月		年 月		年 月		年 月		
のり面構成	21 のり面の向き		NE		22 のり面平面形		3		23 のり面最大直高		17.8 m		42 切土前斜面勾配		46	
	22 のり面状況		2		24 のり面延長		45 m		25 のり面平均勾配		1:1.16		43 実測勾配		20	
	27 のり面形状		28 直高		8.5 m		29 勾配		1:1.0		1 m		30 小段幅		2番のり	
	31 工種		32 寸法		33 完成年月日		34		35		36		37		38	
	39		40		41		42		43		44		45		46	
	47		48		49		50		51		52		53		54	
	55		56		57		58		59		60		61		62	
	63		64		65		66		67		68		69		70	
	71		72		73		74		75		76		77		78	
	79		80		81		82		83		84		85		86	
のり面排水工	87		88		89		90		91		92		93		94	
	95		96		97		98		99		100		101		102	
	103		104		105		106		107		108		109		110	
	111		112		113		114		115		116		117		118	
	119		120		121		122		123		124		125		126	
	127		128		129		130		131		132		133		134	
	135		136		137		138		139		140		141		142	
	143		144		145		146		147		148		149		150	
	151		152		153		154		155		156		157		158	
	159		160		161		162		163		164		165		166	
変状・補修・改築	167		168		169		170		171		172		173		174	
	175		176		177		178		179		180		181		182	
	183		184		185		186		187		188		189		190	
	191		192		193		194		195		196		197		198	
	199		200		201		202		203		204		205		206	
	207		208		209		210		211		212		213		214	
	215		216		217		218		219		220		221		222	
	223		224		225		226		227		228		229		230	
	231		232		233		234		235		236		237		238	
	239		240		241		242		243		244		245		246	
247		248		249		250		251		252		253		254		
255		256		257		258		259		260		261		262		
263		264		265		266		267		268		269		270		
271		272		273		274		275		276		277		278		
279		280		281		282		283		284		285		286		
287		288		289		290		291		292		293		294		
295		296		297		298		299		300		301		302		
303		304		305		306		307		308		309		310		
311		312		313		314		315		316		317		318		
319		320		321		322		323		324		325		326		
327		328		329		330		331		332		333		334		
335		336		337		338		339		340		341		342		
343		344		345		346		347		348		349		350		
351		352		353		354		355		356		357		358		
359		360		361		362		363		364		365		366		
367		368		369		370		371		372		373		374		
375		376		377		378		379		380		381		382		
383		384		385		386		387		388		389		390		
391		392		393		394		395		396		397		398		
399		400		401		402		403		404		405		406		
407		408		409		410		411		412		413		414		
415		416		417		418		419		420		421		422		
423		424		425		426		427		428		429		430		
431		432		433		434		435		436		437		438		
439		440		441		442		443		444		445		446		
447		448		449		450		451		452		453		454		
455		456		457		458		459		460		461		462		
463		464		465		466		467		468		469		470		
471		472		473		474		475		476		477		478		
479		480		481		482		483		484		485		486		
487		488		489		490		491		492		493		494		
495		496		497		498		499		500		501		502		
503		504		505		506		507		508		509		510		
511		512		513		514		515		516		517		518		
519		520		521		522		523		524		525		526		
527		528		529		530		531		532		533		534		
535		536		537		538		539		540		541		542		
543		544		545		546		547		548		549		550		
551		552		553		554		555		556		557		558		
559		560		561		562		563		564		565		566		
567		568		569		570		571		572		573		574		
575		576		577		578		579		580		581		582		
583		584		585		586		587		588		589		590		
591		592		593		594		595		596		597		598		
599		600		601		602		603		604		605		606		
607		608		609		610		611		612		613		614		
615		616		617		618		619		620		621		622		
623		624		625		626		627		628		629		630		
631		632		633		634		635		636		637		638		
639		640		641		642		643		644		645		646		
647		648		649		650		651		652		653		654		
655		656		657		658		659		660		661		662		
663		664		665		666		667		668		669		670		
671		672		673		674		675		676		677		678		
679		680		681		682		683		684		685		686		
687		688		689		690		691		692		693		694		
695		696		697		698		699		700		701		702		
703		704		705		706		707		708		709		710		
711		712		713		714		715		716		717		718		
719		720		721		722		723		724		725		726		
727		728		729		730		731		732		733		734		
735		736		737		738		739		740		741		742		
743		744		745		746		747		748		749		750		
751		752		753		754		755		756		757		758		
759		760		761		762		763		764		765		766		
767		768		769		770		771		772		773		774		
775		776		777		778		779		780		781		782		
783		784		785		786		787		788		789		790		
791		792		793		794		795		796		797		798		
799		800		801		802		803		804		805		806		
807		808		809		810		811		812		813		814		
815		816		817		818		819		820		821		822		
823		824		825		826		827		828		829		830		
831		832		833		834		835		836		837		838		
839		840		841		842		843		844		845		846		
847		848		849		850		851		852		853		854		
855		856		857		858		859		860		861		862		
863		864		865		866		867		868		869		870		
871		872		873		874		875		876		877		878		
879		880		881		882		883		884		885		886		
887		888		889		890		891		892		893		894		
895		896		897		898		899		900		901		902		
903		904		905		906		907		908		909		910		
911		912		913		914		915		916		917		918		
919																

[illegible]

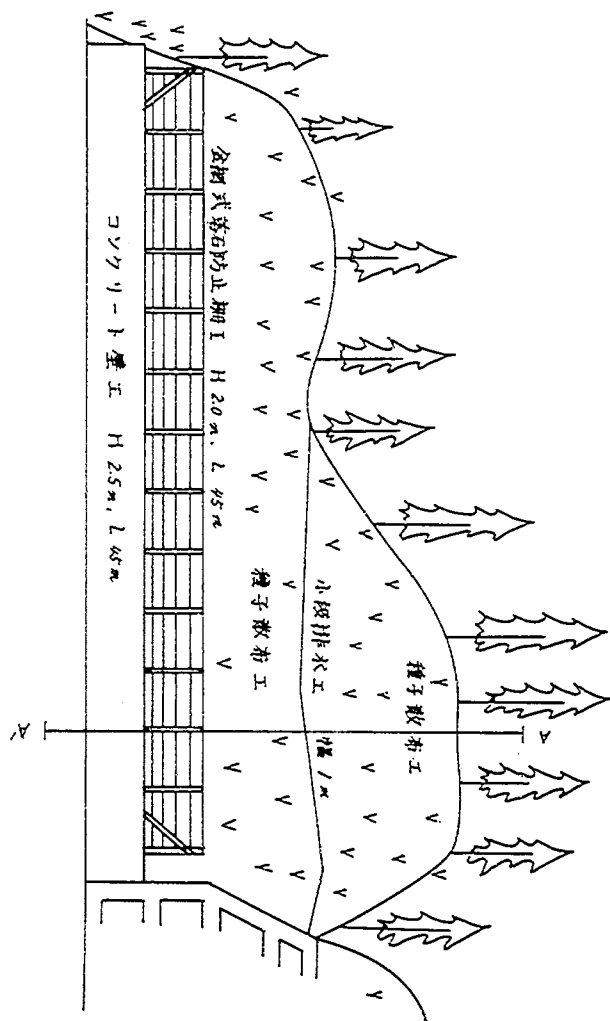


のり面台帳									
1 名称	様式D-2 正面図			3 路線名	国道 〇 号		7 管 轄	〇〇 工事事務所	
2 のり面・斜面番号	A 8 U			4 距離標	5 自	487・443 km	6 至	487・493 km	8 作成年月日
9 追記年月	年	月	年	月	年	月	年	月	S 62 年 10 月 / 日
								9 整理番号(1)()	8
								10 整理番号(2)()	

12 切土状況正面図 縮尺(1: 250)



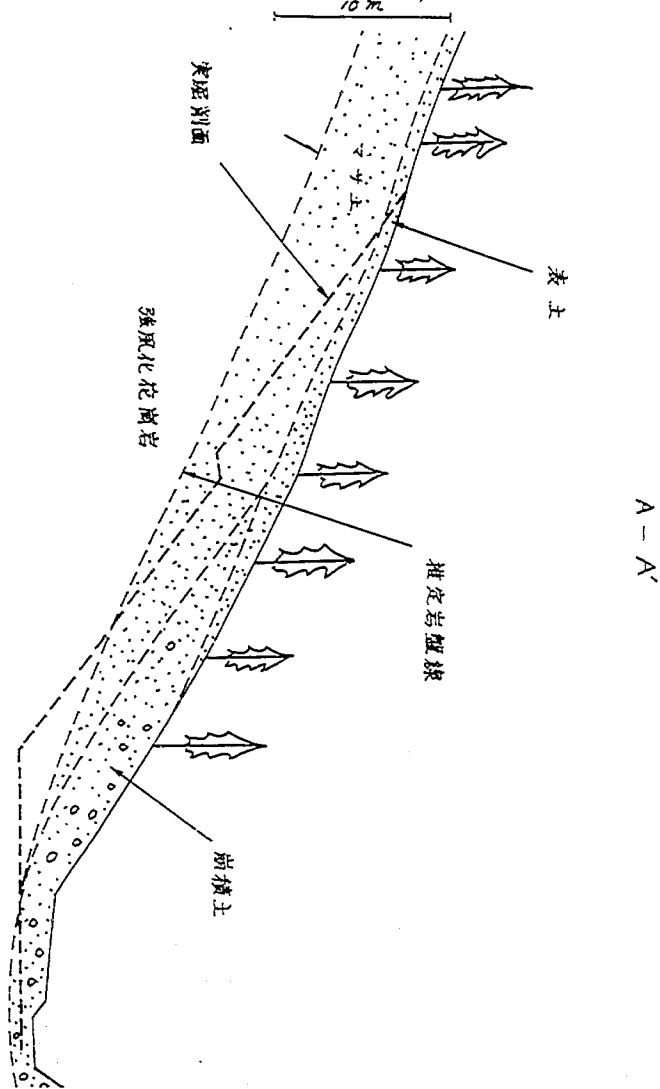
13 のり面完成正面図/斜面正面図 縮尺(1: 250)



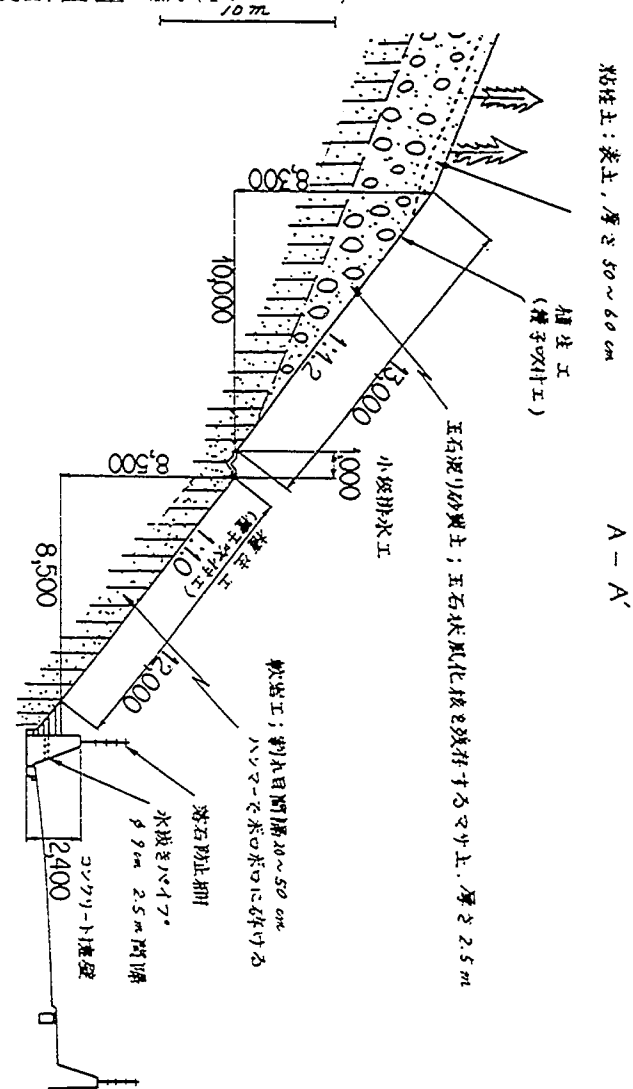
のり面台帳

1 名称	様式D-3 断面図	3 路線名	国道〇号	7 管轄	〇〇 工事事務所	9 整理番号(1)	8
2 のり面・斜面番号	A 8 U	4 距離標	5 自 487・443 km	6 至 487・493 km	8 作成年月日	S 62 年 10 月 / 日	10 整理番号(2)
11 追記年月	年 月 年 月 年 月 年 月 年 月						

12 切土前断面図／斜面断面図 縮尺 (1: 250)



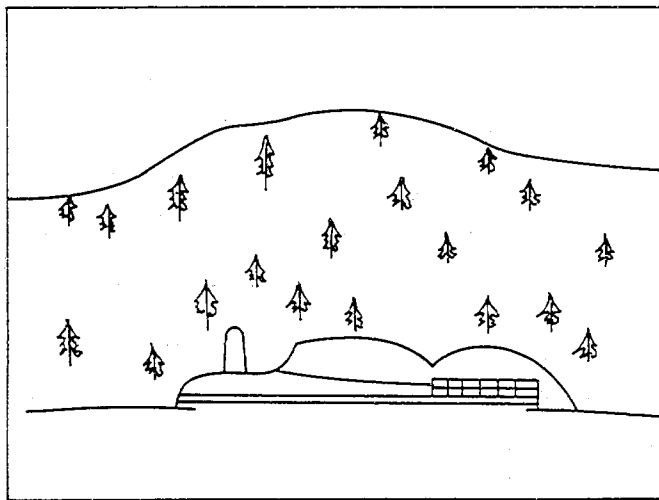
13 のり面完成断面図 縮尺 (1: 250)



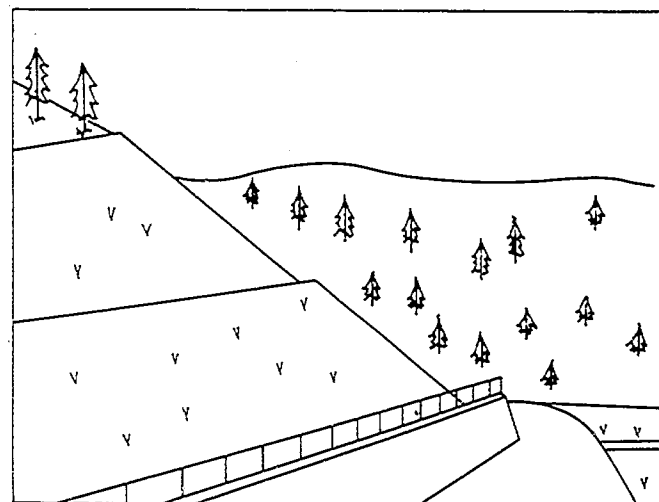
のり面台帳										
1 名称	様式D-4 構造物詳細図 その(/)			3 路線名	国道○号		7 管轄	〇〇 工事事務所	9 整理番号(1)()	8
2 のり面・斜面番号	A 8 U			4 距離標	5 自	487・443 km	6 至	487・493 km	8 作成年月日	S 62 年 10 月 1 日
11 追記年月	年	月	年	月	年	月				
12 構造物詳細図 縮尺(1: 50)										
落石防止柵およびコンクリートよう壁構造図										

のり面台帳									
1 名称	様式E 現地写真 その(/)	3 路線名	国道 〇 号	7 管轄	〇〇 工事事務所	9 整理番号(1)()	8		
2 のり面・斜面番号	A 8 U	4 距離標	5 自 487・443 km	6 至 487・493 km	8 作成年月日	S 62 年 10 月 1 日	10 整理番号(2)()		
11 追記年月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月				

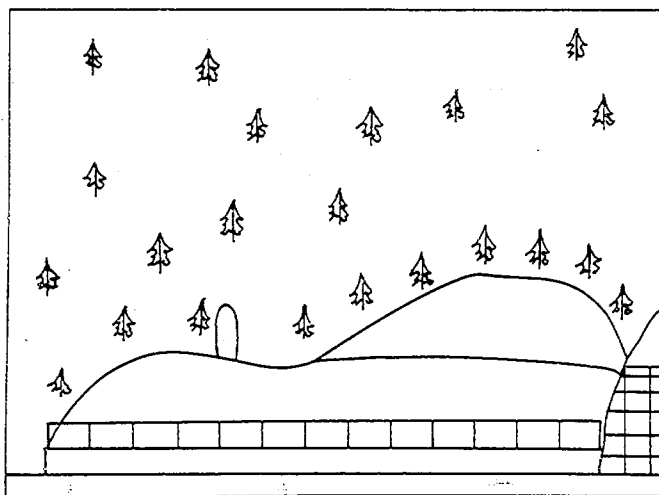
12 現地写真



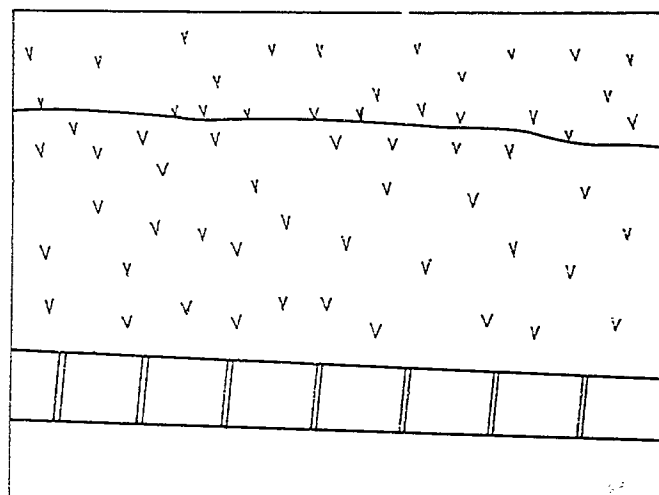
のり面の遠景



縦断方向



のり正面



植生工の状況

附表 I.3

道路のり面・斜面基本台帳記入項目分類

様 式	番号	項 目	既設のり面			新設のり面			備 考
			I	II	III	I	II	III	
A 区間総括表	1	名 称	○			○			I：基本調査 1 既設、新設と も該当すれば 必ず調査する もの
	2	路線名	○			○			
	3	(区間名)							
	4	自	○			○			
	5	至	○			○			
	6	(距離標)							
	7	自	○			○			
	8	至	○			○			
	9	(管 轄)							II：基本調査 2 新設で該当す れば必ず調査 するもの
	10	地方建設局	○			○			
	11	工事事務所	○			○			
	12	出張所	○			○			
	13	整理番号(1)	○			○			
	14	整理番号(2)	○			○			
	15	作成年月日	○			○			
	16	追記年月	○			○			III：詳細調査 本台帳の調査 方法では、記 入できないと きもあるもの
	17	(通行規制区間)							
	18	自	○			○			
	19	至	○			○			
	20	(降雨通行規制基準)							
	21	事前通行規制連続雨量 基準値	○			○			
	22	連続雨量の累計区切り 時間雨量	○			○			
	23	累計区切り時間雨量の 連続時間	○			○			
	24	規制解除雨量	○			○			
	25	規制解除雨量の連続時間	○			○			
	26	(区間のり面・斜面総括表)							
	27	No	○			○			
	28	のり面・斜面番号	○			○			
	29	上下線別	○			○			
	30	(距離標)							
	31	自	○			○			
	32	至	○			○			
	33	のり面・斜面分類	○			○			
	34	規制区間	○			○			
	35	(防災点検結果)							
	36	年 月	○			○			
	37	対象箇所	○			○			
	38	危険内容	○			○			
	39	(緊急度判定結果)							
	40	危険度	○			○			

様 式	番号	項 目	既設のり面			新設のり面			備 考
			I	II	III	I	II	III	
	41	頻 度	○			○			
	42	重要度	○			○			
	43	点 数	○			○			
	44	ランク	○			○			
	45	迂 回	○			○			
	46	バス路線	○			○			
B 区間路線図	1	名 称	○			○			
	2	路線名	○			○			
	3	(区間名)							
	4	自	○			○			
	5	至	○			○			
	6	(距離標)							
	7	自	○			○			
	8	至	○			○			
	9	(管 轄)							
	10	地方建設局	○			○			
	11	工事事務所	○			○			
	12	出張所	○			○			
	13	整理番号(1)	○			○			
	14	整理番号(2)	○			○			
	15	作成年月日	○			○			
	16	追記年月	○			○			
	17	(区間路線図)							
	18	距離標	○			○			
	19	のり面・斜面位置	○			○			
	20	通行規制区間	○			○			
	21	雨量等観測点等	○			○			
C-1 切土のり面・ 斜面調査表	1	名 称	○			○			
	2	のり面・斜面番号	○			○			
	3	のり面・斜面分類	○			○			
	4	路線名	○			○			
	5	(距離標)							
	6	自	○			○			
	7	至	○			○			
	8	(管 轄)							
	9	地方建設局	○			○			
	10	工事事務所	○			○			
	11	出張所	○			○			
	12	整理番号(1)	○			○			
	13	整理番号(2)	○			○			
	14	作成年月日	○			○			

様 式	番号	項 目	既設のり面			新設のり面			備 考
			I	II	III	I	II	III	
	15	位 置	○			○			
	16	上下線別	○			○			
	17	総幅員	○			○			
	18	通行規制区間	○			○			
	19	追記年月	○			○			
	20	(のり構成)							
	21	のり面の向き	○			○			
	22	のり面状況	○			○			
	23	のり面平面形	○			○			
	24	のり尻延長	○			○			
	25	のり面最大直高	○			○			
	26	のり面平均勾配	○			○			
	27	(のり形状)							
	28	直 高	○			○			
	29	勾 配	○			○			
	30	小段幅	○			○			
	31	(のり面保護工・落石対策工等)							
	32	(のり面排水工)							
	33	工 種	○			○			
	34	寸 法	○			○			
	35	完成年月			○		○		
	36	(変状, 補修, 改築)							
	37	年 月			○		○		
	38	変状箇所および内容	○		○				
	39	年 月			○		○		
	40	補修・改築	○			○			
	41	(切土部の地形・地質)							
	42	(切土前斜面勾配)							
	43	実測勾配			○		○		
	44	推定勾配	○						
	45	のり肩斜面勾配	○			○			
	46	(被覆層)							
	47	実測厚さ			○		○		
	48	推定厚さ	○						
	49	土質分類			○		○		
	50	土質の特徴			○		○		
	51	N 値			○			○	
	52	V _p 値			○			○	
	53	(基盤岩)							
	54	地 質	○			○			
	55	岩 種	○			○			
	56	走 向			○		○		
	57	傾 斜			○		○		
	58	割れ目			○		○		
	59	(岩盤状況)							

様 式	番号	項 目	既設のり面			新設のり面			備 考
			I	II	III	I	II	III	
	60	分 類			○		○		
	61	岩石硬さ			○		○		
	62	割れ目間隔			○		○		
	63	割れ目状態			○		○		
	64	風 化			○		○		
	65	変 質			○		○		
	66	V _p 値			○			○	
	67	(断 層)							
	68	走 向			○		○		
	69	傾 斜			○		○		
	70	破碎幅			○		○		
	71	水の状況	○			○			
	72	湧水量			○			○	
	73	調査時期	○			○			
	74	降雨後日数	○			○			
	75	(斜面部の地形・地質)							
	76	地形のタイプ	○			○			
	77	地 質	○			○			
	78	岩 種	○			○			
	79	横断形	○			○			
	80	浮き石, 転石	○			○			
	81	オーバハング	○			○			
	82	被覆層厚さ			○		○		
	83	被覆層分布	○			○			
	84	植 生	○			○			
	85	(崩壊, 地すべり)							
	86	水平延長	○			○			
	87	高 さ	○			○			
	88	幅	○			○			
	89	深 さ	○			○			
	90	斜面勾配	○			○			
	91	道路との位置関係	○			○			
	92	対策工	○			○			
	93	(防災点検)							
	94	点検年月	○			○			
	95	危険内容	○			○			
	96	危険度一次判定	○			○			
	97	一次判定の内容	○			○			
	98	二次判定の内容	○			○			
	99	(緊急度総合判定結果)							
	100	危険度	○			○			
	101	頻 度	○			○			
	102	重要度	○			○			
	103	点 数	○			○			
	104	ランク	○			○			

様 式	番号	項 目	既設のり面			新設のり面			備 考
			I	II	III	I	II	III	
	105	迂 回	○			○			
	106	バス路線	○			○			
	107	備 考	○			○			
C-2 盛土のり面 調査表	1	名 称	○			○			
	2	のり面・斜面番号	○			○			
	3	のり面・斜面分類	○			○			
	4	路線名	○			○			
	5	(距離標)							
	6	自	○			○			
	7	至	○			○			
	8	(管 轄)							
	9	地方建設局	○			○			
	10	工事事務所	○			○			
	11	出張所	○			○			
	12	整理番号(1)	○			○			
	13	整理番号(2)	○			○			
	14	作成年月日	○			○			
	15	位 置	○			○			
	16	上下線別	○			○			
	17	総幅員	○			○			
	18	通行規制区間	○			○			
	19	追記年月	○			○			
	20	(のり構成)							
	21	のり面の向き	○			○			
	22	のり面状況	○			○			
	23	のり面平面形	○			○			
	24	のり肩延長	○			○			
	25	のり面最大直高	○			○			
	26	のり面平均勾配	○			○			
	27	(のり形状)							
	28	直 高	○			○			
	29	勾 配	○			○			
	30	天端幅							
	31	小段幅	○			○			
	32	(盛土材料)							
	33	(土 質)							
	34	土質分類			○		○		
	35	土質の特徴			○		○		
	36	乾燥密度			○			○	
	37	湿潤密度			○			○	
	38	最大乾燥密度			○			○	
	39	最適含水比			○			○	
	40	最大粒径			○			○	

様 式	番号	項 目	既設のり面			新設のり面			備 考
			I	II	III	I	II	III	
	41	60% 粒径			○			○	
	42	10% 粒径			○			○	
	43	室内 CBR 値			○			○	
	44	現場 CBR 値			○			○	
	45	盛土土質改良工法			○		○		
	46	盛土補強土工法			○		○		
	47	(のり面保護工)							
	48	(のり面排水工)							
	49	(カルバート)							
	50	(路面排水工)							
	51	工 種	○			○			
	52	寸 法	○			○			
	53	完成年月			○		○		
	54	(変状, 補修・改築)							
	55	年 月			○		○		
	56	変状箇所および内容	○		○				
	57	年 月			○		○		
	58	補修・改築	○			○			
	59	(盛土地盤の地形・地質)							
	60	地形の特徴	○			○			
	61	(山 地)							
	62	盛土地盤実測勾配			○		○		
	63	盛土地盤推定勾配	○						
	64	のり先斜面勾配	○			○			
	65	(被覆層)							
	66	厚 さ			○			○	
	67	土質分類			○			○	
	68	土質の特徴			○			○	
	69	N 値			○			○	
	70	(基盤岩)							
	71	地 質			○			○	
	72	岩 種			○			○	
	73	走 向			○			○	
	74	傾 斜			○			○	
	75	(崩壊・地すべり)							
	76	水平延長	○			○			
	77	高 さ	○			○			
	78	幅	○			○			
	79	深 さ	○			○			
	80	斜面勾配	○			○			
	81	道路との位置関係	○			○			
	82	対策工	○			○			
	83	(集水部の状況)							
	84	集水面積			○		○		
	85	植生状況	○			○			

様 式	番号	項 目	既設のり面			新設のり面			備 考
			I	II	III	I	II	III	
	86	崩壊・地すべり状況	○			○			
	87	谷部堆積状況	○			○			
	88	(平坦地)							
	89	土質分類			○			○	
	90	土質の特徴			○			○	
	91	深 度			○			○	
	92	N 値			○			○	
	93	湿潤密度			○			○	
	94	液性限界			○			○	
	95	塑性限界			○			○	
	96	間隙比			○			○	
	97	地盤対策工法			○		○		
	98	水の状況	○			○			
	99	湧水量			○			○	
	100	調査時期	○			○			
	101	降雨後日数	○			○			
	102	(のり先周辺の水面状況)							
	103	水面の種類	○			○			
	104	のり先標高差	○			○			
	105	浸食状況	○			○			
	106	(対策工)							
	107	有 無	○			○			
	108	対策工	○			○			
	109	(防災点検)							
	110	点検年月	○			○			
	111	危険内容	○			○			
	112	(緊急度総合判定結果)							
	113	危険度	○			○			
	114	頻 度	○			○			
	115	重要度	○			○			
	116	点 数	○			○			
	117	ランク	○			○			
	118	迂 回	○			○			
	119	バス路線	○			○			
	120	備 考	○			○			
D-2 平面図	1	名 称	○			○			
	2	のり面・斜面番号	○			○			
	3	路線名	○			○			
	4	(距離標)							
	5	自	○			○			
	6	至	○			○			
	7	管 轄	○			○			
	8	作成年月日	○			○			

様 式	番号	項 目	既設のり面			新設のり面			備 考
			I	II	III	I	II	III	
	9	整理番号(1)	○			○			
	10	整理番号(2)	○			○			
	11	追記年月	○			○			
	12	小縮尺平面図	○			○			
	13	拡大平面図	○			○			
D-2 正面図	1	名 称	○			○			
	2	のり面・斜面番号	○			○			
	3	路線名	○			○			
	4	(距離標)							
	5	自	○			○			
	6	至	○			○			
	7	管 轄	○			○			
	8	作成年月日	○			○			
	9	整理番号(1)	○			○			
	10	整理番号(2)	○			○			
	11	追記年月	○			○			
	12	切土状況正面図			○	○			
	13	のり面完成正面図／斜面正面図	○			○			
D-3 断面図	1	名 称	○			○			
	2	のり面・斜面番号	○			○			
	3	路線名	○			○			
	4	(距離標)							
	5	自	○			○			
	6	至	○			○			
	7	管 轄	○			○			
	8	作成年月日	○			○			
	9	整理番号(1)	○			○			
	10	整理番号(2)	○			○			
	11	追記年月	○			○			
	12	切土前断面図／斜面断面図			○	○			
	13	のり面完成断面図	○			○			
D-4 構造物詳細図	1	名 称			○		○		
	2	のり面・斜面番号			○		○		
	3	路線名			○		○		
	4	(距離標)							
	5	自			○		○		
	6	至			○		○		
	7	管 轄			○		○		
	8	作成年月日			○		○		

様 式	番号	項 目	既設のり面			新設のり面			備 考
			I	II	III	I	II	III	
	9	整理番号(1)			○		○		
	10	整理番号(2)			○		○		
	11	追記年月			○		○		
	12	構造物詳細図			○		○		
E 現地写真	1	名 称	○			○			
	2	のり面・斜面番号	○			○			
	3	路線名	○			○			
	4	(距離名)							
	5	自	○			○			
	6	至	○			○			
	7	管 轄	○			○			
	8	作成年月日	○			○			
	9	整理番号(1)	○			○			
	10	整理番号(2)	○			○			
	11	追記年月	○			○			
	12	現地写真	○			○			

II. 道路のり面・斜面被災台帳

ここでは、道路のり面・斜面の被災があったとき、被災後作成する被災台帳について示している。

1. 記入様式の種類

記入様式の種類は次のとおりである（附表Ⅱ.1）。

様式	F	被災台帳	区間総括表
	G	被災台帳	被災位置路線図
	H	被災台帳	調査表
	I-1	被災台帳	平面図
	I-2	被災台帳	正面図及び断面図
	J	被災台帳	現地写真
	K	被災台帳	気象データ

注）本台帳においては特に断らない限り「斜面」とは自然斜面を指すものとする。

2. 作成概要

2.1 作成対象

小落石、肌落ち程度の小規模な変状については、基本台帳があれば様式C-1の36またはC-2の54に記入することとし、ここでは、永久構造物等（モルタル吹付工、のり枠工、落石防止柵工等を含む）による復旧を必要とするような規模の被災を対象とする。

作成単位は、個々の被災箇所ごととし、1つののり面・斜面に被災箇所が複数あればそれぞれについて作成するものとする。

2.2 作成方法

主として現地踏査、気象観測資料および基本台帳があればそれをもとに作成する。被災状況を撮影した空中写真等があれば、それも参考にする。なお、調査にあたっては「道路土工指針－のり面工・斜面安定工指針、落石対策便覧（日本道路協会）」を参考にするといよい。

2.3 記入範囲

台帳の項目と記入範囲については、調査期間、調査方法等による限界もあるので、これらの点を考慮し、次のようにわけることとした。

表Ⅱ.1 記入範囲の区分

I. 基本調査	該当すれば必ず調査するもの。
II. 詳細調査	本台帳による調査方法では記入できないときもあるもの。

3. 記入要領

以下、各様式について必要と思われる欄の記入要領を示す。見出しの番号は各々の記入欄に付した

番号である。選択肢には、コード記号がついているが、特に記述のない限り、コード記号は記入欄に書き込む必要はないこととする。() 書きは見出しを示す。記入例を附表Ⅱ. 2 に示した。

〔様式F〕 被災台帳 区間総括表

区間内の被災状況を総括したものであり、作成は個々の被災箇所の調査結果をまとめた様式Hおよび基本台帳があれば様式Aを参考にする。

2 路線名

「国道2号」のように記入する。

(3 区間)

区間の始点、終点について、次のように記入する。

4 自 ○○県○○市××町△△

5 至 ○○県○○市××町△△

(6 距離標)

区間の始点、終点についてkm位で小数第3位まで次のように記入する。

7 自 ○○○. ○○○km

8 至 ○○○. ○○○km

13 整理番号(1)

被災調査における整理番号として利用する。

14 整理番号(2)

データベース整備作業等における整理番号として利用する。

16 被災原因, 17 気象状況

様式Hの19, 20によるものとする。

(18 被災後通行規制区間)

被災後に通行規制を行った区間の距離標をkm単位で小数第2位まで記入する。

(21 区間のり面・斜面被災総括表)

22 No

被災調査の通し番号とする。すなわち、様式Hの12 整理番号(1)と一致する。

23 のり面・斜面番号～33 被災時通行規制有無

様式Hのデータをもとに作成するものである。

(34 防災点検)

55 防災点検, 61 防災点検およびその後の防災点検調査結果について点検対象箇所となっていれば記入する。

36 対象箇所

防災点検の対象箇所となっていれば○を記入する。

37 危険内容

次のうちいずれであるかを記号で記入する。

表F.1 防災点検における危険内容の区分

1. 落石の恐れ	2. 崩壊の恐れ	3. 地すべりの恐れ	4. 雪崩の恐れ	5. 土石流の恐れ
6. 盛土の変状・崩壊の恐れ	7. 擁壁の変状	8. その他		

(38 緊急度総合判定)

39 危険度, 40 頻度, 41 区間重要度, 42 点数, 43 ランクについて例のように記入する。

(記入例) b c a 6 II (B)

(様式G) 被災台帳 被災位置路線図

1/50,000 の路線図(他に適当な図面があればそれでよい)に, 被災箇所の位置と通行規制区間を記入したものである。

13 整理番号(1)

被災調査における整理番号として利用する。

14 整理番号(2)

データベース整備作業等における整理番号として利用する。

16 被災原因, 17 気象状況

様式Hの19, 20によるものとする。

(18 区間路線図)

(距離標)

1.00 km 間隔で距離標を示す。

(通行規制区間)

事前通行規制区間を  で示し, 距離標を記入する。

(雨量観測点等)

雨量および気象観測点の位置を◎で示し, 観測点名を添える。

(被災箇所の通し番号, のり面・斜面番号)

被災箇所の中央附近に・を付けて位置を示し, 被災調査の通し番号すなわち, 様式Hの12 整理番号(1)とのり面・斜面番号を添える。

(記入例) ・————— 被災通し番号—のり面・斜面番号

・————— No.1 — A 1 U

・————— No.2

・————— No.3 — C 2 D

(被災後通行規制区間)

被災後の通行規制区間を「-----」で示し、始点と終点の距離標を km 単位で小数第2位まで記入する。

〔様式H〕 被災台帳 調査表

個々の被災箇所の被災原因、被災形態、被災状況等についての調査結果をまとめたものである。

2 のり面・斜面番号

被災箇所に対応する基本台帳ののり面・斜面番号を記入する。被災形態が複合しているときは、現場状況によってどの番号ののり面・斜面に属する問題かを判定する。

当該の被災箇所ののり面・斜面に該当するのり面・斜面番号がないとき、および被災形態から見て、周囲ののり面・斜面と関連がないと判断されるときは2 のり面・斜面番号は空欄としておく。

3 のり面・斜面分類

当該の被災箇所に対応するのり面・斜面あればその分類を記入する。ないときは空欄としておく。分類については次のようにする。

A. 切土のり面（背後斜面に発生したものも含む） C. 斜面（斜面のみの箇所）

B. 盛土のり面（のり先斜面に発生したものも含む）

4 路線名

「国道2号」のように記入する。

（5 距離標）

区間の始点、終点について km 位で小数第3位まで次のように記入する。

6 自 ○○○. ○○○ km

7 至 ○○○. ○○○ km

（8 管 轄）

9 地方建設局名を記入する。

10 工事事務所名を記入する。

11 出張所名を記入する。

12 整理番号(1)

被災調査の通し番号として利用する。

13 整理番号(2)

データベース整備作業等における整理番号として利用する。

14 作成年月日を記入する。

15 位置については、○○県○○市××町△△のように記入する。

16 上下線別

のり面・斜面が上下線のどちら側にあるかについて記入する。

1. 上線側→上
2. 下線側→下

17 総幅員

のり面・斜面の中間点附近の総幅員とする。

18 通行規制区間

降雨に対する事前通行規制区間内かどうかについて次のように記入する。

1. 規制区間内→内
2. 規制区間外→外

19 被災原因

被災原因は下記のように分類する。原因が複合すると考えられるときは、それぞれ記入する。

表H.1 被災原因

1. 降雨	2. 地震	3. 融雪	4. 雪崩	5. 強風	6. その他()	7. 不明
-------	-------	-------	-------	-------	-----------	-------

20 気象状況

被災発生年と台風〇〇号、〇〇豪雨、〇〇地震等の災害名、または梅雨前線豪雨、秋雨前線豪雨、熱帯性低気圧等の一般気象状況名を記入する。

(記入例) S〇〇年台風〇〇号

S△△年梅雨前線豪雨

21 被災形態大区分

被災形態は複合していることが多いが、主たる被災発生形態が次のどれに該当するかを現場状況で判断して記入する。

表H.2 被災形態大区分

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 切土崩壊……切土のり面のみの崩壊とする。 2. 切土・斜面崩壊……斜面も含めて崩壊したものとする。 3. 斜面崩壊……斜面のみの崩壊とする。 4. 地すべり 5. 落石 6. 盛土崩壊……土砂流等による盛土洗掘・流出も含め、盛土のみ崩壊したものとする。 7. 盛土・斜面崩壊……土砂流等による盛土洗掘・流出も含め、斜面とともに崩壊したものとする。 8. 土砂堆積……崩壊、地すべり及び土砂流、土石流、泥流、洪水流等によって路面上に土砂、流木等を堆積したもの 9. 雪崩 10. その他 |
|--|

22 被災過程

地すべり・崩壊・落石・土石流等の発生から道路施設等の被災に至るまでの過程を現場状況より推定して表H.3のように細区分し、次の例に従って記号で記入する。

- (記入例) 1. 斜面崩壊→土石流→排水工閉塞, 路面越流→盛土崩壊, のり面保護工被災:
 $A_2 \rightarrow B_2 \rightarrow C_4, C_5 \rightarrow D_2, D_5$
 2. 切土崩壊→のり面保護工被災→土砂等の路面上堆積: $A_1 \rightarrow D_2 \rightarrow D_4$
 3. 盛土崩壊: D_5

表H.3 被災過程の細区分

A 1	切土崩壊	
A 2	斜面崩壊 (当該道路以外の盛土崩壊を含む)	
A 3	地すべり	
A 4	落石	
A 5	溪床堆積物の移動	
A 6	雪崩	
B 1	土砂流……砂, 礫を含んだ洪水流	} 土砂流等
B 2	土石流……水を含んだ土, 砂, 礫の流れ	
B 3	泥流……水を含んだ泥の流れ	
B 4	洪水流	
C 1	治山, 砂防施設を越えた土砂等の流下	
C 2	落石対策工を越えた土砂等の落下・移動	
C 3	排水工 (橋梁を含む) よりの溢流	
C 4	排水工 (橋梁を含む) 閉塞	
C 5	路面越流	
D 1	落石対策工被災	
D 2	のり面保護工被災	
D 3	排水工 (橋梁を含む) 被災	
D 4	土砂等の路面上堆積	
D 5	盛土崩壊	
D 6	その他の道路施設被災	

(23 被災発生日時)

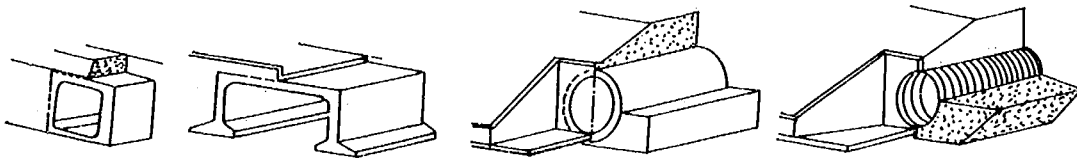
発生時刻が概ね判明しているときは 24 確定時刻に, そうでないときは 25 推定時刻の欄に何時から何時までの間に発生したと推定される旨を記入する。

(26 道路施設被災概要)

27 種類

被災した主な道路施設・工種名について, 次表によって記入する。

表H.4 のり面保護工，落石対策工，排水工，のり面・斜面状態，道路施設等の区分

のり面保護工，落石対策工等				
1. モルタル吹付工	15. 落石覆工	29. 植生盤工		
2. コンクリート吹付工	16. 石積みよう壁工	30. 植生袋工		
3. 石張工	17. ブロック積みよう壁工	31. 植生穴工		
4. ブロック張工	18. コンクリートよう壁工	32. 谷止め工		
5. コンクリート張工	19. 井桁工	33. えん堤工		
6. プレキャストのり枠工	20. ふとんかご工	34. 床固め工		
7. 現場打コンクリートのり枠工 (吹付のり枠工を含む)	21. くい工	35. 水制工		
8. 根固め工	22. 補強土工法	36. 護岸工		
9. アンカー工	23. 種子散布工	37. 水路工		
10. ロックボルト工	24. 客土吹付工	38. その他		
11. 編柵工	25. 植生マット工			
12. のり面じゃかご工	26. 張芝工			
13. 落石防止網工	27. 植生筋工			
14. 落石防止柵工	28. 筋芝工			
のり面排水工				
表面排水工	39. のり肩排水工	40. 縦排水工	41. 小段排水工	42. その他
地下排水工	43. 地下排水溝	44. 垂直排水孔	45. 水平排水孔	46. 水平排水層
	47. のり面じゃかご	48. 水抜きパイプ	49. その他	
カルバート				
				
50. ボックス	51. 門形	52. パイプ	53. コルゲートメタル	54. その他
路面排水工				
55. コンクリートL形側溝	57. 石積側溝	59. その他		
56. コンクリートU形側溝	58. ブロック積側溝			
のり面・斜面状態				
植生状況	法面の区分	斜面の区分		
60. 良好な植生ののり面	63. 切土のり面	65. 斜面	(のり面を伴わず)	
61. 不良な植生ののり面	64. 盛土のり面	66. のり肩斜面	(のり肩より斜距離20m以内)	
62. 裸地のり面		67. のり先斜面	(のり先より斜距離20m以内)	
		68. 背後斜面	(のり面より斜距離20m以遠)	

道路施設			
69. 路側, 歩道	72. ガードレール	75. 照明施設	78. トンネル
70. 車 道	73. 街路植栽	76. 道路標識	79. その他
71. 中央分離帯	74. 中央分離帯植栽	77. 橋 梁	

28 程 度

被災の程度（大，中，小）を次を目安として記入する。

表H.5 被災程度の区分

1. 大：取壊し，復旧が必要	2. 中：補修程度で可	3. 小：放置あるいは除去程度で可
----------------	-------------	-------------------

(29 通行規制)

30 被災時通行規制の有無

被災時に通行規制を行っていたかについて 1. 有，2. 無 で記入する。

(31 被災後の通行規制)

32 被災後の通行規制の 1. 有，2. 無 について記入する。

33 内 容

最も厳しいもので次のいずれであるかを記入する。

表H.6 規制内容区分

1. 全 面	2. 片 側	3. 片側車線減少	4. 路側・歩道
5. 重量規制	6. その他		

34 規制期間

被災後の通行規制の開始と全面解除時刻を 年 月 日 時 分で記入する。

(37 被災形態詳細)

22 被災過程において示された各段階（A1～D6）の主なものについて詳細に調査するもので，38，84，97，113，125のうち該当するものに記入する。複数あればそれぞれ記入する。

なお，97 土砂流等とは土砂流，土石流，泥流，洪水流等をさすものとする。また113土砂等堆積とは，土砂，流木，倒木および雪崩による雪等の路面上の堆積をさす。

(38 切土・崩壊，斜面崩壊，地すべり A1，A2，A3)

39 崩壊タイプ

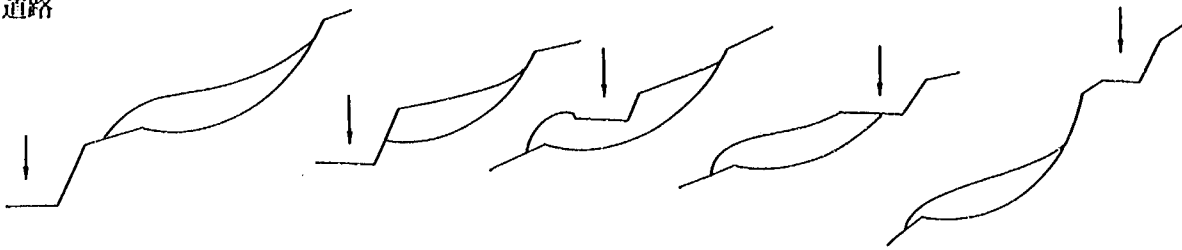
附表Ⅱ.4の参考表で該当するものの記号をいれる。

（記入例） A－①

40 道路との位置関係

斜面崩壊、地すべりについてのみ記入し、次によって記入する。

道路



1. 末端下方 2. 末端 3. 中央 4. 頭部 5. 頭部上方 6. その他

図H.1 崩壊・地すべりと道路との位置関係の区分

41 水平長さ～53 崩壊冠頂部勾配

これらは、次を参考にして記入する。

L：水平長さ（崩壊の平面形が曲がっているときは延長で記入する。 $L=L_1+L_2$ ）

H：高さ

B：最大幅

D：最大深さ

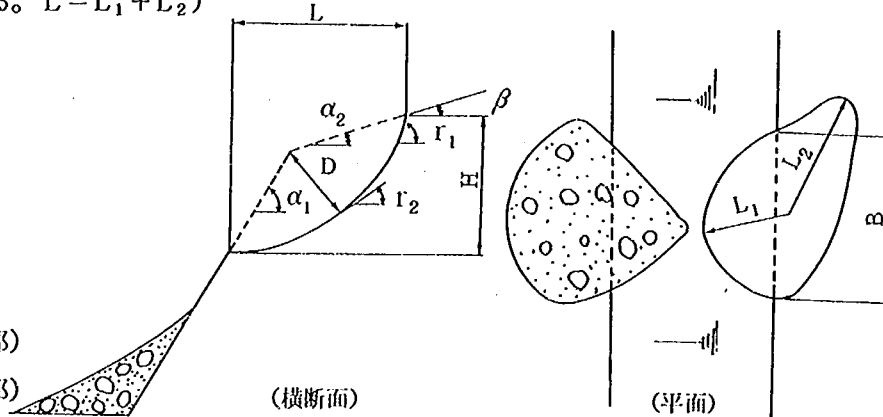
α_1 ：原形勾配（切土部）

α_2 ：原形勾配（斜面部）

β ：崩壊冠頂部勾配

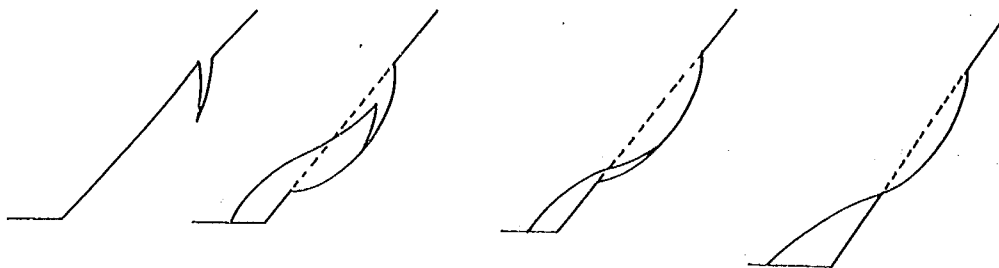
r_1 ：すべり面の勾配（頭部）

r_2 ：すべりの勾配（中央部）



図H.2 崩壊の計測模式図

また、46 土壌残存については崩壊土塊の残存状況について次の図を参考に記入する。



1. キレツ程度 2. ほとんど残る 3. 一部残る 4. 残らず

図H.3 崩壊の土壌残存状況区分

(54 キレツ・段差)

55 有 無

1. 有, 2. 無 について記入し, さらに「有」のものについて以下を記入する。

56 位 置

キレツ・段差の分布位置が次のいずれであるかを記入する。

表H.7 キレツ・段差の分布位置

1. 路 面	2. 切土面	3. 切土のり肩斜面	4. 盛土面	5. 盛土のり先斜面
6. 背後斜面 (のり肩, のり先より斜距離20m以遠)	7. 斜面 (のり面を伴わないとき)			
8. その他				

58 形 状

形状については, 地表に現われた形が次のいずれであるかを記入する。

表H.8 キレツ・段差の形状

1. 直線状	2. 円弧状	3. 雁行状	4. その他
--------	--------	--------	--------

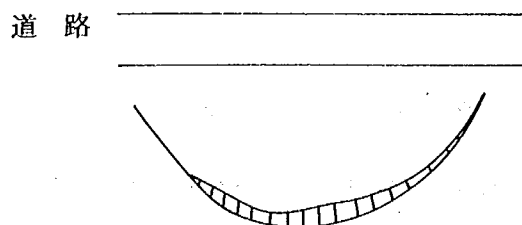
59 方 向

のびの方向がのり面または道路と次のいずれの関係にあるかを記入する。

表H.9 キレツ・段差の方向

1. 平 行	2. 斜 交	3. 直 交
--------	--------	--------

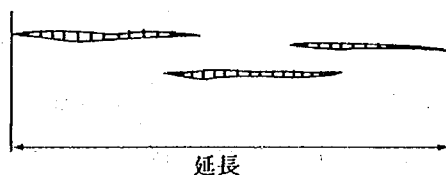
次のような場合は平行とする。



図H.4 キレツ・段差の方向

60 延 長

雁行するものについては次のように測定する。



図H.5 キレツ・段差の延長の測定

61 開口幅, 62 段 差

最大値を記入する。

(63 被覆層)

基盤岩を覆って分布する表土・崩積土（ローム、腐植土、崩積土、崖すい等）、未固結層（火山灰、段丘砂礫等）、風化変質土（基盤岩が著しく風化または変質したもので、土または土に近いもの）等の土質をここでは一括して被覆層とよぶ。

崩壊の滑落崖等での被覆層の土質状況を詳細に観察し、1. 斜面部 2. のり肩部 3. のり面部 に区分して、該当するものの欄に次の項目を記入する。

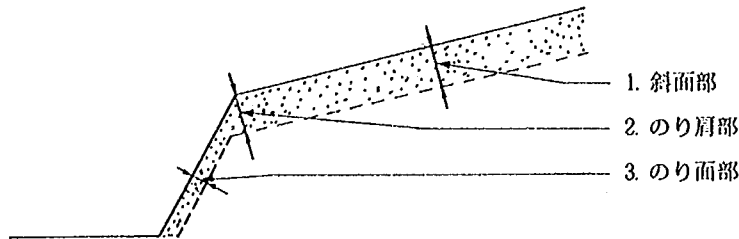


図 H. 6 被覆層の分布位置の区分

64 厚 さ

観察可能な範囲で、代表的部分の被覆層の厚さ（のり面・斜面に対して垂直に測定）を記入する。 m 単位で、可能であれば小数第1位まで記入する。下限が不明のときは、 $\bigcirc\bigcirc m$ 以上と表現する。

65 土質分類

次表によって分類し記入する。

表 H. 10 土質分類

1. 礫	6. 粘性土
2. 礫質土	7. 有機質土
3. 砂	8. 火山灰質粘性土
4. 砂質土	9. 礫混じり砂質土
5. シルト	10. 砂混じり粘性土

66 土質の特徴

土質の成因的な特徴について、次表によって分類し記入する。

表 H. 11 土質の成因的特徴の区分

1. 腐植土	6. 破碎岩起源土	11. 火山礫
2. ローム	7. 火山灰	12. 火山岩塊
3. 風化土	8. シラス	13. 崖すい・崩積土
4. マサ土	9. 軽石	14. 泥流堆積物
5. 変質土	10. スコリア	15. 土石流堆積物

16. 扇状地堆積物	20. 湖沼堆積物	24. その他の沖積層
17. 段丘堆積物	21. 三角州堆積物	25. その他の洪積層
18. 河床堆積物	22. 海浜砂・礫	26. 捨土、ズリ
19. 後背湿地堆積物	23. 干潟堆積物	27. 不 明

(67 基盤岩)

68 地 質

地質は次表によって記入する。

表H.12 地質区分

1. 第四系	2. 新第三系	3. 古第三系	4. 中生界	5. 古生界
--------	---------	---------	--------	--------

2つの時代にまたがって示されるときは、次のように記入する。

(記入例) 新第三系～第四系

69 岩 種

岩種については、次表のような分類で記入する。

表H.13 岩種区分

1. 花崗岩	2. 花崗閃緑岩	3. 閃緑岩	4. はんれい岩
5. 石英斑岩	6. 花崗斑岩	7. ひん岩	8. 粗粒玄武岩
9. 流紋岩	10. 石英安山岩	11. 安山岩	12. 玄武岩
13. 変朽安山岩	14. 輝緑岩	15. 輝緑凝灰岩	16. かんらん岩
17. 蛇紋岩	18. シラス	19. 凝灰岩	20. 凝灰角礫岩
21. 火山礫凝灰岩	22. 火山角礫岩	23. 集塊岩	24. 熔結凝灰岩
25. 礫 岩	26. 砂 岩	27. シルト岩	28. 泥 岩
29. 頁 岩	30. 粘板岩	31. 石灰岩	32. チャート
33. けい岩	34. 黒色片岩	35. 緑色片岩	36. 砂質片岩
37. 片麻岩	38. ホルンフェルス	39. 互 層	

互層のときは「○○岩と△△岩の互層」と記入する。

70 走 向, 71 傾 斜

代表部分の地層の走向, 傾斜を記入する。

72 割れ目の向き

のり面・斜面に対し地層面, 片理面, 節理面等の割れ目の方向が, 次のいずれであるかを記入する。

表H.14 のり面, 斜面に対する割れ目の方向

1. 差し目	2. 流れ目	3. 不 定	4. 割れ目なし
--------	--------	--------	----------

73 岩分類

岩分類は次表により、名称で記入する。

表H.15 岩の分類表（建設省）

名 称	岩 質 の 程 度
1. 硬 岩 II	珪岩，角岩など石英質に富んで岩質が硬いもの。風化していない新鮮な状態のもの。亀裂が少なく良く密着しているもの。
2. 硬 岩 I	花崗岩，結晶岩など全く変化していないもの。亀裂間の間隔は1 m 以内で相当密着しているもの。硬い良好な石材を得り得るようなもの。
3. 中 硬 岩	石灰岩，多孔質安山岩のように特にちみつでないが，相当の硬さを有するもの。風化の程度のあまり進んでいないもの。硬い岩石での間隔が30～50 cm 程度の亀裂を有するもの。
4. 軟 岩 II	凝灰質で硬く固結しているもの。風化は目に沿って相当進んでいるもの。亀裂間の間隔は10～30 cm 程度で軽い打撃により離しうる程度。異種の岩が互層をなしているもので層面を楽に離しうるもの。
5. 軟 岩 I	第四紀の岩石で固結の程度が良好なもの。風化が相当進み，多少変色を伴い，軽い打撃により容易に割り得るもの。離れやすいもの。亀裂間の間隔は5～10 cm 程度のもの。第三紀の岩石で固結の程度が弱いもの。風化がはなはだしく脆いもの。指先で離し得る程度のもの，亀裂間の間隔は5～10 cm くらいのもの。

74 岩石の硬さ

岩石そのものの硬さを次表によって判定し，記号を記入する。

表H.16 岩石の硬さ区分

記 号	硬 さ 区 分
A	極硬，ハンマーで容易に割れない
B	硬，ハンマーで金属音
C	中硬，ハンマーで容易に割れる
D	軟，ハンマーでポロポロに碎ける

75 割れ目間隔

次表によって区分し，記号を記入する。

表H.17 割れ目間隔区分

区 分	間 隔	区 分	間 隔
0	割れ目なし	3	15～5 cm
1	数m～50 cm	4	5 cm 以下
2	50～15 cm		

76 割れ目状態

次表によって区分し，記号を記入する。

表H.18 割れ目状態区分

区 分	割 れ 目 状 態
o	割れ目なし
a	密着し，風化・変質の影響はないか，またはほとんどない。
b	割れ目沿いの風化が認められるが，岩片はほとんど風化・変質していない。
c	割れ目沿いの風化・変質が認められ，かつ，岩片も風化・変質して軟質となっている。

77 風 化

風化の状況を次の3ランクに分けて記入する。

1. 新 鮮 2. 中風化 3. 強風化

78 変 質

変質が認められる場合，次表を参考にし変質を区分し，記号で記入する。

表H.19 変質区分

記 号	変質区分	変 質 状 況
1	非 変 質	肉眼的に変質鉱物の存在が認められないもの。
2	弱 変 質	原岩組織を完全に残し，変質程度（脱色）が低いもの。あるいは非変質の割合が高いもの。（肉眼で50%以上）。
3	中 変 質	肉眼で変質が進んでいると判定できるが，原岩組織を明らかに残し，原岩判定が容易なもの。または非変質部を残すもの及び網状変質部。
4	強 変 質	構成鉱物，岩片等が硬質鉱物で完全置換され，原岩組織を全く～殆ど残さないもの。

79 すべり面

すべり面の主要部分となっているところの地質的な位置について，次表のように区分し番号で記入する。

表H.20 すべり面の位置の地質的区分

1. 被覆層内	2. 被覆層と基盤岩の境界	3. 既存の地すべり面
4. 断層面沿い	5. 地層面沿い	6. 節理沿い
7. 片理沿い	8. 基盤岩内で特定の面（3～7）によらず	9. その他

(80 水の状況)

すべり面付近にみられる水の状況について，次のいずれであるかを記入する。湧水有りの

ときは81～83を記入する。

表H.21 水の状況の区分

1. 乾 燥	2. 湿 潤	3. 湧水有	4. 表流水有
--------	--------	--------	---------

81 湧水量

(記入例) 4ℓ/分程度

82 調査時期

月で記入する。

83 降雨後日数

降雨(総雨量20mm程度以上)後、何日程度の調査であるかを記入する。

(84 落石 A4)

85 落石タイプ

附表Ⅱ.4の参表に示す落石の分類より該当するものの記号を記入する。

(記入例) I-①

86 崩壊・地すべりとの関係

落石の発生と切土崩壊、斜面崩壊、地すべりとの関係の1. 有, 2. 無について記入する。

(87 発生源)

88 水平距離

落石の発生源より道路までの水平距離を記入する。

89 落下高さ

落石発生源と道路の標高差とする。

90 落下斜面勾配

発生源から道路までの平均斜面勾配とする。

92 おおよその体積

落石の総体積とする。

95 最大岩塊形状

形状がおおよそ次のいずれであるかを記入する。

表H.22 落石の形状

1. 角状(不定形)	2. 球 状	3. 板 状	4. 柱 状
------------	--------	--------	--------

96 最大岩塊岩種

表H.13によって記入する。

(97 土砂流等 B1, B2, B3, B4)

98 土砂流等のタイプ

次のうち、該当するものを記入する。

表H.23 土砂流等のタイプ

B1 土砂流	B2 土石流	B3 泥 流	B4 洪水流
--------	--------	--------	--------

99 崩壊・地すべりとの関係

土砂流等の発生と切土・斜面崩壊、地すべりとの関係の 1. 有, 2. 無 について記入する。

100 推定最大土砂流量

データがあるもの、あるいは算出可能な場合記入する。

101 集水面積

崩壊あるいは地すべり全体に係る集水面積とする。

(102 発生源の状況)

103 崩壊個数～105 崩壊総土量

地すべりも含め、集水部の調査資料があれば記入する。特定の斜面崩壊が道路被災に結び
ついている場合は、38にも記入するものとする。

106 溪床浸食幅

土砂流等の発生・流下域における溪床部等の最大浸食幅について記入する。

107 溪床浸食延長

土砂流等の発生・流下域における溪床部等の浸食水平延長について記入する。

108 主な地質～110 主な植生

土砂流発生域周辺について記入するもので表H.12, 表H.13および次表によって記入する。

表H.24 植生の種類

1. スギ	2. ヒノキ	3. マツ	4. その他の針葉樹
5. 広葉樹	6. 灌木	7. 竹林	8. ススキ, イバラ等の雑草
9. 果樹園, 茶園	10. 畑地作物	11. 水田作物	12. 植生なし

111 道路附近の溪床勾配

道路より50m上流附近までの平均的な溪床勾配について記入する。

112 対策施設

砂防, 地山施設および道路の土砂流等に対する対策工があれば工種名を表H.4によって記
入する。

(113 土砂等堆積 D4)

114 崩壊, 地すべり, 土砂流等の関係

路面における土砂等の堆積が表H.3のA1～B4のどれに関連しているかについて記入す
る。

(記入例) 1. 斜面崩壊及び土石流 → A2, B2

“ 2. 泥 流 → B3

115 横断長～120 最大粒径

路面上に堆積している部分について記入するものである。115 横断長, 116 縦断長における横断, 縦断は道路を基準にする。117 厚さは最大厚さとする。

119 土質は次のうち該当するものを記入する。雪も含める。樹木については121による。

表H.25 堆積土砂の分類

1. 岩 塊	2. 砂 礫	3. 泥	4. 雪	5. その他(具体的に記入)
--------	--------	------	------	----------------

120 大粒径は岩塊, 砂礫が堆積しているときおおよその値をcm単位で記入する。

(121 倒木・流木等)

路面をふさぐような倒木や流木等の122 本数, 123 長さ, 124 樹幹径を記入する。

土砂等に附属的に伴うものは記入を要しない。

(125 盛土崩壊 D5)

126 崩壊タイプ

附表Ⅱ.4の参考表で該当するものの記号を記入する。

(記入例) D-①

127 崩壊, 地すべり, 土砂流等との関係

盛土崩壊が表H.3のA1～C5のいずれに関連しているかについて次のように記入する。

(記入例) 1. 土石流, 路面越流 → B2, C5

“ 2. 泥流, 排水工閉塞 → B2, C4

128 高さ～132 深さ

次の図のように測定する。

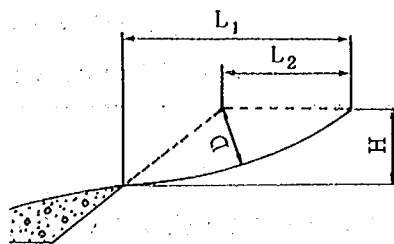
H: 高 さ

L_1 : 横断長

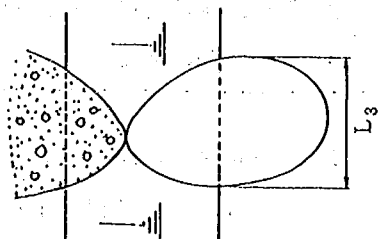
L_2 : 天端横断長

L_3 : 縦断長

D: 深さ(最大深)



(横断面)

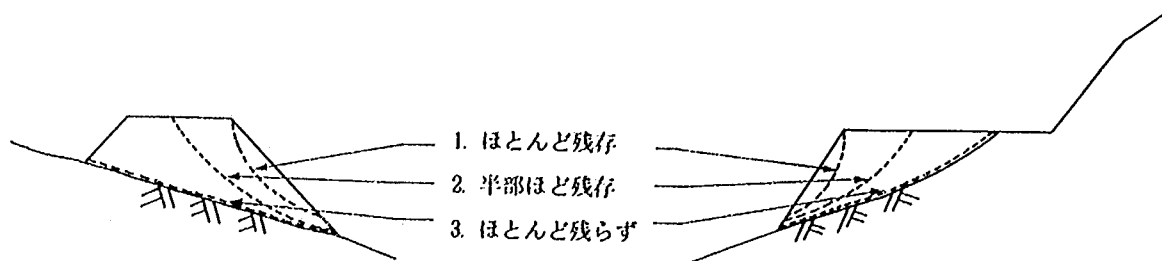


(平面)

図H.7 盛土崩壊の計測

136 盛土残存状況

次の図を参考に記入する。



図H.8 盛土残存の区分（横断面）

137 盛土材料

観察に基づき表H.10により該当する土質を記入する。

138 盛土補強土工法

観察に基づき次の表により該当するものを記入する。

表H.26 盛土補強工法の種類

4. ジオテキスタイル工法	7. ルートパイル工法	10. その他の工法
5. ジオグリッド工法	8. 鉄筋挿入工法	
6. テールアルメ工法	9. 軽量盛土工法	

139 盛土原形勾配

のり面の平均勾配を記入する。

140 盛土地盤勾配

崩壊面等で実測できるときのみ記入する。

141 盛土状況

次の表により区分し記号で記入する。

表H.27 盛土状況の区分

1. 平坦地、埋立地等の両盛区間の盛土	4. 切盛区間の盛土	7. その他
2. 河川、溪流部の両盛区間の盛土	5. 橋台の裏込め的な盛土	
3. 片盛区間の盛土	6. 擁壁等の裏込め的な盛土	

(142 キレツ・段差)

54によって記入する。なおキレツ・段差の位置は次を参考に記号で記入する。

(記入例) 3 - b

表H.28 盛土におけるキレツ・段差の位置

1. のり先付近	a. 盛土内
2. のり面	b. 盛土と地盤の境界付近
3. 路 肩	c. 地盤内
4. 崩壊側車線内	d. 盛土、地盤との関係不明
5. 崩壊対向側車線内	

(149 地盤状況)

観察される場合記入するものとする。

(150 被覆層)

地盤状況について、浅いほうから可能な範囲で区分し、64～66によって記入するものである。被覆層には、平坦地の土質地盤も含める。

(154 基盤岩)

68～71によって記入するものである。

159 施設等の状況

災害に対応した施設等があればその 160 種類（表H.4による）、161 外力および 162 状況を記入する。

161 外力については、表H.3のA1～B4、C5、D4、D5のうち、施設に直接影響を及ぼしたと思われるものの記号を記入する。

162 状況については、施設等の対応状況の判定は難しいところであるが次表によって推定し記号で記入する。

表H.29 災害時における施設等の状況

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 十分に機能を発揮した。2. 容量をオーバーしたが構造物は損壊せず。3. 土砂、流木等により閉塞し溢水あるいは、土砂流等の越流があったが構造物は損壊せず。4. 容量オーバー、閉塞等により損壊。5. 切土、斜面、地すべり、盛土崩壊等による基礎の崩壊のため受動的に損壊。6. 位置的理由により十分に対応ができず。7. 変状、老朽等により効果を発揮せず損壊。8. その他 |
|---|

163 被災原因・発生形態等についての所感

全体的な被災の原因、発生形態あるいは経過、地形、地質、工種等との関係について特に記録することがあれば記入する。

164 応急対策、165 復旧対策

工種、工法、数量等の概要を表H.4を参考に記入する。

〔様式I-1〕 被災台帳 平面図

個々ののり面・斜面の被災調査結果を平面図にまとめ、被災位置、被災部の地形的な特徴、被災の全容を示すものである。

9 整理番号(1)

被災調査の通し番号として利用する。

10 整理番号(2)

データベース整備作業等における整理番号として利用する。

14 小縮尺平面図

縮尺は1/2,500を標準とするが、図面の大きさによって複写機を用いて1/1,000, 1/5,000等切りの良い数字の縮尺に調整する。この図によって、対象被災箇所とその周辺の地形、道路、全体的な土地利用状況等がわかる範囲を示す。範囲内に他の被災箇所があればその形と番号を示しておく。距離標、方位および区間の始点または終点名を添え方向を示す。

15 拡大平面図

縮尺は1/500を標準とするが、図面の大きさによって複写機を用いて1/250, 1/1,000, 1/2,500等切りの良い数字の縮尺に調整する。切土形状、盛土形状、のり面保護工、落石対策工、地すべり対策工等および浮石、転石、クラック、段差、崩壊、地すべり、浸食、堆積等の被災状況の全容について記入する。距離標、区間の始点または終点名を添え方向を示す。また様式I-2の断面線の位置を記入する。

〔様式I-2〕 被災台帳 正面図および断面図

個々ののり面・斜面の被災調査結果を正面図および断面図にまとめ、被災部の地形的な特徴、被災位置、被災状況を示すものである。

図面の縮尺は、被災状況によって1/100, 1/200, 1/250, 1/500等切りの良い数字とする。

- ① 道路面、切土・盛土形状、のり面保護工、落石対策工、地すべり対策工、排水工等
- ② 表土、風化土、未固結層等の被覆層、基盤岩線、地層、岩種境界線、岩分類境界線、割れ目、断層
- ③ のり肩・のり先付近および背後の斜面
- ④ 湧水、植生
- ⑤ 浮石、転石、クラック、段差、崩壊、地すべり、浸食、堆積
- ⑥ 隣接構造物

等の変状、被災状況、特徴について詳細に記入するものである。

正面図には、断面図の断面線の位置も示しておく。

断面図は、被災の代表的な部分について作成する。断面図には、点線で被災部分の被災前の状況を示し、未変状部および被災形状を細実線で表わす。復旧形状も示すときは、太実線で表現し未変状部および被災形状との区別を明瞭にしておく。のり面・斜面の勾配は、崩壊・変状等と密接な関係があり、重要な情報であるので鉛直／水平縮尺は同一とする。また、対向車線側ののり面・斜面もその概況を記入するものとする。

〔様式J〕 被災台帳 現地写真

個々の被災部の全容と細部について、地形的な特徴、被災位置、被災状況、変状等を示すものである。
応急対策状況についても示すとよい。

現地写真には、次のような写真を貼る。

① 遠 景

様式I-1の小縮尺平面図に当たるもので、周囲の状況も含めて示す。対岸写真や斜め写真を用いるとよい。

② 近 景

③ 正 面

様式I-2の正面図に当たるものである。

④ 道路縦断方向

様式I-2の断面図に当たるものである。

⑤ 構造物の被災、変状

⑥ 崩壊、地すべり、落石、土砂流等の状況

⑦ すべり面、浮き石、転石、地割れ、段差の状況

⑧ 被覆層、基盤岩の状況

⑨ 浸食、堆積状況

⑩ 復旧状況

写真にはできるだけ標尺を入れ説明を付ける。様式の枚数は必要なだけ用いる。

〔様式K〕 被災台帳 気象データ

被災したのり面・斜面の直近か、または谷筋等が同じで降雨パターンが類似するとみられる観測点の気象データについて、被災前30日、当日、被災後10日の記録を、被災箇所ごとに整理するものである。
地震による被災など、降雨に直接関係ないと思われる場合も整理するものとする。

該当する雨量観測点に雨量データ以外の、例えば積雪量、気温、天候等の観測がないときは、最寄りの他の気象観測点のデータを記入するものとする。

なお、気象データについてはあらかじめ観測点毎に整理を行っておくとよい。

9 整理番号(1)

被災調査の通し番号として利用する。

10 整理番号(2)

データベース整備作業等における整理番号として利用する。

14 雨量観測点

時間雨量データの雨量観測点名を記入する。

16 気象観測点

該当する雨量観測点以外の気象データを用いるときの気象観測点名を記入する。

19 中間時刻

発生日時を 18 推定時刻で示したときの推定時間内の中心の時刻とする。

20 区 分

発生日時を 18 推定時刻で示したものについては、当日は、25 中間時刻が含まれる日とする。

24 観測日界時刻

雨量観測の日界時刻とする。

(天 候)

午前10時頃の天候とし、次の記号を記入する。

F. 晴, C. 曇, R. 雨, S. 雪

附表Ⅱ.1 道路のり面・斜面被災台帳記入様式

様式 F	被災台帳	区間総括表	89
様式 G	被災台帳	被災位置路線図	90
様式 H	被災台帳	調査表	91
様式 I - 1	被災台帳	平面図	92
様式 I - 2	被災台帳	正面図及び断面図	93
様式 J	被災台帳	現地写真	94
様式 K	被災台帳	気象データ	95

のり面台帳										
1 名称	様式G 被災台帳 被災位置路線図 その()				2 路線名		9	10 地方建設局	13 整理番号(1)()	
3 区間名	4 自				6 距離標	7 自	- km	管 轄	11 工事事務所	14 整理番号(2)()
	5 至					8 至	- km		12 出張所	15 作成年月日
16 被災原因					17 気象状況					
18 ☒ 間路線図 縮尺(1:) A: 切土のり面 ×: 被災箇所 B: 盛土のり面 ---- : 被災後通行規制区間 C: 斜面 ----- : 通行規制区間 ◎: 雨量観測点等 (方位)										

のり面台帳		1 名称		様式H 被災台帳 調査表		4 路線名		8		9 地方建設局		12 整理番号(1) ()	
2 のり面・斜面番号		5 距離標		6 自		7 至		管 轄		10 工事事務所		13 整理番号(2) ()	
3 のり面・斜面分類		15 位置		16 上下線別		17 総幅員		18 通行規制区間		19 被災原因		20 気象状況	
21 被災形態大区分		22 被災過程		23 被災発生日時		24 確定時刻		25 推定時刻		26 道路施設		27 施設の種類の程度	
28 被災概要		29 通行規制		30 被災時通行規制の有無		31 被災後の通行規制の有無		32 内容		33 規制期間		34 自	
35 有無		36 位置		37 数		38 形状		39 方向		40 延長		41 開口幅	
42 段差		43 有無		44 位置		45 数		46 形状		47 方向		48 延長	
49 開口幅		50 段差		51 有無		52 位置		53 数		54 形状		55 方向	
56 延長		57 開口幅		58 段差		59 有無		60 位置		61 数		62 形状	
63 方向		64 延長		65 開口幅		66 段差		67 有無		68 位置		69 数	
70 形状		71 方向		72 延長		73 開口幅		74 段差		75 有無		76 位置	
77 数		78 形状		79 方向		80 延長		81 開口幅		82 段差		83 有無	
84 位置		85 数		86 形状		87 方向		88 延長		89 開口幅		90 段差	
91 有無		92 位置		93 数		94 形状		95 方向		96 延長		97 開口幅	
98 段差		99 有無		100 位置		101 数		102 形状		103 方向		104 延長	
105 開口幅		106 段差		107 有無		108 位置		109 数		110 形状		111 方向	
112 延長		113 開口幅		114 段差		115 有無		116 位置		117 数		118 形状	
119 方向		120 延長		121 開口幅		122 段差		123 有無		124 位置		125 数	
126 形状		127 方向		128 延長		129 開口幅		130 段差		131 有無		132 位置	
133 数		134 形状		135 方向		136 延長		137 開口幅		138 段差		139 有無	
140 位置		141 数		142 形状		143 方向		144 延長		145 開口幅		146 段差	
147 有無		148 位置		149 数		150 形状		151 方向		152 延長		153 開口幅	
154 段差		155 有無		156 位置		157 数		158 形状		159 方向		160 延長	
161 開口幅		162 段差		163 有無		164 位置		165 数		166 形状		167 方向	
168 延長		169 開口幅		170 段差		171 有無		172 位置		173 数		174 形状	
175 方向		176 延長		177 開口幅		178 段差		179 有無		180 位置		181 数	
182 形状		183 方向		184 延長		185 開口幅		186 段差		187 有無		188 位置	
189 数		190 形状		191 方向		192 延長		193 開口幅		194 段差		195 有無	
196 位置		197 数		198 形状		199 方向		200 延長		201 開口幅		202 段差	
203 有無		204 位置		205 数		206 形状		207 方向		208 延長		209 開口幅	
210 段差		211 有無		212 位置		213 数		214 形状		215 方向		216 延長	
217 開口幅		218 段差		219 有無		220 位置		221 数		222 形状		223 方向	
224 延長		225 開口幅		226 段差		227 有無		228 位置		229 数		230 形状	
231 方向		232 延長		233 開口幅		234 段差		235 有無		236 位置		237 数	
238 形状		239 方向		240 延長		241 開口幅		242 段差		243 有無		244 位置	
245 数		246 形状		247 方向		248 延長		249 開口幅		250 段差		251 有無	
252 位置		253 数		254 形状		255 方向		256 延長		257 開口幅		258 段差	
259 有無		260 位置		261 数		262 形状		263 方向		264 延長		265 開口幅	
266 段差		267 有無		268 位置									

のり面台帳												
1 名称		様式 I-1 被災台帳 平面図			3 路線名		7 管 轄		工事事務所		9 整理番号(1)()	
2 のり面・斜面番号					4 距離標		5 自		km		6 至	
11 被災原因					12 気象状況				8 作成年月日		年 月 日	
									10 整理番号(2)()			
14 小縮尺平面図 縮尺(1:) (方位)					15 拡大平面図 縮尺(1:) (方位)							

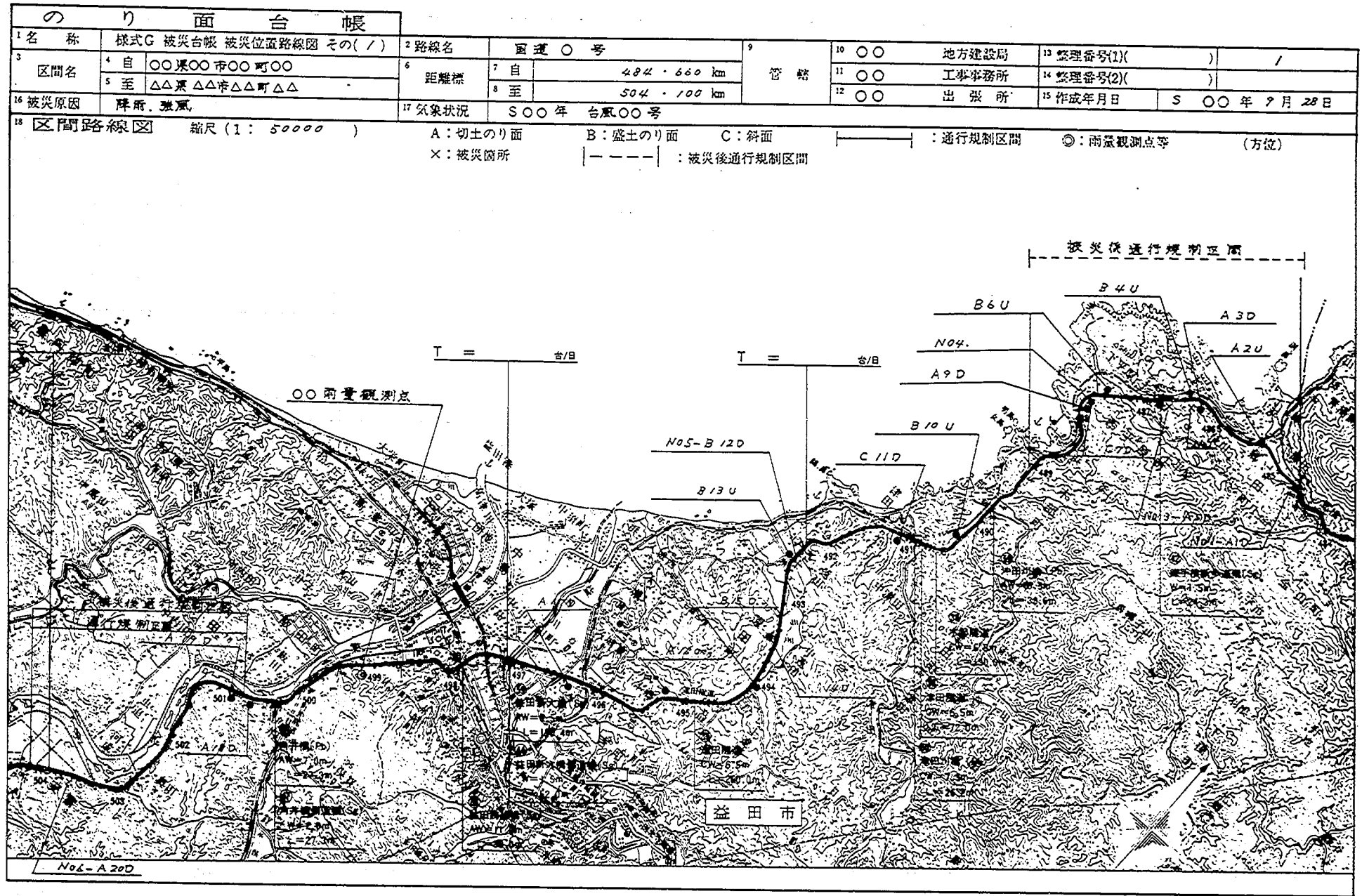
のり面台帳																							
1 名称		様式 I-2 被災台帳 正面及び断面図			3 路線名		7 管 轄		工事事務所		9 整理番号(1)()												
2 のり面・斜面番号					4 距離標		5 自		km		6 至												
11 被災原因					12 気象状況				8 作成年月日		年 月 日												
									10 整理番号(2)()														
13 被災形態大区分																							
14 被災正面図 縮尺(1:)										15 被災断面図 縮尺(1:)													

のり面台帳											
1 名称 様式J 被災台帳 現地写真 その()			3 路線名			7 管 轄		工事事務所		9 整理番号(1)()	
2 のり面・斜面番号			4 距離標		5 自	km	6 至	km	8 作成年月日	年 月 日	10 整理番号(2)()
11 被災原因			12 気象状況			13 被災形態大区分					
14 現地写真											

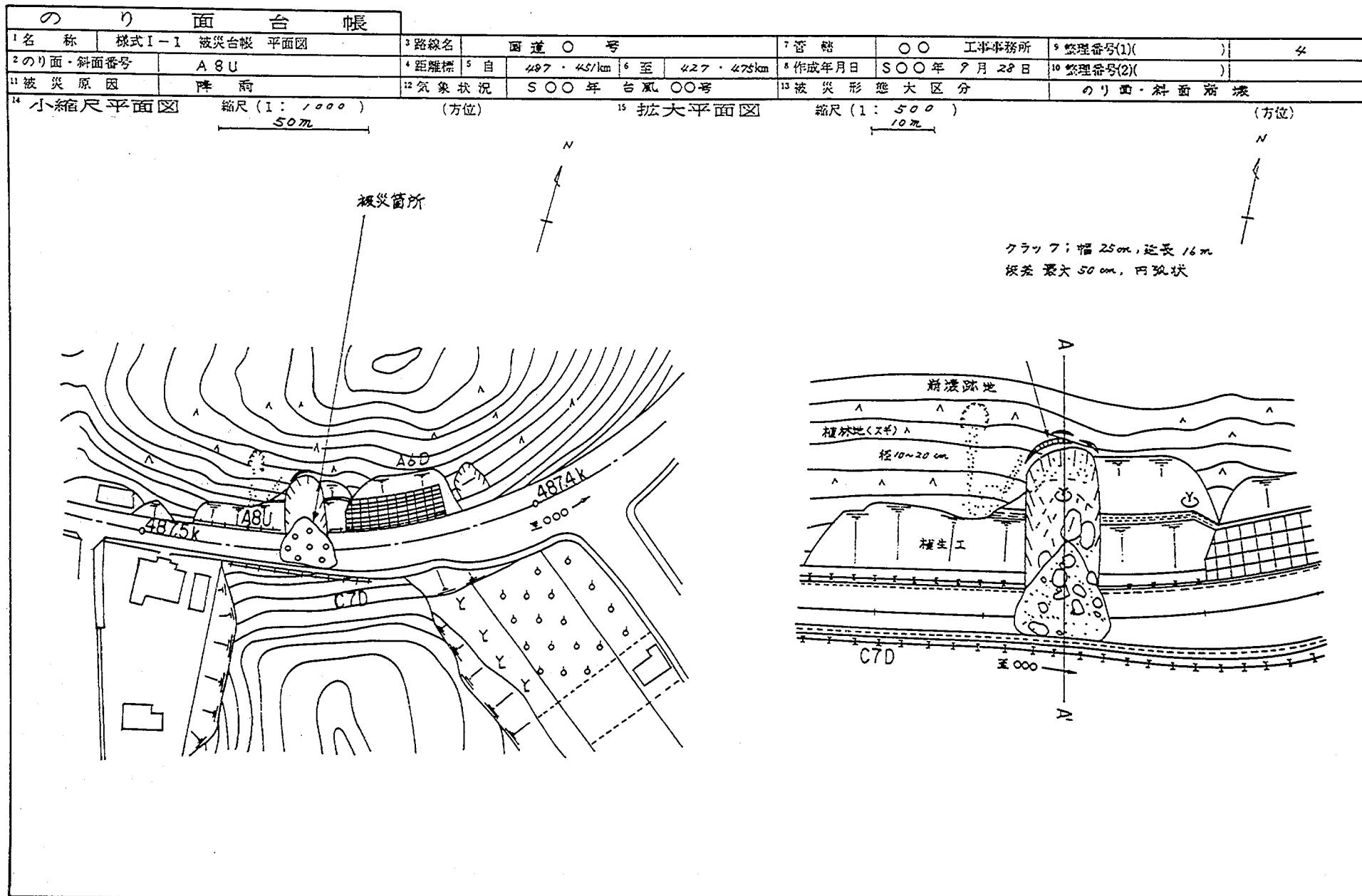
のり面台帳																																															
1 名称		様式K 被災台帳 気象データ										3 路線名				7 管 轄				工事事務所				9 整理番号(1)()																							
2 のり面・斜面番号												4 距離標				5 自 km				6 至 km				8 作成年月日				年 月 日				10 整理番号(2)()															
11 被災原因		12 気象状況										13 被災形態大区分				14 雨量観測点				15 気象観測点																											
16 発生日時		17 確定時刻		年		月		日		時		分		18 推定時刻		年		月		日		時		分		19 中間時刻		年		月		日		時		分											
20 区分		21 日数		22 日付		23 時 間		雨 量		mm		(24 観測日界時刻：午前 時、午後 時)																日降雪量		日降水量		積雪深		日最高		日最低		天候									
				月 日		0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23																										mm		cm		気温℃		気温℃									
被災前		30																																													
		29																																													
		28																																													
		27																																													
		26																																													
		25																																													
		24																																													
		23																																													
		22																																													
		21																																													
		20																																													
		19																																													
		18																																													
		17																																													
		16																																													
		15																																													
		14																																													
		13																																													
		12																																													
		11																																													
10																																															
9																																															
8																																															
7																																															
6																																															
5																																															
4																																															
3																																															
2																																															
1																																															
当日		0																																													
被災後		1																																													
		2																																													
		3																																													
		4																																													
		5																																													
		6																																													
		7																																													
		8																																													
		9																																													
		10																																													
備考		×：欠測 空欄：無降雨 天候：観測時刻午前10時頃 F：晴、 C：曇、 R：雨、 S：雪																																													

附表Ⅱ.2 道路のり面・斜面被災台帳記入様式記入例

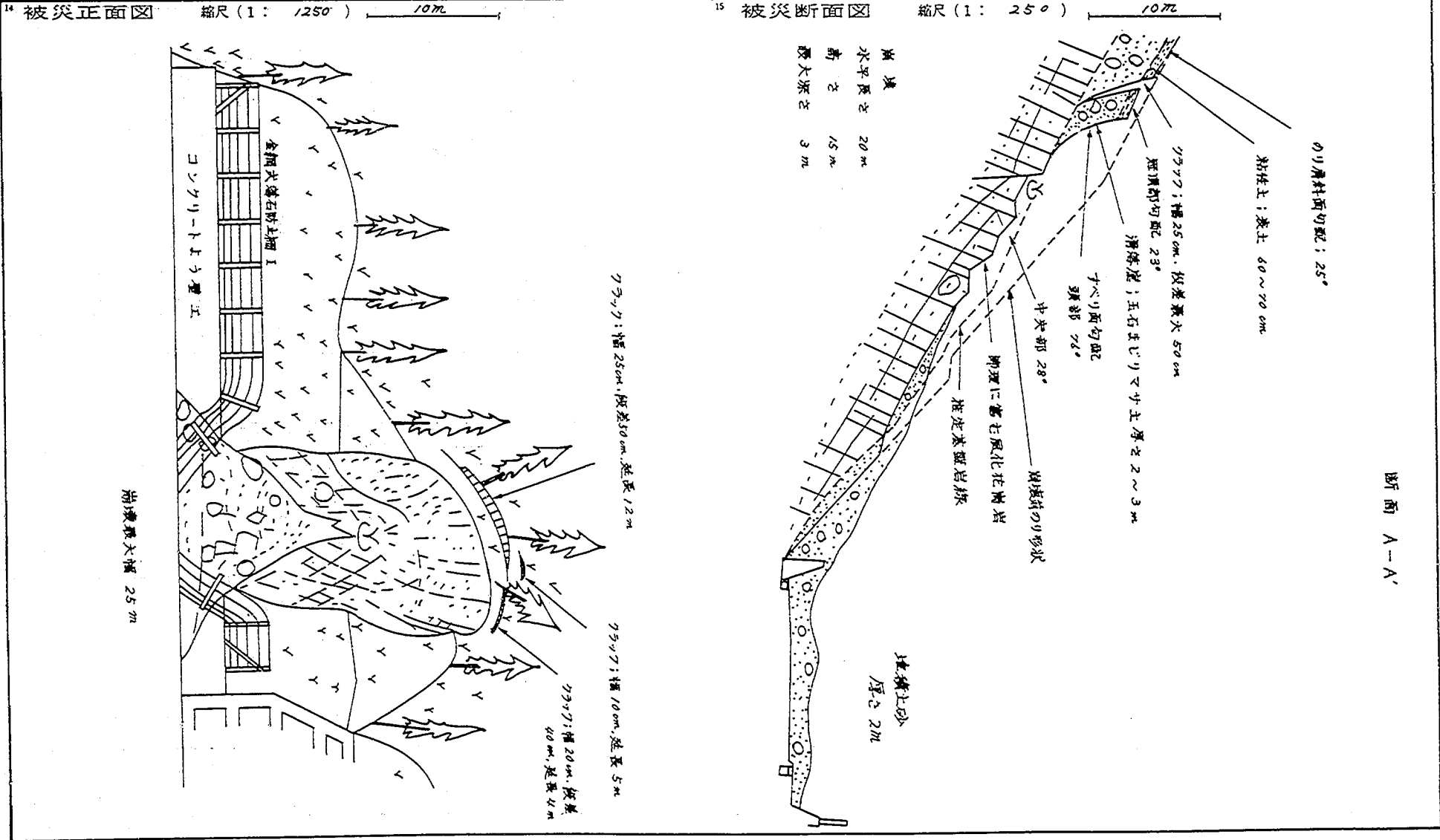
様式F	被災台帳	区間総括表	99
様式G	被災台帳	被災位置路線図	100
様式H	被災台帳	調査表	101
様式I-1	被災台帳	平面図	102
様式I-2	被災台帳	正面図及び断面図	103
様式J	被災台帳	現地写真	104
様式K	被災台帳	気象データ	105



のり面台帳											
1 名称	様式H 被災台帳 調査表			4 路線名	国道○号		5 管轄	9 ○○ 地方建設局	12 整理番号(1) ()	※	
2 のり面・斜面番号	A8U			5 距離標	6 自	487・451 km	10 ○○ 工事事務所	13 整理番号(2) ()			
3 のり面・斜面分類	切土のり面			7 至	487・475 km		11 ○○ 出張所	14 作成年月日	S○○年 9月 28日		
15 位置	○○県○○市○○町○○			16 上下級別	上	17 総幅員	11 m	18 通行規制区間	外	19 被災原因	降雨
21 被災形態大区分	切土・斜面崩壊			22 被災過程	A1 → D2 → D4		23 被災発生日時	24 確定時刻	年月日時分	25 推定時刻	S○○年9月25日2時～S○○年9月25日6時頃
26 道路施設	27 施設の種類			良好な舗装のり面、小坂排水工、車道							
28 被災概要	29 程度			大							
30 通行規制	31 被災時の通行規制の有無			無							
32 被災後の通行規制の有無	有			内容 全面							
33 規制期間	34 自			S○○年9月25日6時							
35 至	36 至			S○○年9月26日14時							
37 被災形態	38 前壊タイプ			A-⑤							
39 道路との関係	40 水平長さ			20 m							
41 高さ	42 最大幅			2.5 m							
43 最大深さ	44 崩壊土量			500 m³							
45 土塊残存状況	46 土質分類			粘性土							
47 土質の特徴	48 地質			花崗岩							
49 岩種	50 走向			N25°E							
51 傾斜	52 傾斜			N60°							
53 厚さ	54 土質分類			粘性土							
55 土質の特徴	56 地質			花崗岩							
57 岩種	58 走向			N25°E							
59 傾斜	60 傾斜			N60°							
61 厚さ	62 土質分類			粘性土							
63 土質の特徴	64 地質			花崗岩							
65 岩種	66 走向			N25°E							
67 傾斜	68 傾斜			N60°							
69 厚さ	70 土質分類			粘性土							
71 土質の特徴	72 地質			花崗岩							
73 岩種	74 走向			N25°E							
75 傾斜	76 傾斜			N60°							
77 厚さ	78 土質分類			粘性土							
79 土質の特徴	80 地質			花崗岩							
81 岩種	82 走向			N25°E							
83 傾斜	84 傾斜			N60°							
85 厚さ	86 土質分類			粘性土							
87 土質の特徴	88 地質			花崗岩							
89 岩種	90 走向			N25°E							
91 傾斜	92 傾斜			N60°							
93 厚さ	94 土質分類			粘性土							
95 土質の特徴	96 地質			花崗岩							
97 岩種	98 走向			N25°E							
99 傾斜	100 傾斜			N60°							
101 厚さ	102 土質分類			粘性土							
103 土質の特徴	104 地質			花崗岩							
105 岩種	106 走向			N25°E							
107 傾斜	108 傾斜			N60°							
109 厚さ	110 土質分類			粘性土							
111 土質の特徴	112 地質			花崗岩							
113 岩種	114 走向			N25°E							
115 傾斜	116 傾斜			N60°							
117 厚さ	118 土質分類			粘性土							
119 土質の特徴	120 地質			花崗岩							
121 岩種	122 走向			N25°E							
123 傾斜	124 傾斜			N60°							
125 厚さ	126 土質分類			粘性土							
127 土質の特徴	128 地質			花崗岩							
129 岩種	130 走向			N25°E							
131 傾斜	132 傾斜			N60°							
133 厚さ	134 土質分類			粘性土							
135 土質の特徴	136 地質			花崗岩							
137 岩種	138 走向			N25°E							
139 傾斜	140 傾斜			N60°							
141 厚さ	142 土質分類			粘性土							
143 土質の特徴	144 地質			花崗岩							
145 岩種	146 走向			N25°E							
147 傾斜	148 傾斜			N60°							
149 厚さ	150 土質分類			粘性土							
151 土質の特徴	152 地質			花崗岩							
153 岩種	154 走向			N25°E							
155 傾斜	156 傾斜			N60°							
157 厚さ	158 土質分類			粘性土							
159 土質の特徴	160 地質			花崗岩							
161 岩種	162 走向			N25°E							
163 傾斜	164 傾斜			N60°							
165 厚さ	166 土質分類			粘性土							
167 土質の特徴	168 地質			花崗岩							
169 岩種	170 走向			N25°E							
171 傾斜	172 傾斜			N60°							
173 厚さ	174 土質分類			粘性土							
175 土質の特徴	176 地質			花崗岩							
177 岩種	178 走向			N25°E							
179 傾斜	180 傾斜			N60°							
181 厚さ	182 土質分類			粘性土							
183 土質の特徴	184 地質			花崗岩							
185 岩種	186 走向			N25°E							
187 傾斜	188 傾斜			N60°							
189 厚さ	190 土質分類			粘性土							
191 土質の特徴	192 地質			花崗岩							
193 岩種	194 走向			N25°E							
195 傾斜	196 傾斜			N60°							
197 厚さ	198 土質分類			粘性土							
199 土質の特徴	200 地質			花崗岩							
201 岩種	202 走向			N25°E							
203 傾斜	204 傾斜			N60°							
205 厚さ	206 土質分類			粘性土							
207 土質の特徴	208 地質			花崗岩							
209 岩種	210 走向			N25°E							
211 傾斜	212 傾斜			N60°							
213 厚さ	214 土質分類			粘性土							
215 土質の特徴	216 地質			花崗岩							
217 岩種	218 走向			N25°E							
219 傾斜	220 傾斜			N60°							
221 厚さ	222 土質分類			粘性土							
223 土質の特徴	224 地質			花崗岩							
225 岩種	226 走向			N25°E							
227 傾斜	228 傾斜			N60°							
229 厚さ	230 土質分類			粘性土							
231 土質の特徴	232 地質			花崗岩							
233 岩種	234 走向			N25°E							
235 傾斜	236 傾斜			N60°							
237 厚さ	238 土質分類			粘性土							
239 土質の特徴	240 地質			花崗岩							
241 岩種	242 走向			N25°E							
243 傾斜	244 傾斜			N60°							
245 厚さ	246 土質分類			粘性土							
247 土質の特徴	248 地質			花崗岩							
249 岩種	250 走向			N25°E							
251 傾斜	252 傾斜			N60°							
253 厚さ	254 土質分類			粘性土							
255 土質の特徴	256 地質			花崗岩							
257 岩種	258 走向			N25°E							
259 傾斜	260 傾斜			N60°							
261 厚さ	262 土質分類			粘性土							
263 土質の特徴	264 地質			花崗岩							
265 岩種	266 走向			N25°E							
267 傾斜	268 傾斜			N60°							
269 厚さ	270 土質分類			粘性土							
271 土質の特徴	272 地質			花崗岩							
273 岩種	274 走向			N25°E							
275 傾斜	276 傾斜			N60°							
277 厚さ	278 土質分類			粘性土							
279 土質の特徴	280 地質			花崗岩							
281 岩種	282 走向			N25°E							
283 傾斜	284 傾斜			N60°							
285 厚さ	286 土質分類			粘性土							
287 土質の特徴	288 地質			花崗岩							
289 岩種	290 走向			N25°E							
291 傾斜	292 傾斜			N60°							
293 厚さ	294 土質分類			粘性土							
295 土質の特徴	296 地質			花崗岩							
297 岩種	298 走向			N25°E							
299 傾斜	300 傾斜			N60°							
301 厚さ	302 土質分類			粘性土							
303 土質の特徴	304 地質			花崗岩							
305 岩種	306 走向			N25°E							
307 傾斜	308 傾斜			N60°							
309 厚さ	310 土質分類			粘性土							
311 土質の特徴	312 地質			花崗岩							
313 岩種	314 走向			N25°E							
315 傾斜	316 傾斜			N60°							
317 厚さ	318 土質分類			粘性土							
319 土質の特徴	320 地質			花崗岩							
321 岩種	322 走向			N25°E							
323 傾斜	324 傾斜			N60°							
325 厚さ	326 土質分類			粘性土							
327 土質の特徴	328 地質			花崗岩							
329 岩種	330 走向			N25°E							
331 傾斜	332 傾斜			N60°							
333 厚さ	334 土質分類			粘性土							
335 土質の特徴	336 地質			花崗岩							
337 岩種	338 走向			N25°E							
339 傾斜	340 傾斜			N60°							
341 厚さ	342 土質分類			粘性土							
343 土質の特徴	344 地質			花崗岩							
345 岩種	346 走向			N25°E							
347 傾斜	348 傾斜			N60°							
349 厚さ	350 土質分類			粘性土							
351 土質の特徴	352 地質			花崗岩							
353 岩種	354 走向			N25°E							
355 傾斜	356 傾斜			N60°							
357 厚さ	358 土質分類			粘性土							
359 土質の特徴	360 地質			花崗岩							
361 岩種	362 走向			N25°E							
363 傾斜	364 傾斜			N60°							
365 厚さ	366 土質分類			粘性土							
367 土質の特徴	368 地質			花崗岩							
369 岩種	370 走向			N25°E							
371 傾斜	372 傾斜			N60°							
373 厚さ	374 土質分類			粘性土							
375 土質の特徴	376 地質			花崗岩							
377 岩種	378 走向			N25°E							
379 傾斜	380 傾斜			N60°							
381 厚さ	382 土質分類			粘性土							
383 土質の特徴	384 地質			花崗岩							
385 岩種	386 走向			N25°E							
387 傾斜	388 傾斜			N60°							
389 厚さ	390 土質分類			粘性土							
391 土質の特徴	392 地質			花崗岩							
393 岩種	394 走向			N25°E							
395 傾斜	396 傾斜			N60°							
397 厚さ	398 土質分類			粘性土							
399 土質の特徴	400 地質			花崗岩							
401 岩種	402 走向			N25°E							
403 傾斜	404 傾斜			N60°							
405 厚さ	406 土質分類			粘性土							
407 土質の特徴	408 地質			花崗岩							
409 岩種	410 走向			N25°E							
411 傾斜	412 傾斜			N60°							
413 厚さ	414 土質分類			粘性土							
415 土質の特徴	416 地質			花崗岩							
417 岩種	418 走向			N25°E							
419 傾斜	420 傾斜			N60°							
421 厚さ	422 土質分類			粘性土							
423 土質の特徴	424 地質			花崗岩							
425 岩種	426 走向			N25°E							
427 傾斜	428 傾斜			N60°							
429 厚さ	430 土質分類			粘性土							
431 土質の特徴	432 地質			花崗岩							
433 岩種	434 走向			N25°E							
435 傾斜	436 傾斜			N60°							
437 厚さ	438 土質分類			粘性土							
439 土質の特徴	440 地質			花崗岩							
441 岩種	442 走向			N25°E							
443 傾斜	444 傾斜			N60°							
445 厚さ	446 土質分類			粘性土							
447 土質の特徴	448 地質			花崗岩							
449 岩種	450 走向			N25°E							
451 傾斜	452 傾斜			N60°							
453 厚さ	454 土質分類			粘性土							
455 土質の特徴	456 地質			花崗岩							
457 岩種	458 走向			N25°E							
459 傾斜	460 傾斜			N60°							
461 厚さ	462 土質分類			粘性土							
463 土質の特徴	464 地質			花崗岩							
465 岩種	466 走向			N25°E							
467 傾斜	468 傾斜			N60°							
469 厚さ	470 土質分類			粘性土							
471 土質の特徴	472 地質			花崗岩							
473 岩種	474 走向			N25°E							
475 傾斜	476 傾斜			N60°							
477 厚さ	478 土質分類			粘性土							
479 土質の特徴	480 地質			花崗岩							
481 岩種	482 走向			N25°E							
483 傾斜	484 傾斜			N60°							
485 厚さ	486 土質分類			粘性土							
487 土質の特徴	488 地質			花崗岩							
489 岩種	490 走向			N25°E							
491 傾斜	492 傾斜			N60°							
493 厚さ	494 土質分類			粘性土							
495 土質の特徴	496 地質			花崗岩							
497 岩種	498 走向			N25°E							
499 傾斜	500 傾斜			N60°							



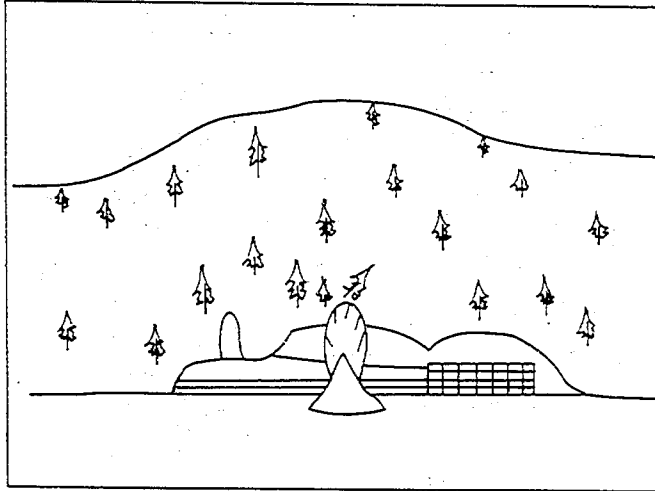
のり面台帳															
1 名 称		様式 I-2 被災台帳 正面及び断面図		3 路線名		區道 〇 号		7 管 轄		〇〇 工事事務所		9 整理番号(1)()		4	
2 のり面・斜面番号		A 8 U		4 距離標		5 自 487・45/km		6 至 487・47.5km		8 作成年月日		S〇〇 年 9 月 28 日		10 整理番号(2)()	
11 被災原因		降 雨		12 気象状況		S〇〇 年 台風 〇 号		13 被災形態大区分		のり面・斜面崩壊					



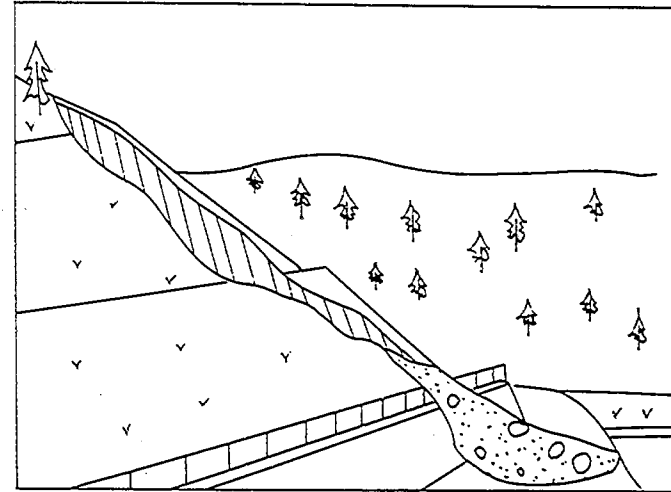
のり面台帳

1 名称	様式J 被災台帳 現地写真 その(/)	3 路線名	国道 〇 号	7 管轄	〇〇 工事事務所	9 整理番号(1)()	4
2 のり面・斜面番号	A8U	4 距離標	5 自 487・487km 6 至 487・475km	8 作成年月日	S〇〇年 7月 28日	10 整理番号(2)()	
11 被災原因	降雨	12 気象状況	S〇〇年 台風〇号	13 被災形態大区分	のり面・斜面崩壊		

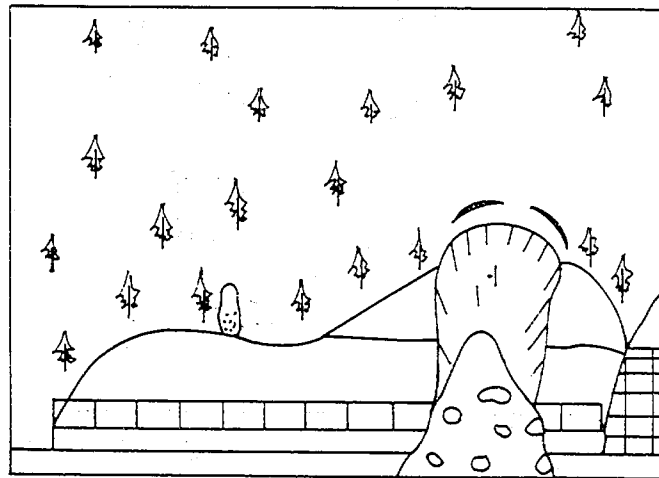
14 現地写真



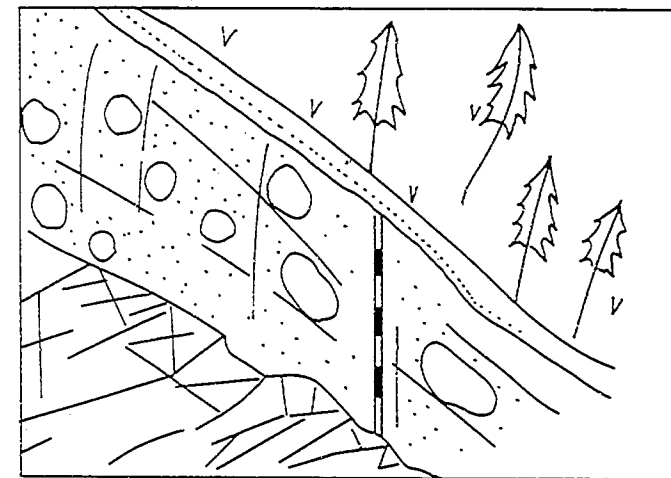
崩壊部遠景



崩壊部側面



崩壊部正面写真



滑落部の池山状況

のり面台帳																																										
1 名称		様式K 被災台帳 気象データ										3 路線名		国道 〇 号					7 管轄		〇〇 工事事務所		9 整理番号(1)()		4																	
2 のり面・斜面番号		A 8U										4 距離標		5 自 487.451km		6 至 487.475km		8 作成年月日		S〇〇 年 9 月 28 日		10 整理番号(2)()																				
11 被災原因		降 雨										12 気象状況		S〇〇 年 台 風 〇〇号					13 被災形態大区分		14 雨量観測点		〇〇 雨量観測点		15 気象観測点		△△ 気象観測点															
16 発生日時		17 確定時刻		年 月 日 . 時 分										18 推定時刻		S〇〇 年 9 月 25 日 2 時 0 分					S〇〇 年 9 月 25 日 6 時 分		19 中間時刻		S〇〇 年 9 月 25 日 4 時 0 分																	
20 区分		21 日数		22 日付		時 間 雨 量 mm (24 観測日界時刻: 午前 時、午後 時)																							日降雪量		日降水量		積雪深		日最高		日最低		天候			
				月 日		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	mm		mm		cm		気温℃		気温℃				
被災前	30	8	25																	10	15	5								30				32		24		F				
	29		26																											0				33		26		F				
	28		27																											0				27		24		F				
	27		28																											0				32		27		F				
	26		29																											0				31		26		F				
	25		30																											0				30		24		F				
	24		1																											0				29		24		F				
	23	9	1																											0				35		22		F				
	22		2																											0				35		23		F				
	21		3																											0				33		24		F				
	20		4																											0				31		25		F				
	19		5																											0				29		22		C				
	18		6																											0				27		26		C				
	17		7																											0				30		24		F				
	16		8																											0				32		23		F				
	15		9																											0				38		22		F				
	14		11																											0				30		26		F				
	13		12																											0				30		24		F				
	12		13																											0				32		25		F				
	11		14																											0				34		24		F				
	10		15																											0				31		27		F				
	9		16																											0				33		22		F				
	8		17																											0				32		21		F				
	7		18																											0				34		19		F				
6		19																											0				28		18		F					
5		20																											0				26		24		C					
4		21																											0				29		18		C					
3		22																											0				30		19		F					
2		23																											0				28		24		C					
1		24												2	2	1	4						5	17	14		5	10	25	65				25		20		R				
当日	0	9	25	40	50	43	25	13	7	10	13	5	2																203				26		21		R					
被災後	1		26																										0				26		15		F					
	2		27																										0				25		17		F					
	3		28																										0				28		16		F					
	4		29																										0				27		13		F					
	5		30																										0				28		16		C					
	6	10	1																										0				28		18		C					
	7		2																										0				26		20		F					
	8		3																										0				24		19		F					
	9		4																										0				24		13		F					
	10		5																										0				26		12		F					
備考	×: 欠測 空欄: 無降雨 天候: 観測時刻午前10時頃 F: 晴、 C: 曇、 R: 雨、 S: 雪																																									

附表Ⅱ.3

道路のり面・斜面被災台帳記入項目分類

様式	番号	項目	I	II	備考
F 被災台帳 区間総括表	1	名称	○		Ⅰ：基本調査
	2	路線名	○		
	3	(区間名)			該当すれば必ず調査するもの。
	4	自	○		
	5	至	○		Ⅱ：詳細調査 本台帳による調査方法では記入できないときもあるもの。
	6	(距離標)			
	7	自	○		
	8	至	○		
	9	(管轄)			
	10	地方建設局	○		
	11	工事事務所	○		
	12	出張所	○		
	13	整理番号(1)	○		
	14	整理番号(2)	○		
	15	作成年月日	○		
	16	被災原因	○		
	17	気象状況	○		
	18	(被災後通行規制区間)			
	19	自	○		
	20	至	○		
	21	(区間のり面・斜面被災総括表)			
	22	No	○		
	23	のり面・斜面番号	○		
	24	被災形態大区分	○		
	25	(位置)			
	26	都道府県	○		
	27	郡市町村 地区	○		
	28	(距離標)			
	29	自	○		
	30	至	○		
	31	通行規制区間	○		
	32	被災時通行規制有無	○		
	33	被災後通行規制有無	○		
	34	(防災点検結果)			
	35	年 月	○		
	36	対象箇所	○		
	37	危険内容	○		
	38	(緊急度判定結果)			
	39	危険度	○		
	40	頻 度	○		
	41	重要度	○		
	42	点 数	○		
	43	ランク	○		

様 式	番号	項 目	I	II	備 考
G 被災台帳 被災位置路線 図	1	名 称	○		
	2	路線名	○		
	3	(区間名)			
	4	自	○		
	5	至	○		
	6	(距離標)			
	7	自	○		
	8	至	○		
	9	(管 轄)			
	10	地方建設局	○		
	11	工事事務所	○		
	12	出張所	○		
	13	整理番号(1)	○		
	14	整理番号(2)	○		
	15	作成年月日	○		
	16	被災原因	○		
	17	気象状況	○		
	18	(区間路線図)			
	19	距離標	○		
	20	被災箇所	○		
	21	通し番号	○		
	22	のり面・斜面番号	○		
	24	通行規制区間	○		
	25	雨量等観測点	○		
H 被災台帳 調査表	1	名 称	○		
	2	のり面・斜面番号	○		
	3	のり面・斜面分類	○		
	4	路線名	○		
	5	(距離標)			
	6	自	○		
	7	至	○		
	8	(管 轄)			
	9	地方建設局	○		
	10	工事事務所	○		
	11	出張所	○		
	12	整理番号(1)	○		
	13	整理番号(2)	○		
	14	作成年月日	○		
	15	位 置	○		
	16	上下線別	○		
	17	総幅員	○		
	18	通行規制区間	○		

様 式	番号	項 目	I	II	備 考
H	19	被災原因	○		
	20	気象状況	○		
	21	被災形態大区分	○		
	22	被災過程	○		
	23	(被災発生日時)			
	24	確定時刻	○		
	25	推定時刻	○		
	26	(道路施設被災概要)			
	27	施設の種類	○		
	28	程 度	○		
	29	(通行規制)			
	30	被災時通行規制の有無	○		
	31	(被災後の通行規制)			
	32	有・無	○		
	33	内 容	○		
	34	(規制期間)			
	35	自	○		
	36	至	○		
	37	(被災形態詳細)			
	38	(切土崩壊, 斜面崩壊, 地すべり)			
	39	崩壊タイプ	○		
	40	道路との関係	○		
	41	水平長さ	○		
	42	高 さ	○		
	43	最大幅	○		
	44	最大深さ		○	
	45	崩壊土量		○	
	46	土塊残存状況	○		
	47	(すべり面勾配)			
	48	頭 部	○		
	49	中央部		○	
	50	崩壊冠頂部勾配	○		
	51	(原形勾配)			
	52	切土部	○		
	53	斜面部	○		
	54	(キレツ・段差)			
	55	有 無	○		
	56	位 置	○		
	57	数	○		
	58	形 状	○		
	59	方 向	○		
	60	延 長	○		
	61	開口幅	○		
	62	段 差	○		
	63	(被覆層)			

様 式	番号	項 目	I	II	備 考
H	64	厚 さ		○	
	65	土質分類		○	
	66	土質の特徴		○	
	67	(基盤岩)			
	68	地 質	○		
	69	岩 種	○		
	70	走 向		○	
	71	傾 斜		○	
	72	割れ目の向き		○	
	73	岩分類		○	
	74	岩石の硬さ		○	
	75	割れ目間隔		○	
	76	割れ目状態		○	
	77	風 化		○	
	78	変 質		○	
	79	すべり面		○	
	80	(水の状況)			
	81	湧水量		○	
	82	調査時期	○		
	83	降雨後日数	○		
	84	(落 石)			
	85	落石タイプ	○		
	86	崩壊・地すべりとの関係	○		
	87	(発生源)			
	88	水平距離	○		
	89	落下高さ	○		
	90	落下斜面勾配	○		
	91	およその個数	○		
	92	およその体積	○		
	93	最大岩塊寸法	○		
	94	最大岩塊重量	○		
	95	最大岩塊形状	○		
	96	最大岩塊岩種	○		
	97	(土砂流等)			
	98	土砂流等のタイプ	○		
	99	崩壊・地すべりとの関係	○		
	100	推定最大土砂流量		○	
	101	集水面積	○		
	102	(発生源の状況)			
	103	崩壊個数		○	
	104	崩壊総面積		○	
	105	崩壊総土量		○	
	106	溪床浸食幅		○	
	107	溪床浸食延長		○	
	108	主な地質	○		

様式	番号	項目	I	II	備考
H	109	主な岩種	○		
	110	主な植生	○		
	111	道路付近の溪床勾配	○		
	112	対策施設	○		
	113	(土砂等堆積)			
	114	崩壊、地すべり、土砂流等との 関係	○		
	115	横断長	○		
	116	縦断長	○		
	117	厚さ	○		
	118	土質	○		
	119	土量	○		
	120	最大粒径	○		
	121	(倒木・流木等)			
	122	本数	○		
	123	長さ	○		
	124	樹幹径	○		
	125	(盛土崩壊)			
	126	崩壊のタイプ	○		
	127	崩壊、地すべり、土砂流等との 関係	○		
	128	高さ	○		
	129	横断長	○		
	130	天端横断長	○		
	131	縦断長	○		
	132	深さ	○		
	133	総崩壊土量	○		
	134	盛土部崩壊土量	○		
	135	地盤部崩壊土量	○		
	136	盛土残存状況	○		
	137	盛土材料	○		
	138	盛土補強土工法	○		
	139	盛土原形勾配	○		
	140	盛土地盤勾配	○		
	141	盛土状況	○		
	142	(キレツ・段差)			
	143	数	○		
	144	位置	○		
	145	延長	○		
	146	開口幅	○		
	147	段差	○		
	148	形状	○		
	149	(地盤状況)			
	150	(被覆層)			
	151	厚さ		○	

様 式	番号	項 目	I	II	備 考
H	152	土質分類		○	
	153	土質の特徴		○	
	154	(基盤岩)			
	155	地 質		○	
	156	岩 種		○	
	157	走 向		○	
	158	傾 斜		○	
	159	(施設等の状況)			
	160	種 類	○		
	161	外 力	○		
	162	状 況	○		
	163	被災原因，発生形態等についての 所感	○		
	164	応急対策の概要	○		
	165	復旧対策の概要	○		
I - 1 被災台帳 平面図	1	名 称	○		
	2	のり面・斜面番号	○		
	3	路線名	○		
	4	(距離標)			
	5	自	○		
	6	至	○		
	7	管 轄	○		
	8	作成年月日	○		
	9	整理番号 (1)	○		
	10	整理番号 (2)	○		
	11	被災原因	○		
	12	気象状況	○		
	13	被災形態大区分	○		
	14	小縮尺平面図	○		
	15	拡大平面図	○		
I - 2 被災台帳 正面及び断面 図	1	名 称	○		
	2	のり面・斜面番号	○		
	3	路線名	○		
	4	(距離標)			
	5	自	○		
	6	至	○		
	7	管 轄	○		
	8	作成年月日	○		
	9	整理番号 (1)	○		
	10	整理番号 (2)	○		
	11	被災原因	○		

様 式	番号	項 目	I	II	備 考
I - 2	12	気象状況	○		
	13	被災形態大区分	○		
	14	被災正面図	○		
	15	被災断面図	○		
J 被災台帳 現地写真	1	名 称	○		
	2	のり面・斜面番号	○		
	3	路線名	○		
	4	(距離標)			
	5	自	○		
	6	至	○		
	7	管 轄	○		
	8	作成年月日	○		
	9	整理番号(1)	○		
	10	整理番号(2)	○		
	11	被災原因	○		
	12	気象状況	○		
	13	被災形態大区分	○		
	14	現地写真	○		
K 被災台帳 気象データ	1	名 称	○		
	2	のり面・斜面番号	○		
	3	路線名	○		
	4	(距離標)			
	5	自	○		
	6	至	○		
	7	管 轄	○		
	8	作成年月日	○		
	9	整理番号(1)	○		
	10	整理番号(2)	○		
	11	被災原因	○		
	12	気象状況	○		
	13	被災形態大区分	○		
	14	雨量観測点	○		
	15	気象観測点	○		
	16	(発生日時)			
	17	確定時刻	○		
	18	推定時刻	○		
	19	中間時刻	○		
	20	区 分	○		
	21	日 数	○		
	22	日 付	○		
	23	時間雨量	○		

樣 式	番号	項 目	I	II	備 考
K	24	観測日界時刻	○		
	25	日降雪量	○		
	26	日降水量	○		
	27	積雪深	○		
	28	日最高気温	○		
	29	日最低気温	○		
	30	天 候	○		

附表Ⅱ.4 道路のり面・斜面被災の発生パターン分類

切土のり面の崩壊の分類	117
盛土のり面の崩壊の分類	118
斜面崩壊の分類	120
落石の分類	121
地すべりの分類	122

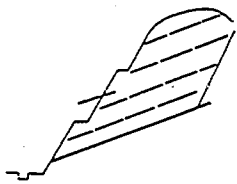
(道路土工 のり面工・斜面安定工指針 日本道路協会による)

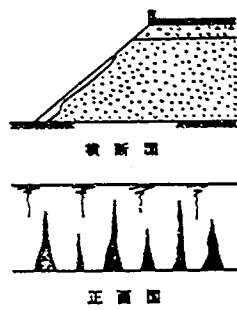
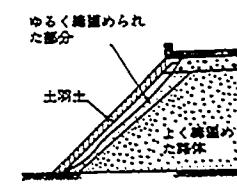
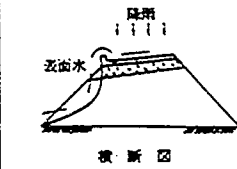
表1-1(a) 切土のり面の崩壊の分類

崩壊の種類	解 説	模 式 図	代 表 地 質	備 考
①浅い切土崩壊	①乾湿、凍結、雨食などにより表面がはく離、あるいはガリ(掘れ溝)ができる。放置すると深い切土崩壊に移行することがある。		火山灰土、マサ土、細砂、凝灰岩(新第三紀)、風化した粘板岩、表土	切り放しのり面か、活着度の悪い植生工において発生することが多い。
	②硬質な玉石と軟質な基質からできている地質に多く、基質が浸食されて玉石が崩落するものである。		凝灰角礫岩、集塊岩、火山礫岩、礫岩、マサ土	斜面において発生した場合は、一般に落石として取扱われる。
	透水性や浸食に対する抵抗が異なる地層がある場合、残った層がオーバーハング状となり崩落する。		砂岩・シルト岩互層(新第三紀) 熔岩流と火山碎屑物との互層	
	③強度の低い地層あるいは固結した岩でも切土により急速に風化が進む地層の表層が崩壊する。		未固結層、泥岩、凝灰岩、輝緑岩、風化した粘板岩、片岩など	
	④岩盤中の割れ目(節理、小断層、薄層)に沿って崩壊する。割れ目の組合せにより崩壊の状態は異なるが、くさび状に崩壊することが多い。		断層周辺など割れ目の多い岩石、粘板岩、片岩、蛇紋岩、一部の花こう岩、安山岩、石英はん岩、チャート	面の傾斜がのり面と斜交する場合も起こる。

崩壊の種類	解 説	模 式 図	代 表 地 質	備 考
②深い切土崩壊	①固結度、透水性などの極度に違うもののり面上方に残った場合、雨水や地下水の浸透によって境界面に沿って崩壊する。		岩盤 岩盤上に堅い層、崩壊土、砂礫、火山灰土などが厚く堆積している場合	地下水が多い場合特にこの型の崩壊が多い。土質や地形条件により大規模な崩壊となる場合がある。
	②全体に軟弱で固結度の低い地層の切土において、豪雨により上部の風化の進んだ土の部分が崩壊し、比較的軟質な地層が露出され順次崩壊する。		砂層 シラス 風化砂層 砂層	
	③のり面のうらに断層破砕帯や大きな割れ目があり、地下水の浸透などによって崩壊する。		主として結晶片岩、中・古生代の堆積岩(砂岩、粘板岩、泥岩およびそれらの互層など) 花こう岩、石英はん岩など火成岩でも発生する。	
③深く広範囲に及ぶ崩壊	①断層、風化岩と岩盤の境界面あるいは極度に弱い層などをすべり面として斜面のかなり深い部分から土塊が一体となって崩壊する。		どの様な地質の場合にも起こるが、断層の頻度の高い中・古生層に特に多い。	なおこの他に火成岩の生成時に変質して局部的に軟弱化した部分、または岩の造岩鉱物が変質して風化しやすいものになって風化している場合に生ずる。

参表1-1(b) 盛土のり面の崩壊の分類

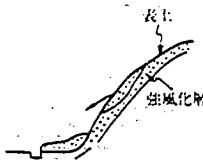
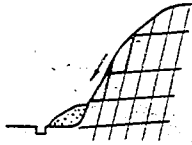
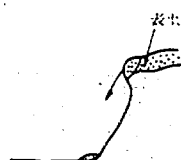
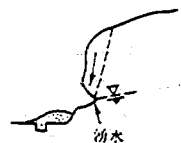
崩壊の種類	解 説	模 式 図	代 表 地 質	備 考
	②流れ盤に沿って岩盤が移動する。		層理、片理、シームなどが規則正しく発達した岩石に発生する。 互層、結晶片岩、粘板岩など	
	③軟弱な土塊が地下水位の高いところで、徐々に移動して崩壊する。旧地すべり地の末端を切土したり頭部に盛土したときに生ずる。		活動的あるいは活動を停止した地すべり地に多いが、大規模な崖すべり堆積物、変質の著しい凝灰岩、風化の進んだ結晶片岩でも起こる。	

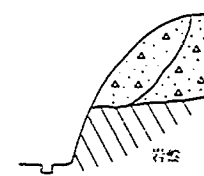
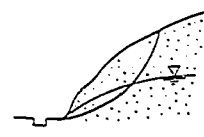
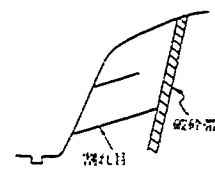
崩壊の種類	解 説	模 式 図	代 表 土 質	備 考
①浅い盛土崩壊	①雨水の表面浸食によりガリ（堀れ溝）ができる。 のり面が浸食を受けやすい土によって構成されており排水設備が不十分な場合に生ずる。		細砂 マサ土 シラスなど	
	②雨水の浸透により表層すべりが生ずる場合。 ④のり面付近に締固め度の不均質ならびに締固めの不十分な部分がある場合。 ⑤ある程度の浸透性を持ち、しかも飽和度の上昇により著しく強度が低下する材料を用いて盛土した場合。		砂質土、粘質土、特に砂質土（SM、SC）、シルト（ML）などでは飽和度の上昇により強度が著しく低下するので注意を要する。	
	③排水工が土砂、草木などで埋塞され表面水がのり面に流れ出すことによる洗堀、崩壊。 ⑥急カーブの地点など、路面が片勾配となる箇所、または縦断方向に下り勾配から上り勾配に変わった地点、特に両者の条件が重なった表面水が1箇所に集中しやすい盛土形状の地点。 ⑦のり面に設けた縦排水溝などが埋塞された場合。		洗堀、崩壊と盛土材料はほとんど関係がないが、浸食されやすい土ほど崩壊しやすくなる。	

崩壊の種類	解 説	模 式 図	代 表 土 質	備 考
	⑥ 沢を横断する盛土箇所において、盛土内に埋設した横断排水管の断面不足および管の埋塞により沢水が路面から流れ出した場合。			
① 深い盛土崩壊	① 高含水比粘性土によって急速施工を行う盛土では、施工中盛土内に過剰間げき水圧が発生し、のりのはらみ出しや崩壊を起こすことがある。		火山灰質粘性土 例えば、 関東ロームなど。	
	② 横断方向に急勾配で傾斜した地盤上に盛土した場合、雨水の浸透により地盤と盛土との境界面に沿って崩壊が生ずることがある。			
	③ 周辺からの地下水の補給が豊富な地形条件に盛土した場合、間げき水圧の作用によって盛土が崩壊することがある。			
	④ 縦断、横断方向における切り盛り境付近の盛土。			
① 基礎地盤を含む崩壊	① 軟弱地盤上に盛土する場合、地盤の強度が小さいと地盤を通る円弧すべりが発生することがある。		軟弱地盤	「道路土工—軟弱地盤対策工指針」を参照のこと。

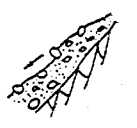
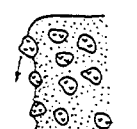
崩壊の種類	解 説	模 式 図	代 表 土 質	備 考
	② 崖すいまたは地すべりの頭部の部分に盛土した場合、地すべりを助長することになり大きな崩壊を引き起こす。		崖すい	

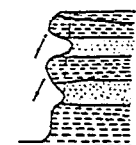
参考表1-1(c) 斜面崩壊の分類

崩壊の種類	解 説	模 式 図	代 表 地 質	備 考
⑥表層崩壊	①表土が滑落する。		特に地質との関連はない。	
	②強風化層および表土が滑落する。		マサ土、凝灰岩、泥岩、風化した粘板岩、安山岩	
	③割れ目の発達した岩からなる斜面の表層部が滑落する。		粘板岩、結晶片岩、蛇紋岩、一部の花こう岩、安山岩、チャート、石英はん岩	
	④急崖をなす斜面上部の表土が崩落する。		シラス、凝灰岩、段丘砂礫層	
	⑤斜面内の湧水の作用によりオーバーハング状を呈する部分が崩落する。		崩積土、火山砕屑物	
	⑥参考表-1(a). ④の浅い切土崩壊のうち、②、④に相当する地質を持つ斜面の表層崩落。			

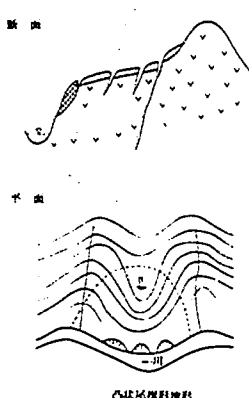
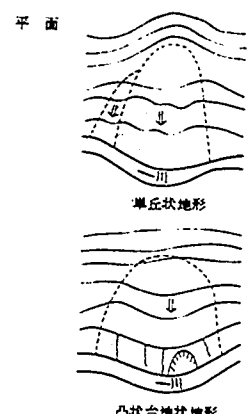
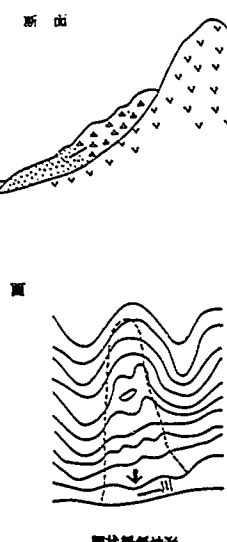
崩壊の種類	解 説	模 式 図	代 表 地 質	備 考
④深い斜面崩壊	①固結度、透水性などの極度に違うもので斜面が構成される場合、雨水や地下水の浸透によって境界面に沿って崩壊する。		岩盤上に堆すい層、崩積土、砂礫、火山灰土などを厚く堆積している場合。	地下水が多い場合特にこの型の崩壊が多い。土質や地形条件により大規模な崩壊となる場合がある。
	②全体に軟弱で固結度の低い地層からなる斜面で豪雨や融雪水などによる地下水位の上昇に伴い崩壊する。		砂層 火山灰層 崩積土層 粘性土層 強風化岩層	
	③斜面の内部に断層破砕帯や大きな割れ目があり、地下水の浸透などによって崩壊する。		主として中・古生代の堆積岩(砂岩、粘板岩、泥岩およびそれらの互層など)花こう岩、石英はん岩など火成岩でも発生する。	

参表1-1(d) 落石の分類

崩壊の種類	解 説	模 式 図	代 表 地 質	備 考
①抜け落ち型落石 (転石型落石)	①堅い堆積物中の岩塊が抜け落ちるタイプ。 〔落石の形状〕 亜角礫～角礫		歪すい性堆積物	
	②段丘礫層中の礫部が抜け落ちるタイプ。 〔落石の形状〕 円礫、亜円礫		段丘礫層	
	③火山碎屑物中の岩塊が抜け落ちるタイプ。 〔落石の形状〕 円礫～角礫		火山碎屑物 火山泥流堆積物 新第三紀の凝灰角礫岩	
	④風化してマサ化した花こう岩中の相対的に風化が進んでいない岩塊が抜け落ちるタイプ。 〔落石の形状〕 円礫～亜角礫		風化花こう岩類	
①はく離型落石 (浮石型落石)	①節理・きれつの発達している岩からはく離するタイプ。 〔落石の形状〕 角礫～亜角礫		熔岩類 中・古生層 花こう岩	
	②層理・きれつの発達している岩からはく離するタイプ。 〔落石の形状〕 角礫～偏平		中・古生層	

崩壊の種類	解 説	模 式 図	代 表 地 質	備 考
	③硬軟著しい差のある岩の互層で軟部が浸食され、残った硬部がはく離するタイプ。 〔落石の形状〕 角礫～亜角礫		新第三紀泥岩・砂岩 火山噴出物	

参表1-1(e) 地すべりの分類

崩壊の種類	解 説	模 式 図	代 表 地 質	備 考
⑧岩盤地すべり	①凸状尾根形地形ですべり面は椅子型、船型、鞍部から発生。 ②頭部では岩盤または弱風化岩、末端で風化岩状。 ③突発性で予知は非常に困難、綿密な踏査、精査を必要とする。		断層破碎帯の影響を受けるものが多い。第三紀層、結晶片岩、中・古生層など	大規模土工、斜面水没、地震、豪雨が原因となって発生する。
⑨風化岩地すべり	①凸状台地形または単丘状、凹状台地形ですべり面は椅子型、舟型。 ②頭部でどれだけの多い風化岩、末端では巨礫まじり土砂よりなる。		結晶片岩、中・古生層、新第三紀層で断層、破碎帯の影響を受けたもの。	集中豪雨、異常融雪、地震、中規模な土工が原因となる。
⑩崩積土地すべり	①多丘状、凹状台地形をなし、すべり面は階段状、層状で2～3ブロックに分割できる。 ②主として礫まじり土砂よりなり末端で粘土化。 ③5～20年に再発を繰り返すや断続的な運動形態となる。地形的に地すべり履歴が明らかで1/5,000～1/10,000地形図でも確認でき地元での聞き込みも有用。		結晶片岩、中・古生層、新第三紀層、蛇紋岩地質における崩積土	融雪、台風、集中豪雨、中規模土工が原因で発生
⑪粘質土地すべり	①凹状緩斜地形をなし、すべり面はさらに階段状、層状形となって多数のブロックに分けられる。ブロック間の相互関連度は深まる。 ②主として粘土または礫まじり粘土からなる。 ③1～5年のうちに再発し継続的な移動を示すため、地すべりの存在は地元で通常知られている。		新第三紀層破碎帯、温泉余土など	豪雨、融雪、河川浸食、小規模土工で容易に活発化

道路のり面台帳様式および
記入要領（案）

ISSN 0386-5878
土木研究所資料第2524号
昭和62年10月（1987）
地質研究室 市川 慧・平野 勇

要 旨

切土のり面、盛土のり面、自然斜面を対象とした道路のり面台帳様式及び記入要領（案）を作成した。この台帳（案）は、作成単位区間の総括表および路線図、個々ののり面・斜面についての調査資料からなる基本台帳、被災したとき作成する被災台帳から構成されている。

キーワード：道路管理，道路防災，のり面，斜面，のり面台帳



郵便はがき

四十円
を貼って
ください

305-□□

茨城県筑波郡豊里町大字旭一番地
建設省土木研究所
地質研究室

No. 063

No. _____

配布先氏名



配布先住所

土木研究所資料第2524号 部

上記のとおり受領しました。

所 属（住所）

氏 名

印